上松技術専門校空調設備改修工事

図　面　リ　ス　ト

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
	表紙・図面リスト		
Ｍ－０１	機械設備　特記仕様書	Ａ－０１	建築工事　改修特記仕様書（１）
Ｍ－０２	案内図、配置図、工事概要	Ａ－０２	建築工事　改修特記仕様書（２）
Ｍ－０３	空調設備　機器表【改修後・改修前】	Ａ－０３	案内図、配置図
Ｍ－０４	（管理棟）空調設備　１階平面図【改修後】	Ａ－０４	（管理棟・寄宿舎）仕上表
Ｍ－０５	（管理棟）空調設備　２階平面図【改修後】	Ａ－０５	（管理棟）　建築工事　１階平面図
Ｍ－０６	（寄宿舎）空調換気設備　１階平面図【改修後】	Ａ－０６	（管理棟）　建築工事　２階平面図
Ｍ－０７	（寄宿舎）空調換気設備　２階平面図【改修後】	Ａ－０７	（寄宿舎）　建築工事　１階平面図
Ｍ－０８	（寄宿舎）空調換気設備　３階平面図【改修後】	Ａ－０８	（寄宿舎）　建築工事　２階平面図
Ｍ－０９	（寄宿舎）空調換気設備　１階平面図【改修前】	Ａ－０９	（寄宿舎）　建築工事　３階平面図
Ｍ－１０	（寄宿舎）空調換気設備　２階平面図【改修前】	Ａ－１０	（管理棟）　１階床養生平面図
Ｍ－１１	（寄宿舎）空調換気設備　３階平面図【改修前】	Ａ－１１	（管理棟）　２階床養生平面図
Ｅ－０１	電気設備　特記仕様書	Ａ－１２	（寄宿舎）　１階床養生平面図
Ｅ－０２	案内図、配置図	Ａ－１３	（寄宿舎）　２階床養生平面図
Ｅ－０３	分電盤結線図【改修前・改修後】	Ａ－１４	（寄宿舎）　３階床養生平面図
Ｅ－０４	（管理棟）電灯・動力設備　１階配線図【改修後】		
Ｅ－０５	（寄宿舎）電灯・動力設備　１階配線図【改修後】		
Ｅ－０６	（寄宿舎）電灯設備　２階配線図【改修後】		
Ｅ－０７	（寄宿舎）電灯設備　３階配線図【改修後】		
Ｅ－０８	受変電設備　単線結線図【改修前・改修後】		
Ｅ－０９	構内配電線路図【改修前・改修後】		
Ｅ－１０	（寄宿舎）電灯設備　１階配線図【改修前】		
Ｅ－１１	（寄宿舎）電灯設備　２階配線図【改修前】		
Ｅ－１２	（寄宿舎）電灯設備　３階配線図【改修前】		

SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン

上松技術専門校空調設備改修工事（機械設備工事）

Ⅰ．工 事 概 要

1．工 事 場 所　長野県木曽郡上松町大字小川

2．建 物 概 要

建物名称	工事種別	構造	階数	延床面積(㎡)	消防法施行令別表第一	耐震分類	備考
管理棟	改修	RC	2	984.97	（7）項		
寄宿舎	改修	RC	3	768.88	（5）項 ロ		

3．工 事 種 目（●印を付けたものを適用する）

工事種目 ＼ 建物別	工事内容				
	管理棟	寄宿舎			屋外
● 空気調和設備	●一式	●一式	○一式	○一式	○一式
○ 冷暖房設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 暖房設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
● 換気設備	○一式	●一式	○一式	○一式	○一式
○ 排煙設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 自動制御設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 衛生器具設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 給水設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 排水設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 給湯設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 消火設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ ガス設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 給油設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 厨房機器設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 実験実習器具設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ 浄化槽設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
● 撤去工事	●一式	●一式	○一式	○一式	○一式

4．設 備 概 要（○印を付けたものを適用する）

方法及び種別	設備概要
空調方式	・　・　・　・
冷暖房方式	⊙空冷式ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ ⊙ルームエアコン　・　・
暖房方式	・温風暖房　・温水暖房　・ＦＦ暖房　・
換気方式	⊙局所換気　・　・　・
給水方式	・水道直結式　・加圧式　・高置タンク式（・上水　・井水）
排水方式	・建物内汚水、雑排水（・分流　・合流） ・建物外汚水、雑排水（・分流　・合流） 浄化槽　（・合併　・単独　） 放流先　・公共下水　・
消火設備の種別	・屋内消火栓設備　・消火器　・　・
ガスの種別	・都市ガス（発熱量　　KJ/N㎥、供給事業者名：　　） ・液化石油ガス（発熱量 100,000 KJ/N㎥）

5．指 定 部 分　・無　　・有　（指定部分しゅん工期限　令和　年　月　日）

対 象 部 分：

Ⅱ．管 理 技 術 者 等

設計事務所名	管理技術者
株式会社　三友ファシリティーズデザイン	野坂 英史

主任担当技術者	担当技術者
意匠担当	
株式会社　三友ファシリティーズデザイン　夏目　博範	
構造担当	
積算担当	
電気設備担当	
株式会社　三友ファシリティーズデザイン　須田　潔	株式会社　三友ファシリティーズデザイン　波多腰　永寿
機械設備担当	
株式会社　三友ファシリティーズデザイン　鳥井　清司	株式会社　三友ファシリティーズデザイン　本藤　利文
	株式会社　三友ファシリティーズデザイン　亀原　衛

Ⅲ．工 事 仕 様

1．共 通 仕 様

(1)図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（最新版）」以下、「標準図」という。）による。

(2)電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。

2．特 記 仕 様

(1)章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。

(2)特記事項のうち選択する事項は⊙印の付いたものを適用し、・印の付いたものは適用しない。

章	項目	特記事項
● 一般共通事項	① 機材等	(1) 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし、製造業者等が記載されている場合は同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。 (2) 別表-1に示す材料・機材等の製造業者等は次の1)から6)すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出し監督職員の承諾を受ける。 1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 3)安定的な供給が可能であること。 4)法令等で定められる場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。 5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 6)販売、保守等の営業体制が整えられていること。なお、システムとして機能するものにあっては、システムの構築能力があり、現場での施工体制が整えられていること。
	② 使用材料発注先調書	使用材料名、製造者名、発注先、品質性能証明資料提出の省略について記載した調書を作成し、監督職員の承諾を受ける。
	③ 施工条件明示項目	公共建築工事積算基準の解説(設備工事編)の「軌務並行改修」
	④ 化学物質を発散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。 1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ，パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 2)保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 3)接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 5)上記1)、3)、4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを発散しないものとは、発散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの発散量が極めて少ないものとは、発散量が第３種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等が無い場合は第３種のものを使用するものとする。 ホルムアルデヒドの発散量 ／ 該当する建築材料 規制対象外：①JIS及びJASの F☆☆☆☆規格 ②建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 第三種：①JIS及びJASの F☆☆☆規格 ②建築基準法施行令第２０条の５第３項による国土交通大臣認定品
	⑤ ペーストシール剤	飲料水管系に使用されているペーストシール剤は、室内汚染に係る揮発性化合物に指定されている下記の物質を材料及び製造工程に使用されていないこと。 ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン パラジクロロベンゼン、テトラデカン、クロルピリオス、フェノブカルブ、ダイアジノン フタル酸ジ－ｎ－ブチル、フタル酸ジ－2－エチルヘキシル
	⑥ 電気保安技術者	電気保安技術者を設置する。
	⑦ 技能士の適用	⊙配管（1　2）⊙冷凍空気調和機器（1　2）⊙熱絶縁（1　2）　⊙建築板金（1　2）
	⑧ 監督員事務所	⊙設けない　・設ける
	⑨ 工事用電力・用水等	この工事に必要な工事用電力、用水、諸手続きなどの費用は請負者の負担とする。
	⑩ 足場・さん橋類	・別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。　⊙本工事で負担する。 ・改修工事標準仕様書第１編2.2.1によるほか下記による。 ・　内部仮設足場等（・　種　・　種）・外部仮設足場等（・　種　・　種）
	⑪ 資材の保管	資材の保管は必ず屋根をかけ地上30cm以上の架台に乗せる。
	12 建設発生土	・監督員が指示する構内の場所に敷ならし　・構内指定場所にたい積　・構外搬出適切処理
	13 埋め戻し土・盛土	・根切中の良質土（ただし質の周囲は山砂又は川砂）　・山砂の類
	14 山留撤生	根切中の山留め　・有（　　）　・無
	15 発生材処理	工事に先立ち手引き第２編による廃棄物等処理計画書を監督職員に提出し、しゅん工時には廃棄物等処理報告書を作成し提出する。 (1)引渡しを要するもの　・無　・有（　　） (2)引渡しを要するもの以外は構外搬出し関係法令により適切に処理すること。 (3)特別管理産業廃棄物　・無　・有（　　） (4)再利用又は再生資源化を図るもの　(ｺﾝｸﾘｰﾄ塊、ｱｽﾌｧﾙﾄ塊、木くず、金属くず、塩ビ管、　　)
	⑯ 文字入名札等	標準仕様書第１編1．7．4によるほか、バルブ類等は必要に応じて合成樹脂製名札をステンレス鎖等で取付ける。
	17 取扱説明板	機器等の取り扱い方法及び重要な定期点検項目等を書いた取扱説明板（アクリル樹脂製、文字彫込み程度）を設ける。大きさは、約［　　］㎡とする。
	⑱ 総合調整	⊙風量調整　・水量調整　・室内外空気の温湿度測定　・騒音測定 ・飲料水の水質の測定（・水質基準検査11項目(一般細菌、大腸菌、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、亜硝酸態窒素、塩化物ｲｵﾝ、有機物等(TOC)、pH、味、臭気、色度、濁度)　・トルエン） 飲料水の水質の測定は厚生労働大臣登録水質検査機関とする。
	⑲ 容量等の表示	(1)機器類の能力、容量等は、表示された数値以上とする。
	⑳ 耐震措置	(2)電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。 機器、配管、風道等は耐震を考慮し竪固にすえ付け、取付又は支持を行う。 耐震措置の計算及び施工方法は、次に掲げる事項以外、すべて「建築設備耐震設計・施工指針２０１４年版」（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修）による。 (1)設計用水平地震力は、機器の重量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効重量）に、次に示す地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。地域係数は1.0とする。 設置場所 ／ 耐震安全性の分類 ・特定の施設（・甲類　・乙類）　⊙一般の施設（乙類） 上層階、屋上及び塔屋：重要機器 2．0（2．0）（2．0）／ 一般機器 1．5（2．0）（1．5）／ 重要機器 1．5（2．0）（1．5）／ 一般機器 1．0（1．5）（1．0） 中間階：重要機器 1．5（1．5）（1．5）／ 一般機器 1．0（1．5）（1．0）／ 重要機器 1．0（1．5）（1．0）／ 一般機器 0．6（1．0）（0．6） 地下階、一階：重要機器 1．0（1．0）（1．5）／ 一般機器 0．6（1．0）（1．0）／ 重要機器 0．6（1．0）（1．0）／ 一般機器 0．4（0．6）（0．6） (注) 1．（　）内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。 2．（　）内の数値は水槽類に適用する。 3．上層階の定義は次による。 ２～６階建以下の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階 重要機器とは下記に示すものをいう。 ・給水装置・排水装置・換気機器・空調機器・防災設備・監視制御設備・危険物貯蔵装置 ・火を使用する設備・避難経路上に設置する機器・　・
	㉑ あと施工アンカー	(2)設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 改修工事標準仕様書第２編第５章による。 確認試験は、・性能確認試験（　本）・施工後確認試験（ ※ 本）を確認強度［　］kNにて行う。 ⊙施工上の適用（第１種、第２種）あと施工アンカー施工士による。※(社)日本建築あと施工アンカー協会認定資格
	㉒ 吊金物	吊金物は亜鉛メッキ又はステンレス鋼製とする
	23 配管勾配	給水、給湯、消火、冷温水、冷却水管は、図示による水抜きが確実にできるよう水抜き位置に向かって下り勾配とする。
	24 管の保護	コンクリート内の鋼管、鉛管及び塩ビ管については、プラスチックテープを1/2重ね１回巻きとする。また、コンクリート土間下配管は、鋼棒等により沈下防止措置をする。
	25 管の埋設	土中埋設管（排水含む）は、管の上下をサンドクッション厚100mmで保護する。 給水管、消火管の埋設深さは［　　］mmとする。又、ガス管の埋設深さは［　　］mmとする。
	26 管の埋設表示	図示された屋外埋設管の分岐及び曲がりの箇所には、コンクリート製標柱を埋め込む。舗装部分は埋設標示ピンとする。また、施工上生じた分岐、曲がりの箇所についても同様とする。 排水管を除く管には、埋設表示用テープを設置する。
	27 溶接部の非破壊検査	検査対象　・配管　・煙道　・　・ 抜取率　・標準仕様書による　・ 検査の種類　・ＲＴ　・ＰＴ又はＭＴ
	㉘ 塗装	下記の金属電線管は塗装を行う。 ⊙屋外露出　・（　　）の屋内露出 下記の保温を行わない亜鉛メッキを施したダクト及び配管は塗装を行わない。 ・倉庫　・ 機器 ／ 基礎 ／ 振動絶縁効率 遠心送風機 ／ ・標準基礎 ／ ・防振基礎 ／ ・　%以上　・ 空調用ポンプ及びボイラー給水用ポンプ ／ ・標準基礎 ／ ・防振基礎 ／ ・80%以上　・ 揚水用ポンプ及び小形給水ポンプユニット ／ ・標準基礎 ／ ・防振基礎 ／ ・80%以上　・ ・別図による。
	29 機器の基礎及び振動絶縁効率		
	㉚ 電線類	電線及びケーブルの規格は標準仕様書第４編1．5．1、表4．1．11による。
	㉛ はつり	既存のコンクリート床及び壁の配管貫通部の穴明けは原則としてダイヤモンドカッターによる。
	㉜ 保温及び消音内貼り	標準仕様書第２編によるほか下記による。 給水管、給湯管、冷温水管等の管、バルブ（グランド部を含む）、フランジ、可とう継手及び空調ダクトのフランジは、建物内外共保温する。なお、保温端部はシーリング処理を行う。 各配管の保温厚で標準仕様書中厚30mm未満の箇所はすべて厚30mm以上とする。ただし、排水管は除く。 ⊙換気ダクトの保温要（保温厚25mm）　・範囲は図示による　・ ・外気取入れダクトの保温要（保温厚25mm）　・範囲は図示による　・ ・排気ダクトの保温要（保温厚25mm）　・範囲は図示による　・ ・還りダクトの保温要（保温厚25mm）　・範囲は図示による　・ ・膨張タンクよりボイラーへの補給水管の保温は膨張管の項による。 ・建物内の空気抜き管の保温は膨張管の項による。 ⊙空気調和機、ファンコイルユニット、冷水及び冷温水のドレーン管の保温は排水管の項による。 ・全熱交換器用ダクトの保温要（保温厚25mm）　・範囲は図示による　・ 保温種別は下記による ダクト　・イ（・1号　・2号）　・ロ 冷温水、冷水、温水、蒸気管　・イ　・ロ 機器　・イ　・ロ 給水管　・ハ　・ロ（凍結防止帯巻部分） 排水管　⊙ロ　・ 給湯管　・イ　・ロ ・排水管でビット内、共同溝内及び最下階の床下の下記の部分は保温する。 なお仕様はｄ(ハ)とする。 （・排水トラップ　・給管　・銅管類　・ビニール管　・ドレーン管　・　　） ・消火管で下記の部分は保温する。なお仕様は給水管の項による。 （・屋内消火管　・水抜きできない管　・スプリンクラー配管　・　　） ・圧力タンク、膨張水槽、各種呼水槽等鋼板製水槽は保温する。なお仕様は各機器の項に準ずる。 ・大便器は保温する。 ・共同溝の保温種別　（・ビット内に準ずる　・　　） ・ダクトの保温外装は下表による。 区分 ／ 保温外装 倉庫・書庫 ／ ・アルミガラスクロス　・ 機械室 ／ ・アルミガラスクロス　・ 居室・廊下など ／ ・カラー亜鉛鉄板　・ 屋外露出、多湿箇所（　　） ／ ・ステンレス鋼板　・ ⊙配管の保温外装は下表による。（配管には、冷媒管は除く。） 区分 ／ 保温外装 倉庫・書庫 ／ ・アルミガラスクロス　・ 機械室 ／ ・アルミガラスクロス　・ 居室・廊下など ／ ⊙保温化粧ケース　・ 屋外露出、多湿箇所（　　） ／ ・ステンレス鋼板　・ ⊙冷媒管の保温の外装は下表による。なお保温化粧ケースの材質は図示による。 区分 ／ 保温外装 屋内露出 ／ ⊙保温化粧ケース 屋外露出 ／ ⊙ステンレス鋼板　・保温化粧ケース
	33 防凍保温	・屋外露出部（給水管、冷温水管、膨張管、冷水管、温水管、ドレーン管、消火管、排水管、弁類）は防凍保温を行い、厚さは管径25mm以下のものは50mm、管径32mm以上のものは40mmとする。 ・屋外露出部（給水管、冷温水管、膨張管、冷水管、温水管、ドレーン管、消火管、排水管、弁類）は電気ヒーター等の防凍対策を行う。なお、保温厚は３２に準じる。 ・各種機器について図示電気ヒーター等の防凍対策を行う。（　　）
	㉞ 試験	(1)各種配管の試験は、新設配管に適用する。 (2)新設配管は、既設配管の接続前に試験を行う。
	35 他工事との取合い	配管、ダクト、器具据え付けにともなうスリーブ、枠入れは本工事とし、他は工事区分表による。
	㊱ その他	保険等の各種措置については、別添「特記仕様書(共通事項)」による。 （長野県公式ホームページ(電子入札システム)に掲載される、当該入札公告の添付図書）
● 空気調和設備	① 設計温湿度	外気：温度(DB)　湿度(RH) 夏季　34.9℃　45.4% 冬季　-5.8℃　43.3% 屋内 一般系統：温度(DB)　湿度(RH) 夏季　28.0℃　成行 冬季　19.0℃　成行 屋内：温度(DB)　湿度(RH)　温度(DB)　湿度(RH) ℃　%　℃　% ℃　%　℃　%
	2 居室騒音限界	下表によるほか、耳ざわり音がないよう機種選定およびダクト消音対策を行う。 室名 ／ Ａ特性（ｄＢ） ／ Ｎ　Ｃ　値
○ 冷暖房設備	3 煤煙濃度計	・設ける　・
	4 ばいじん量測定口	・設ける（測定口は80φとする）　・
	5 煙道	伸縮継手、掃除口及びばい煙量測定口の位置は図示による。
	6 ダクト	・低圧ダクト　・高圧１ダクト　・高圧２ダクト ・アングルフランジ工法　・スパイラルダクト ・コーナーボルト工法（・共板フランジ工法　・スライドオンフランジ工法）
	7 風量測定口	取付部は図示による。
	8 チャンバー	(1)内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 (2)空気調和機、温風暖房機に取り付けるサブライチャンバー、レタンチャンバー及び風道系で消音内貼りしたチャンバーには点検口を設け、点検口の大きさは図示による。 (3)外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは、雨水の滞留のないように施工する。
	9 防煙ダンパー	復帰方式（・遠隔　・　　） 定格入力は、ＤＣ24Ｖ、0.7Ａ以下とする。
○ 暖房設備	10 ピストンダンパー	復帰方式（・遠隔　・　　）
	11 弁類	ＪＩＳ又はＪＶ（・５Ｋ　・１０Ｋ（図示部分））
	12 温度計	取付部は図示による。
	13 圧力計	取付部は図示による。
	14 瞬間流量計	コック付とし、形式及び取付部は図示による。
	15 油面制御装置	制御盤には（・給油ポンプ制御　・満油警報　・遠隔警報　・電磁弁制御　・返油ポンプ制御　・減油警報　・　　）の端子を設ける。なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。
● 換気設備	① ダクト	・低圧ダクト　・高圧１ダクト　・高圧２ダクト ・アングルフランジ工法　⊙スパイラルダクト ・コーナーボルト工法（・共板フランジ工法　・スライドオンフランジ工法） ・厨房・浴室系統の排気用ダクトの水抜き（・要　・不要） ・厨房系統の長方形排気用ダクトの板厚は、標準仕様書より1ランク厚いものを使用する。
	2 風量測定口	取付位置は図示による。
	3 ダンパー	空気調和設備の該当項目による。
	4 排気ダクトのシール	・浴室（シャワー室、脱衣室を含む）系統　・
	5 チャンバー	空気調和設備の該当項目による。
	6 耐火措置	自家発用換気ダクトが自家発室外を通過する場合の耐火措置は図示による。
○ 排煙設備	1 ダクト	・亜鉛鉄板　・
	2 排煙口の形式	図示による
	3 排煙口手動開放装置（開放及び復帰方式）	・ワイヤー式　・電気式（遠隔操作　・不要　・要）
	4 排煙風量測定	「建築設備定期検査業務基準書平成20年度版」（(財)日本建築設備昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。
○ 自動制御	1 中央監視制御装置	・有り　・無し
	2 中央監視制御装置の構成・機能	図示による
	3 電気計装工事の配線	使用する電線類はＥＭ電線とし、規格は標準仕様書第４編表1．5．1　表4．1．11の使用電線類の規格による。（機器、盤類は除く） 屋外・屋内露出の電線は図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠蔽の配線は図面に特記のない限りケーブル配線とする。
○ 衛生器具設備	1 大便器洗浄弁	・バキュームブレーカー　・不凍結装置付　・低圧フラッシュバルブ（　　）
	2 大便器ロータンク	・水抜き装置付
	3 温水洗浄式便座	加熱方式（・貯湯式　・瞬間式） 温風乾燥機能（・有　・無）　脱音装置（・有　・無）　リモコン（・有　・無）
	4 小便器洗浄弁	・不凍結装置付・感知小便器一体型フラッシュ方式・個別感知フラッシュ方式（・埋込　・露出）
	5 水栓	・節水固定コマ　（・寒冷地水栓(参考型番 KTL-10）　・　　）
	6 洗面器	・止水栓付
	7 標記板	・取付箇所（・大便器　・小便器　・　　）材質（・陶器製　・　　）
	8 大便器耐火カバー	・設ける（ピット内は除く）　・設けない
○ 給水設備	1 量水器	・親メーター（・貸与品　・　　）・子メーター（・買取り　・　　）
	2 量水器桝	・水道事業者指定品（・貸与品　・買取り）　・標準図ＭＣ形
	3 弁類	ＪＩＳ又はＪＶ　・水道直結部分（・１０Ｋ　・　　）・その他の部分（・５Ｋ　・　　）
	4 引込納付金等	・要（・本工事　・別途工事）　・不要
	5 給水勾配	・不凍栓の二次側は水抜きが確実にできること。
	6 建物導入部配管	・標準図　施工4、5（・(a)　・(b)　・(c)）による。
○ 排水設備	1 洗面器等の排水管	洗面器及び手洗器に直結する排水管は、器具トラップより１サイズアップとする。
	2 排水勾配	屋内　・65Ａ以下は1/50、75Ａ以上は1/100以上　屋外　・1/100以上　・
	3 満水試験継手	図示の箇所に取付ける。
	4 ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝、ため桝	桝のコンクリート部は工場製品としてもよい。
○ 給設備	1 弁類	ＪＩＳ又はＪＶ（・５Ｋ　・１０Ｋ（図示部分））
○ 消設備	1 屋内消火栓箱	・ＨＢ－１Ａ　・ＨＢ－１Ｂ　・
	2 建物導入部配管	・標準図　施工4、5（・(a)　・(b)　・(c)）による。
○ 厨器設機備	1 システム	・ドライシステム　・
	2 機器の寸法	概略寸法とする
○ ガス設備	1 充てん容器	・別途（・50kg　・　　）
	2 集合装置	・標準図　施工72による　本組。
	3 転倒防止等	・標準図　施工73（・(a)　・(b)）による
	4 メーター	・親メーター（・貸与品　・　　）・子メーター（・買取り　・　　）
	5 ガス漏れ警報器	・本工事（図示による）　・別途工事
	6 引込負担金	・要（・別途工事　・本工事）　・不要
	7 電気防食	・要　・不要
	8 建物導入部配管	・標準図　施工4、5（・(a)　・(b)　・(c)）による。
● その他	① しゅん工時提出物	標準仕様書によるほか別表-2による。
	② 定期報告	工事しゅん工後３ヶ月、12ヶ月に点検をして、その結果を書面で施設課長あて報告する。 （管理者からの聞き取り調査を含め、調査には必ず管理者の立会いを要する。）
	③ 電子納品	別添「建築工事における電子納品特記仕様書(試行用)」による。 （長野県公式ホームページ(電子入札システム)に掲載される、当該入札公告の添付図書）
	4 特別管理産業廃棄物管理責任者	特別管理産業廃棄物の処理に当たっては、廃棄物処理法に基づき特別管理産業廃棄物管理責任者を選任する。

（別表-1）品質及び性能を有することの証明となる資料を提出する機材等

⊙（社）公共建築協会による「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」における評価対象となる機械設備機材等	
・	・
・	・
・	・
・	⊙その他監督職員の指示によるもの

（別表-2）しゅん工時提出物（○印を付けたものを提出する。作成方法は「長野県営舗工事の手引き」による。）

① 提出書類等目録	⑦ 官公署届出書類等
② 完成図（原図・製本・CADデータ）	⑧ 工具・予備品等
3 設計図（原図・CADデータ）	⑨ 引渡書
④ 工事施工関係書類	10 試運転用油等（　　）の納品書等
⑤ 工事完成資料	⑪ その他監督職員の指示によるもの又は特記によるもの
⑥ 保守管理資料	

注)完成図の種類は、設計図面に準じて作成すること。

長野県上松技術専門校

特記

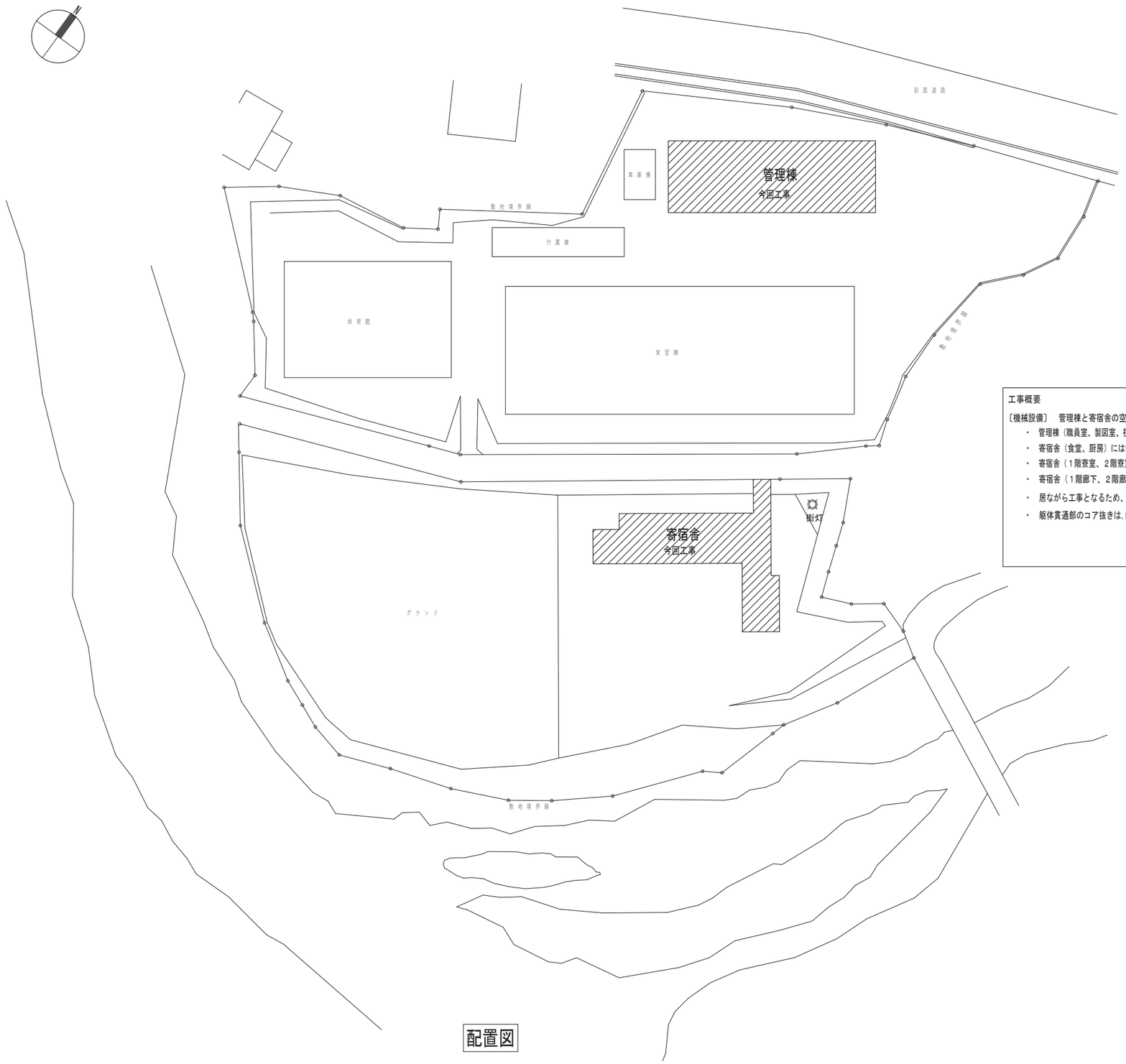
訂正 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.

設計者氏名	１級建築士登録 第272762号　野坂　英史
設計者氏名	
設計者氏名	

SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
１級建築士事務所登録（松本）Ｂ 第 81291 号
管理建築士　１級建築士登録　第265244号　須田　潔
〒390-0842　長野県松本市任矢野 2-8-10　TEL 0263(88)7348

承認	設計体制及び検査				設計完了日
	検査員	責任者	担当者	担当者	
野坂	佐藤	鳥井	本藤		2025.3

工事名	上松技術専門校空調設備改修工事
図面名	機械設備　特記仕様書
縮尺	A1: N・S　A3: N・S
JOB No.	S25004D
図面番号	M－01



配置図

概略工程表

全体工期　6ヶ月

工事種類	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	7ヶ月
空調改修工事	契約・着工 準備工						
	機器製作（4ヶ月）						
			空調電源工事				
			各所養生・天井補修				
			空調設備改修工事				
						調整 試運転	引渡し 諸検査

工事概要

〔機械設備〕　管理棟と寄宿舎の空調機の新設を行う。

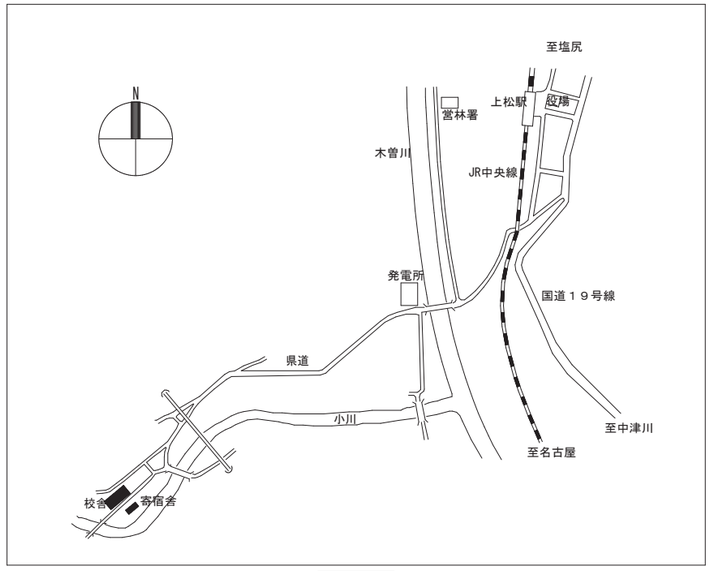
- 管理棟（職員室、製図室、視聴覚室）には個別パッケージエアコンを設置する。
- 寄宿舎（食堂、厨房）には個別パッケージエアコンを設置する。
- 寄宿舎（1階寮室、2階寮室、3階寮室）にはルームエアコンを設置する。
- 寄宿舎（1階廊下、2階廊下、3階廊下）にはカビ対策のため換気扇を設置する。
- 居ながら工事となるため、施設運営の支障とならない工事計画とすること。
- 躯体貫通部のコア抜きは,鉄筋・電線管が有るか鉄筋探査にて確認後,行う。

〔電気設備〕　空調設備改修に伴う、電源の改修を行う。

- 機械設備工事に係る新設機器への電源供給を行う。
- 個別パッケージ空調設備屋外機への電源供給、ルーム型エアコンへ屋内機への電源供給。
- 居ながら工事となるため、施設運営の支障とならない工事計画とすること。

〔建築工事〕

- A－3図の工事概要による。
- 設備改修工事に伴う天井の撤去・復旧。
- 外壁高所の配管施工場所へ足場の設置を行う。
- 作業場所の床養生を行い、作業終了後は清掃を行う。



案内図

長野県上松技術専門校

特記		訂正 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.	設計者氏名	１級建築士登録 第272762号　野坂　英史	SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン １級建築士事務所登録（松本）Ｂ第 8129 号 管理建築士　１級建築士登録　第265244号　須田　潔 〒390-0842　長野県松本市笹賀字野 2-8-10　TEL 0263(88)7348	工事名	上松技術専門校空調設備改修工事	
			設計者氏名		承認 / 設計体制及び検査 / 設計完了日	図面名	案内図、配置図、工事概要	
			設計者氏名		野坂 / 佐藤 / 野坂 / 本藤 / 2025.3	縮尺 A1: 1/400 A3: 1/800	JOB No. S25004D	図面番号 M－０２

空調設備　機器表　【改修後】

記　号	名　称	仕　様	台数	電気容量 φ	電気容量 V	電気容量 kW	設置場所	備　考
ACP－1－1	空冷式パッケージエアコン	型式　寒冷地型　天井カセット4方向型　R32　APF：6．3	1	3	200		屋外機：屋外（南側）	
	【集中管理】	冷房能力　7．1kW　暖房能力　8．0kW			(冷房定格)	1．7	屋内機：職員室	
		送風機　0．12+0．060kW　圧縮機　1．6kW			(暖房定格)	1．8		
		付属品　壁固定鋼製架台（溶融亜鉛メッキ仕上，防振ゴム付），転倒防止金具			(最大)	3．1		
		ワイヤードリモコン，防振吊金物，化粧パネル，集中管理アダプター						
ACP－1－2	空冷式パッケージエアコン	型式　寒冷地型　天井カセット4方向型　R32　APF：6．3	3	3	200		屋外機：屋外（南側）	
	【集中管理】	冷房能力　7．1kW　暖房能力　8．0kW			(冷房定格)	1．7	屋内機：製図室	
		送風機　0．12+0．060kW　圧縮機　1．6kW			(暖房定格)	1．8		
		付属品　壁固定鋼製架台（溶融亜鉛メッキ仕上，防振ゴム付），転倒防止金具			(最大)	3．1		
		ワイヤードリモコン，防振吊金物，化粧パネル，集中管理アダプター						
ACP－2－1	空冷式パッケージエアコン	型式　寒冷地型　床置型　R32　APF：4．9	2	3	200		屋外機：屋外（北・南側）	
	【集中管理】	冷房能力　10．0kW　暖房能力　11．2kW			(冷房定格)	2．7	屋内機：視聴覚室	
		送風機　0．16+0．06kW　圧縮機　2．1kW			(暖房定格)	2．9		
		付属品　壁固定鋼製架台（溶融亜鉛メッキ仕上，防振ゴム付），転倒防止金具（内外共）			(最大)	6．6		
		ワイヤードリモコン，転倒防止ワイヤー，室内機用木台、集中管理アダプター						
CC－1	集中コントローラー	型式　液晶タッチパネル　50グループ対応型	1	1	100	0．1	事務室	管理棟のエアコンのみ対象とする。
		一括・グループ・個別の発停、スケジュール運転、個別リモコンの操作禁止機能						
		デマンド機能						

記　号	名　称	仕　様	台数	電気容量 φ	電気容量 V	電気容量 kW	設置場所	備　考
ACP－2－4	空冷式パッケージエアコン	型式　寒冷地型　天井カセット4方向型　R32　APF：5．9	1	3	200		屋外機：屋外（西側）	
		冷房能力　12．5kW　暖房能力　14．0kW			(冷房定格)	3．4	屋内機：食堂	
		送風機　0．12+0．06×2kW　圧縮機　2．7kW			(暖房定格)	3．3		
		付属品　壁固定鋼製架台（溶融亜鉛メッキ仕上，防振ゴム付），転倒防止金具			(最大)	8．0		
		ワイヤードリモコン，防振吊金物，化粧パネル						
ACP－2－5	空冷式パッケージエアコン	型式　寒冷地型　厨房用天吊型　R32　APF：4．8	1	3	200		屋外機：屋外（西側）	
		冷房能力　7．1kW　暖房能力　8．0kW			(冷房定格)	2．0	屋内機：厨房	
		送風機　0．04+0．06×2kW　圧縮機　1．5kW			(暖房定格)	2．4		
		付属品　壁固定鋼製架台（溶融亜鉛メッキ仕上，防振ゴム付），転倒防止金具			(最大)	6．2		
		ワイヤードリモコン，防振吊金物						
ACR－1－1	ルームエアコン	型式　寒冷地型　壁掛型　R32　APF：6．0	10	1	200		屋外機：南側ベランダ	
		冷房能力　2．8kW　暖房能力　4．0kW			(冷房定格)	0．6	屋内機：1階察室	
		圧縮機　0．75kW			(暖房定格)	0．9		
		付属品　室外機用樹脂ブロック、ワイヤレスリモコン			(最大)	3．0		
ACR－2－1	ルームエアコン	型式　寒冷地型　壁掛型　R32　APF：6．0	10	1	200		屋外機：南側ベランダ	
		冷房能力　2．8kW　暖房能力　4．0kW			(冷房定格)	0．6	屋内機：2階察室	
		圧縮機　0．75kW			(暖房定格)	0．9		
		付属品　室外機用樹脂ブロック、ワイヤレスリモコン			(最大)	3．0		
ACR－2－2	ルームエアコン	型式　寒冷地型　壁掛型　R32　APF：6．0	1	1	200		屋外機：屋外（北側）	
		冷房能力　2．8kW　暖房能力　4．0kW			(冷房定格)	0．6	屋内機：2階厨房休憩室	
		圧縮機　0．75kW			(暖房定格)	0．9		
		付属品　壁固定鋼製架台（溶融亜鉛メッキ仕上，防振ゴム付），ワイヤレスリモコン			(最大)	3．0		
ACR－3－1	ルームエアコン	型式　寒冷地型　壁掛型　R32　APF：6．0	10	1	200		屋外機：南側ベランダ	
		冷房能力　2．8kW　暖房能力　4．0kW			(冷房定格)	0．6	屋内機：3階察室	
		圧縮機　0．75kW			(暖房定格)	0．9		
		付属品　室外機用樹脂ブロック、ワイヤレスリモコン			(最大)	3．0		
FE－1－1	天井埋込型換気扇	型式　低騒音型　DCブラシレスモーター　接続ダクト口径100Φ	3	1	100	0．1	1階　廊下	スイッチ取付けは電気工事
		風量　170m3／h×70Pa					2階　廊下	
		付属品　吊金具（防振ゴム付）、強弱スイッチ					3階　廊下	
		ベントキャップ（深型、SUS、指定色塗装、ガラリ、水切付）						

注1）パッケージ形空調機の冷暖房能力は、設計条件値の負荷を外気温度及び配管長にて補正を行い、ＪＩＳ条件に修正した値を表す。　注2）送風機容量，送風量及び電気容量は参考値とする。
注3）パッケージエアコンの能力及び消費電力はＪＩＳＢ８６１６に規定された定格条件による。　注4）ルームエアコンの能力及び消費電力はＪＩＳＣ９６１２に規定された定格条件による。
注5）機器の性能は国等の環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）及びエネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）に基づいた性能基準を満たすものとする。
注6）寒冷地エアコンはマイナス15℃で定格能力キープ出来るものとする。

機器表【改修前】

記　号	名　称	仕　様	台数	電気容量 φ	電気容量 V	電気容量 kW	設置場所	備　考
EH－1	電気ヒーター	仕　様：　蓄熱電気暖房機	31	1	200	3．0	1階～3階察室	ML-3005(日本電熱)
		蓄熱ヒーター　3.0kW					2階厨房休憩室	
		本体寸法：770W×640H×240D　重量：154kg						

配　管　材　料

●印を適用とする。

	配　管　材　料	施　工　場　所	保　温　工　事
●ドレン管	○ 配管用炭素鋼鋼管　JISG3452 ● 硬質塩化ビニル管　JISK6741（◎VP　・VU） ○ 排水通気用耐火二層管　内管（・VP　・VU） ○ カラー硬質塩化ビニル管（VP） ○ 空調用結露防止層付硬質塩化ビニル管（ACVP）	○屋内一般　○ピット内　○屋外露出部分 ●屋内一般　○ピット内　●屋外露出　地中埋設部分 ○屋内一般（防火区画貫通部前後1m）　○ピット内 ○屋外露出 ○屋内一般　○ピット内　○屋外露出部分	● 屋内露出：グラスウール保温筒＋鉄線＋合成樹脂製カバー2 ● 屋内隠蔽：アルミガラスクロス化粧付グラスウール保温筒 ○ ピット内：グラスウール保温筒＋鉄線＋ポリエチレンフィルム＋着色アルミガラスクロス
●冷媒管	● 断熱材被覆銅管　JCDA0009 （液管：保温厚10mm以上（呼径9．52mm以下は8mm）） （ガス管：保温厚20mm以上）	●屋内一般　○ピット内	○ 屋外露出：樹脂製化粧カバー ● 屋内露出：樹脂製化粧カバー ● 屋外露出：ステンレス鋼板

凡　例

記　号	名　称
――R――	冷媒管
――D――	ドレン管

冷媒フロン回収特記仕様書

※特記事項のうち選択する事項は、◎印の付いたものを適用し、・印の付いたものは適用しない。

章	項　目	特　記　事　項
●撤去工事	1　撤去内容 2　冷媒（フロン類）の回収	冷媒の回収は（◎本工事　・別途工事　）とする。 冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は改修標準仕様書による。 冷媒の回収は（◎本工事　・別途工事）とし、処分費は（◎本工事　・別途工事）とする。 特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保に関する法律施行規則の全部を改正する省令（令和２年度経済産業省・環境省令第７号）による、適切処理を行う事。 冷媒の回収にあたっては、監督職員に次の書類を提出する。 （ア）第一種フロン類回収業者登録通知書の写し （イ）フロン類回収証明書 （ウ）特定家庭用機器廃棄物管理表（家電リサイクル券）の写し（家庭用エアコン等の場合）

長野県上松技術専門校

特記

訂正 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.

設計者氏名　1級建築士登録 第272762号　野坂　英史

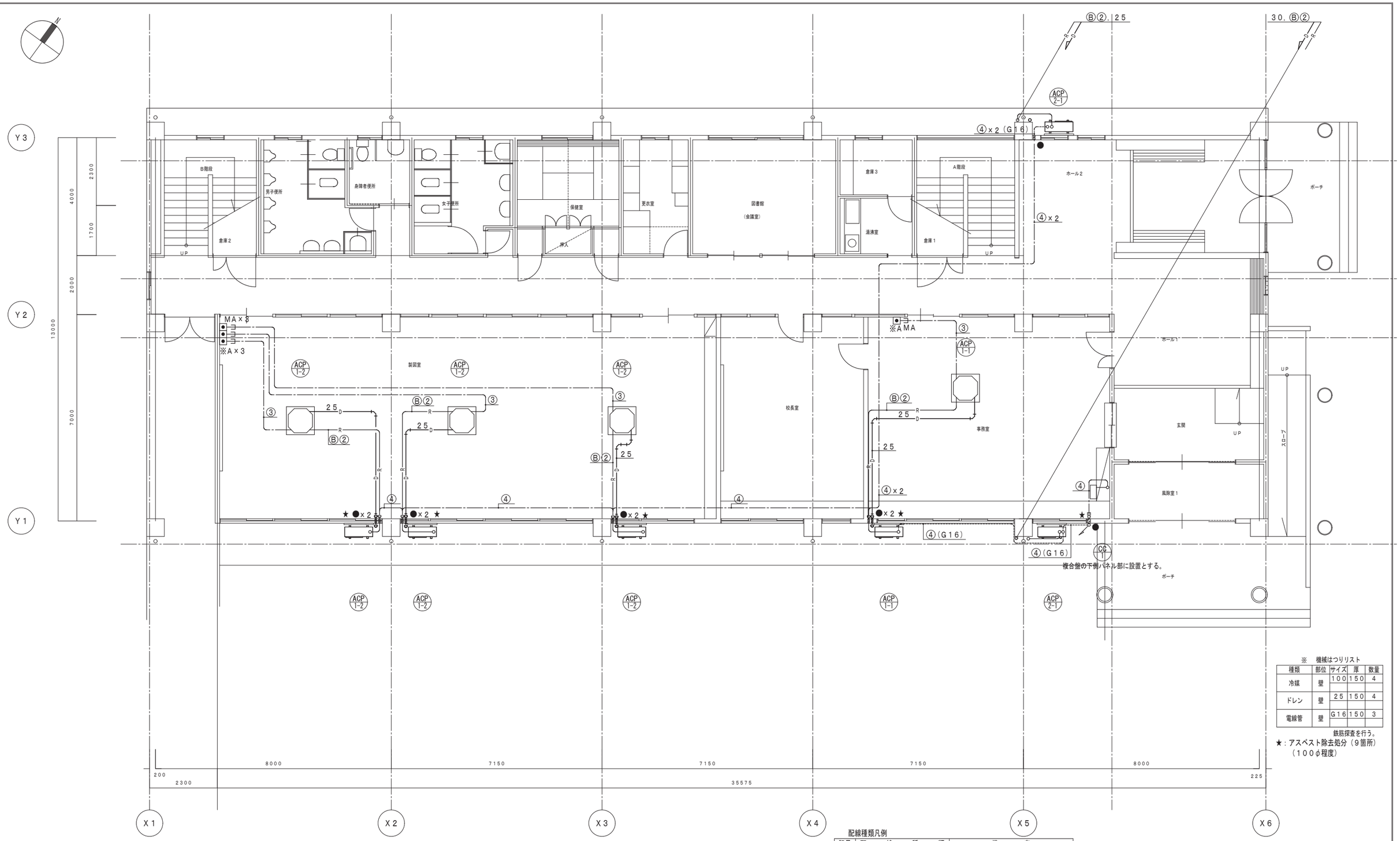
SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
1級建築士事務所登録（松本）B 第 81291 号
管理建築士　1級建築士登録　第265244号　須田　深
〒390-0842　長野県松本市征矢野 2-8-10　TEL. 0263(88)7348

承認	検査員	責任者	担当者	担当者	設計完了日
野阪	佐藤	鳥井	本藤		2025.3

工事名　上松技術専門校空調設備改修工事

図面名　空調設備　機器表【改修後・改修前】

縮尺　A1：N・S　A3：N・S　JOB No. S25004D　図面番号 M－03



※　機械はつりリスト

種類	部位	サイズ	厚	数量
冷媒	壁	100	150	4
ドレン	壁	25	150	4
電線管	壁	G16	150	3

鉄筋探査を行う。

★：アスベスト除去処分（9箇所）
（100φ程度）

配線種類凡例

記号	配　線　種　類	備　考
①	EM－CE2．0－3C	室内外渡り配線　冷媒共巻
②	EM－CE2．0－4C	室内外渡り配線　冷媒共巻
③	EM－AE0．65－2C	室内機～リモコン
④	EM－AE0．65－2C	室外機～室外機～集中コントローラー

※A▣：空調機リモコン＋2個用スイッチボックス
MA　：メタルモールA形
——-——　天井内ころがし配線
----------　露出

※屋内の冷媒管施工においては，火無し工法とする。
※外壁腰壁仕上塗材貫通部分のアスベスト除去処分（湿潤剤・固化剤吹付）を行う。

記号	冷媒管サイズ（参考） 液管	ガス管
Ⓐ	6．35φ	9．52φ
Ⓑ	9．52φ	15．88φ

屋内露出冷媒管は樹脂製カバー（100×70）を使用する。
屋外露出冷媒管はステンレス外装とする。
外壁貫通部は，ドレン管共腰壁部とする。

凡例
●　：機械はつり補修

長野県上松技術専門校

特記

訂正
1.
2.
3.
4.
5.
6.
7.

設計者氏名　1級建築士登録 第272762号　野坂　英史
設計者氏名
設計者氏名

SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
1級建築士事務所登録（松本）8 第 81291 号
管理建築士　1級建築士登録　第265244号　須田　潔
〒390-0842　長野県松本市征矢野 2-8-10　TEL 0263(88)7348

承認	設計体制及び検査 検査員	責任者	担当者	担当者	設計完了日
野坂	佐藤	鳥井	本藤		2025.3

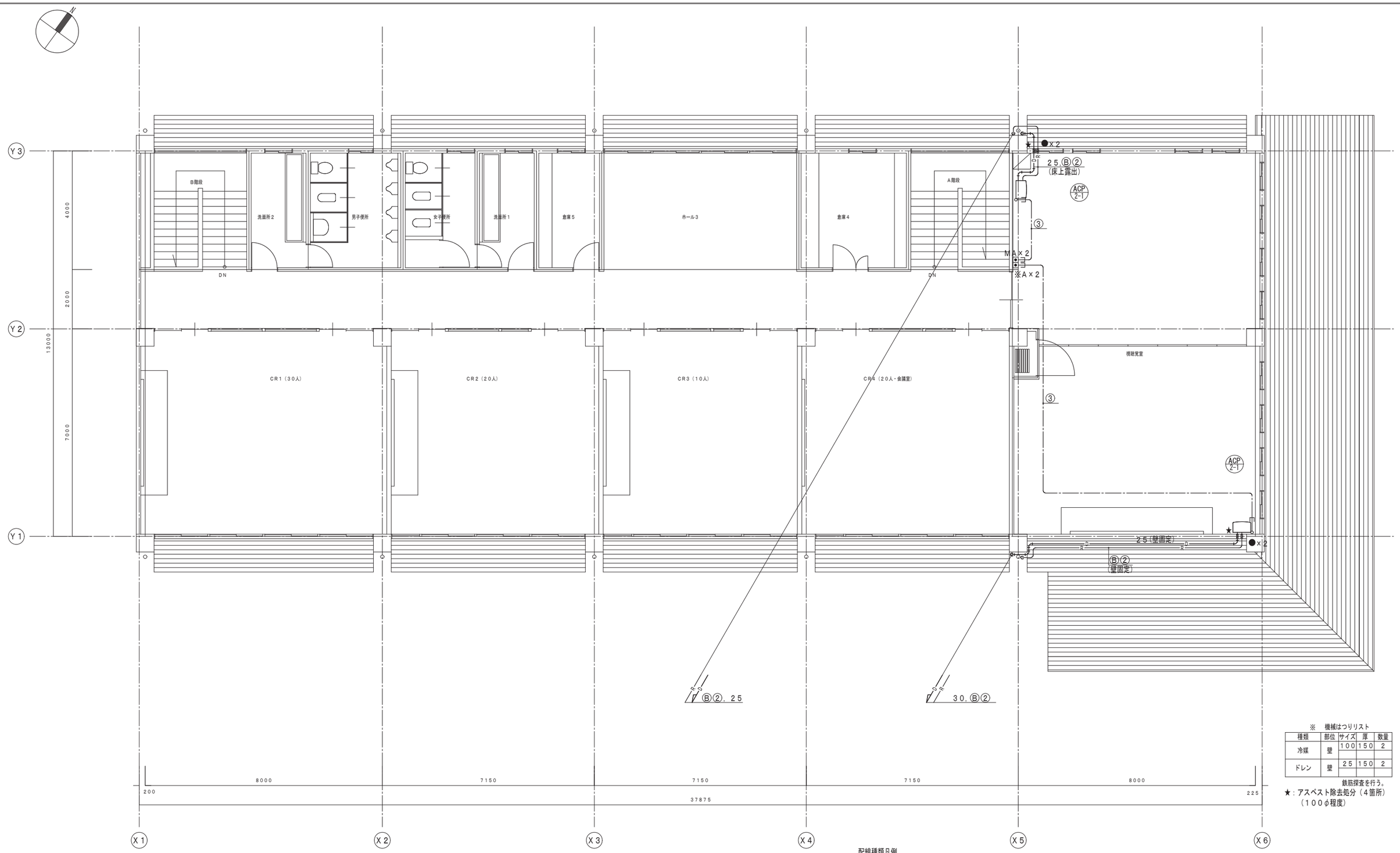
工事名　上松技術専門校空調設備改修工事

図面名　（管理棟）空調設備　1階平面図【改修後】

縮尺　A1：1/60　A3：1/120

JOB No.　S25004D

図面番号　M－04



※　機械はつりリスト

種類	部位	サイズ	厚	数量
冷媒	壁	100	150	2
ドレン	壁	25	150	2

鉄筋探査を行う。

★：アスベスト除去処分（4箇所）
（100φ程度）

配線種類凡例

記号	配線種類	備考
①	EM−CE2．0−3C	室内外渡り配線　冷媒共巻
②	EM−CE2．0−4C	室内外渡り配線　冷媒共巻
③	EM−AE0．65−2C	室内機～リモコン
④	EM−AE0．65−2C	室外機～室外機～集中コントローラー

※A▣：空調機リモコン＋2個用スイッチボックス
MA　：メタルモールA形
——-——　天井内ころがし配線

記号	冷媒管サイズ（参考）	
	液管	ガス管
Ⓐ	6．35φ	9．52φ
Ⓑ	9．52φ	15．88φ

屋内露出冷媒管は樹脂製カバー（100×70）を使用する。
屋外露出冷媒管はステンレス外装とする。
外壁貫通部は，ドレン管共腰壁部とする。

※屋内の冷媒管施工においては，火無し工法とする。
※外壁腰壁仕上塗材貫通部分のアスベスト除去処分（湿潤剤・固化剤吹付）を行う。

凡例
●　：機械はつり補修

長野県上松技術専門校

特記	訂正
	1.
	2.
	3.
	4.
	5.
	6.
	7.

設計者氏名	
設計者氏名	1級建築士登録 第272762号 野坂 英史
設計者氏名	
設計者氏名	

SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
1級建築士事務所登録（松本）5 第 81291 号
管理建築士 1級建築士登録 第265244号 須田 潔
〒390-0842 長野県松本市征矢野 2-8-10 TEL 0263(88)7348

承認	設計体制及び検査				設計完了日
	検査員	責任者	担当者	担当者	
野坂	佐藤	鳥井	本藤		2025.3

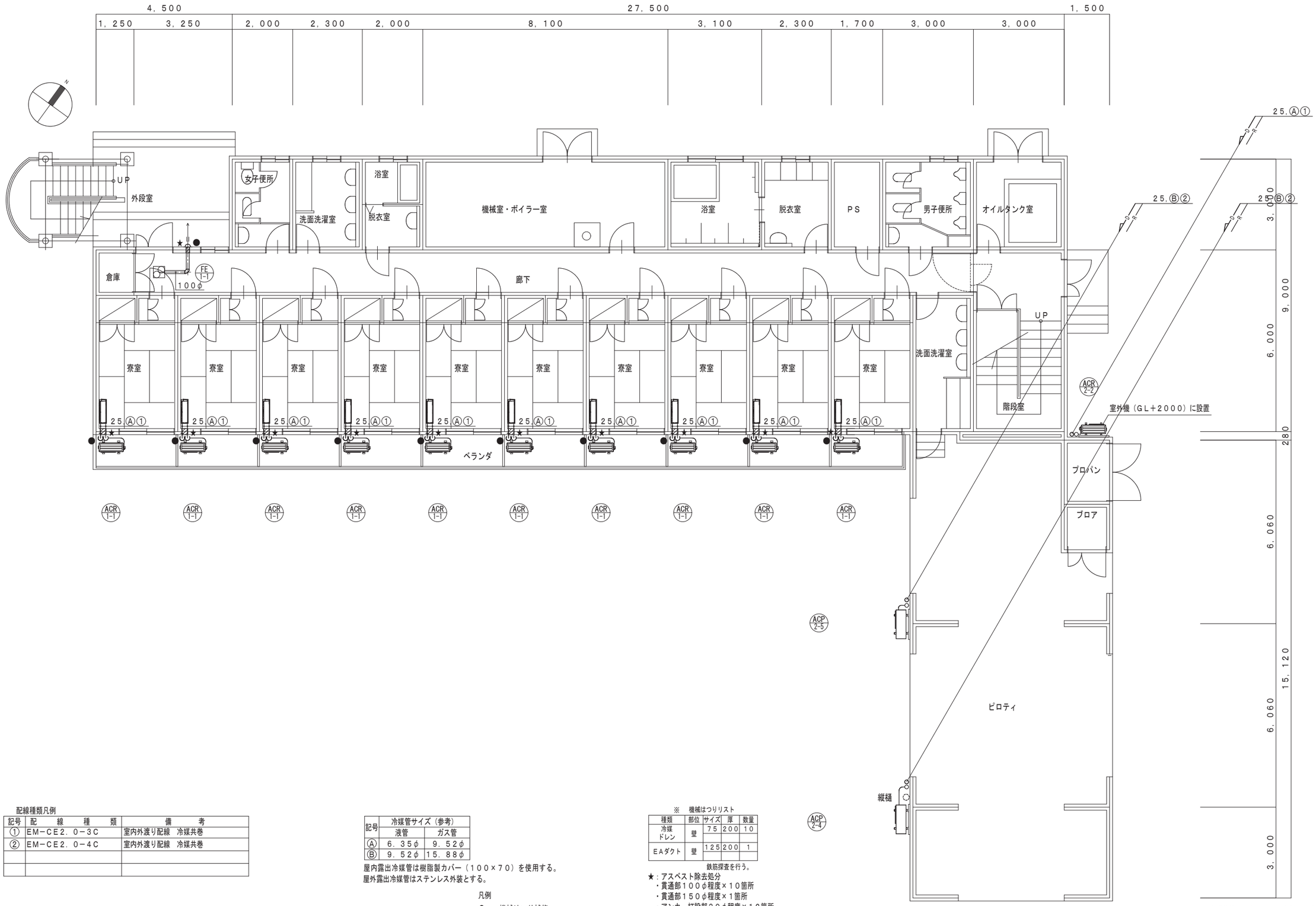
工事名　上松技術専門校空調設備改修工事

図面名　（管理棟）空調設備　2階平面図【改修後】

縮尺　A1：1/60　A3：1/120

JOB No.　S25004D

図面番号　M−05



配線種類凡例

記号	配線種類	備考
①	EM－CE2．0－3C	室内外渡り配線　冷媒共巻
②	EM－CE2．0－4C	室内外渡り配線　冷媒共巻

記号	冷媒管サイズ（参考）	
	液管	ガス管
Ⓐ	6．35φ	9．52φ
Ⓑ	9．52φ	15．88φ

屋内露出冷媒管は樹脂製カバー（100×70）を使用する。
屋外露出冷媒管はステンレス外装とする。

凡例

● ：機械はつり補修

※　機械はつりリスト

種類	部位	サイズ	厚	数量
冷媒ドレン	壁	75	200	10
EAダクト	壁	125	200	1

鉄筋探査を行う。

★：アスベスト除去処分
・貫通部100φ程度×10箇所
・貫通部150φ程度×1箇所
・アンカー打設部30φ程度×12箇所

※屋内の冷媒管施工においては，火無し工法とする。
※外壁貫通部分のアスベスト除去処分（湿潤剤・固化剤吹付）を行う。

長野県上松技術専門校

特記

訂正
1.
2.
3.
4.
5.
6.
7.

設計者 氏名　1級建築士登録 第272762号　野坂　英史
設計者 氏名
設計者 氏名

SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
1級建築士事務所登録（松本）8 第 81291 号
管理建築士　1級建築士登録　第265244号　須田　潔
〒390-0842　長野県松本市征矢野 2-8-10　TEL 0263(88)7348

承認	設計体制及び検査				設計完了日
野坂	検査員 佐藤	責任者 鳥井	担当者 本藤	担当者	2025.3

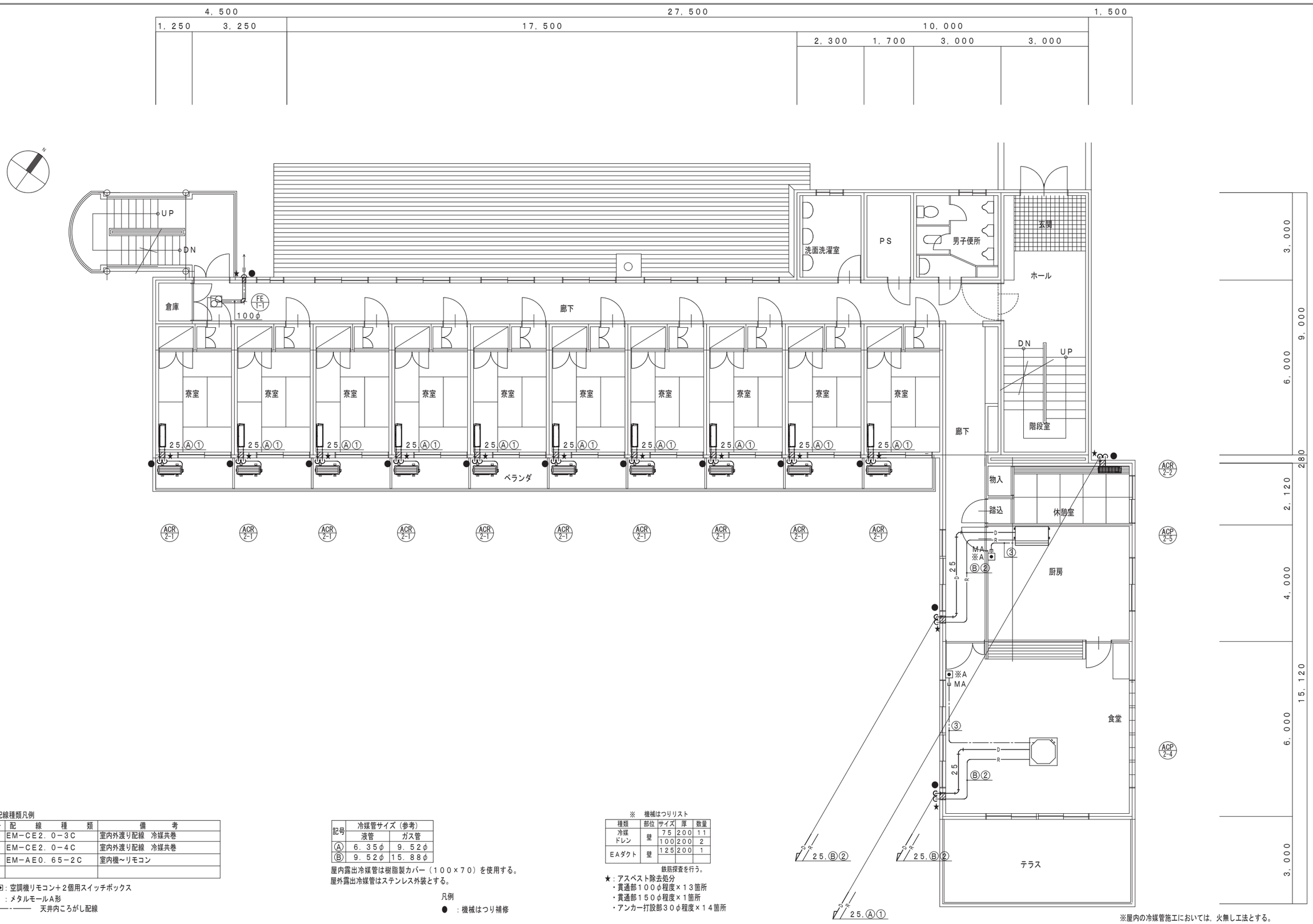
工事名　上松技術専門校空調設備改修工事

図面名　（寄宿舎）空調換気設備　1階平面図【改修後】

縮尺　A1：1/60　A3：1/120

JOB No.　S25004D

図面番号　M－06



配線種類凡例

記号	配線種類	備考
①	EM−CE2．0−3C	室内外渡り配線　冷媒共巻
②	EM−CE2．0−4C	室内外渡り配線　冷媒共巻
③	EM−AE0．65−2C	室内機～リモコン

※A▣：空調機リモコン＋2個用スイッチボックス
MA　：メタルモールA形
——·——　天井内ころがし配線

記号	冷媒管サイズ（参考）	
	液管	ガス管
Ⓐ	6．35φ	9．52φ
Ⓑ	9．52φ	15．88φ

屋内露出冷媒管は樹脂製カバー（100×70）を使用する。
屋外露出冷媒管はステンレス外装とする。

凡例
●　：機械はつり補修

※　機械はつりリスト

種類	部位	サイズ	厚	数量
冷媒ドレン	壁	75	200	11
		100	200	2
EAダクト	壁	125	200	1

鉄筋探査を行う。

★：アスベスト除去処分
・貫通部100φ程度×13箇所
・貫通部150φ程度×1箇所
・アンカー打設部30φ程度×14箇所

※屋内の冷媒管施工においては，火無し工法とする。
※外壁貫通部分のアスベスト除去処分（湿潤剤・固化剤吹付）を行う。

長野県上松技術専門校

特記

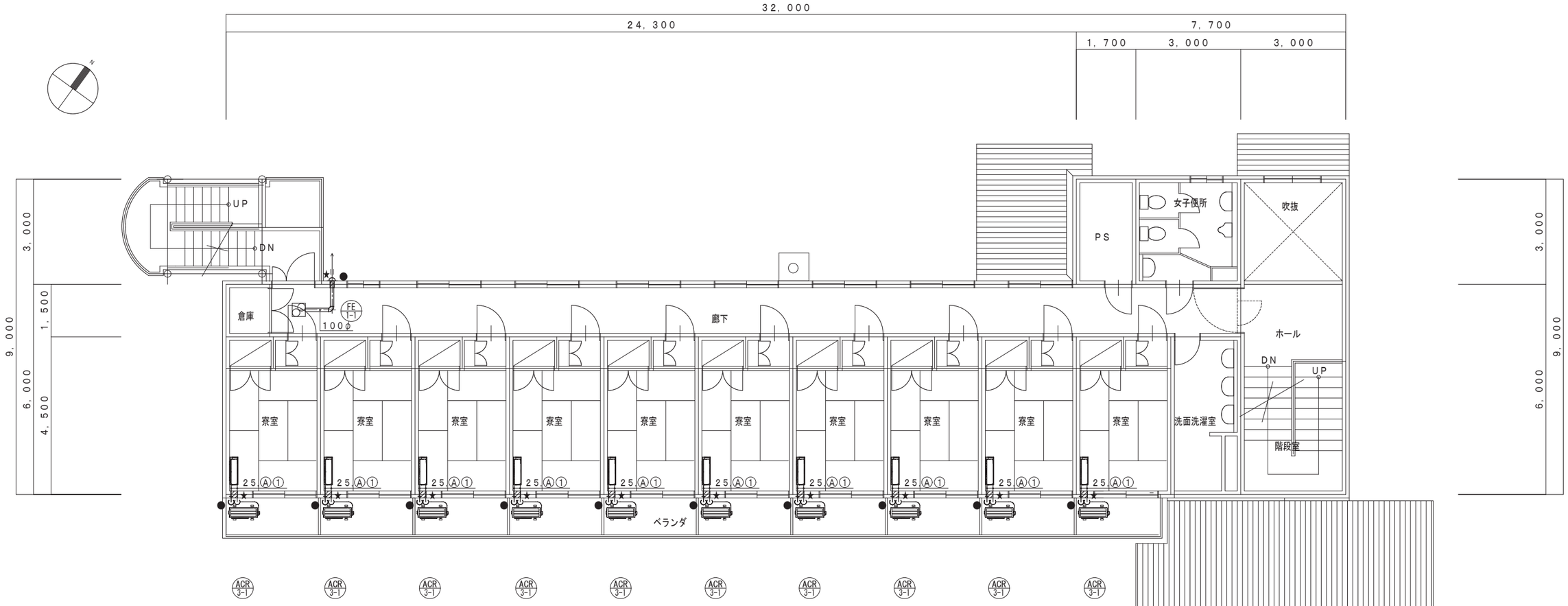
訂正
1.
2.
3.
4.
5.
6.
7.

設計者氏名　1級建築士登録 第272762号　野坂　英史
設計者氏名
設計者氏名

SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
1級建築士事務所登録（松本）B 第 81291 号
管理建築士　1級建築士登録　第265244号　須田　潔
〒390-0842　長野県松本市征矢野 2-8-10　TEL 0263(88)7348

承認	設計体制及び検査				設計完了日
	検査員	責任者	担当者	担当者	
野坂	佐藤	鳥井	本藤		2025.3

工事名　上松技術専門校空調設備改修工事
図面名　（寄宿舎）空調換気設備　2階平面図【改修後】
縮尺　A1：1/60　A3：1/120
JOB No.　S25004D
図面番号　M−07



配線種類凡例

記号	配線種類	備考
①	EM－CE2．0－3C	室内外渡り配線　冷媒共巻
②	EM－CE2．0－4C	室内外渡り配線　冷媒共巻

記号	冷媒管サイズ（参考）	
	液管	ガス管
Ⓐ	6．35φ	9．52φ
Ⓑ	9．52φ	15．88φ

屋内露出冷媒管は樹脂製カバー（100×70）を使用する。
屋外露出冷媒管はステンレス外装とする。

凡例

● ：機械はつり補修

※　機械はつりリスト

種類	部位	サイズ	厚	数量
冷媒ドレン	壁	75	200	10
EAダクト	壁	125	200	1

鉄筋探査を行う。

★：アスベスト除去処分
・貫通部100φ程度×10箇所
・貫通部150φ程度×1箇所
・アンカー打設部30φ程度×11箇所

※屋内の冷媒管施工においては，火無し工法とする。
※外壁貫通部分のアスベスト除去処分（湿潤剤・固化剤吹付）を行う。

長野県上松技術専門校

特記

訂正
1.
2.
3.
4.
5.
6.
7.

設計者氏名　1級建築士登録 第272762号　野坂　英史

SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
1級建築士事務所登録（松本）B 第 81291 号
管理建築士　1級建築士登録　第265244号　須田　潔
〒390-0842　長野県松本市征矢野 2-8-10　TEL 0263(88)7348

承認	設計体制及び検査				設計完了日
	検査員	責任者	担当者	担当者	
野坂	佐藤	鳥井	本藤		2025.3

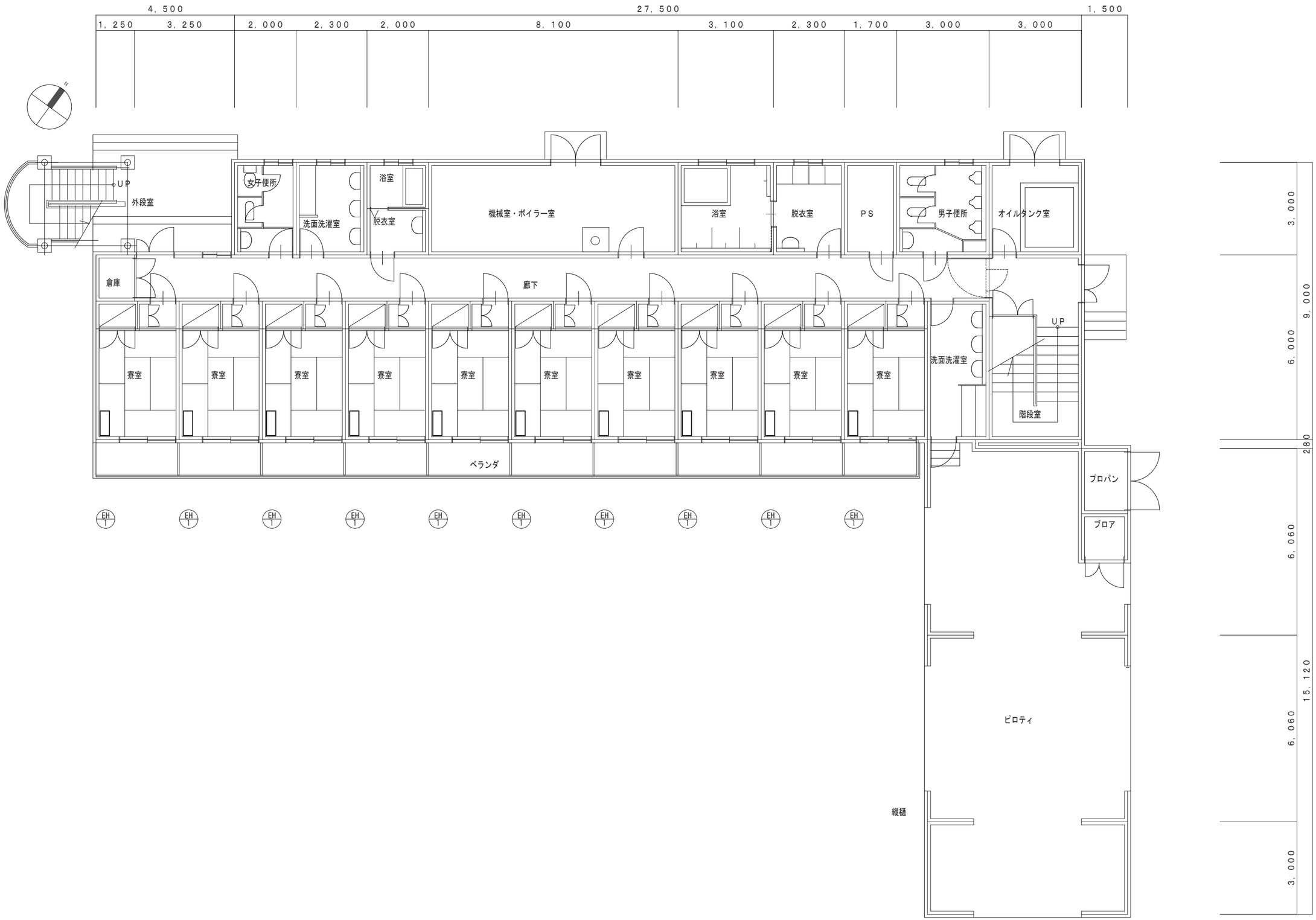
工事名　上松技術専門校空調設備改修工事

図面名　（寄宿舎）空調換気設備　3階平面図【改修後】

縮尺　A1：1/60　A3：1/120

JOB No.　S25004D

図面番号　M－08



※実太線は，撤去範囲を示す。

長野県上松技術専門校

特記	訂正
	1.
	2.
	3.
	4.
	5.
	6.
	7.

設計者氏名	1級建築士登録 第272762号 野坂 英史
設計者氏名	
設計者氏名	

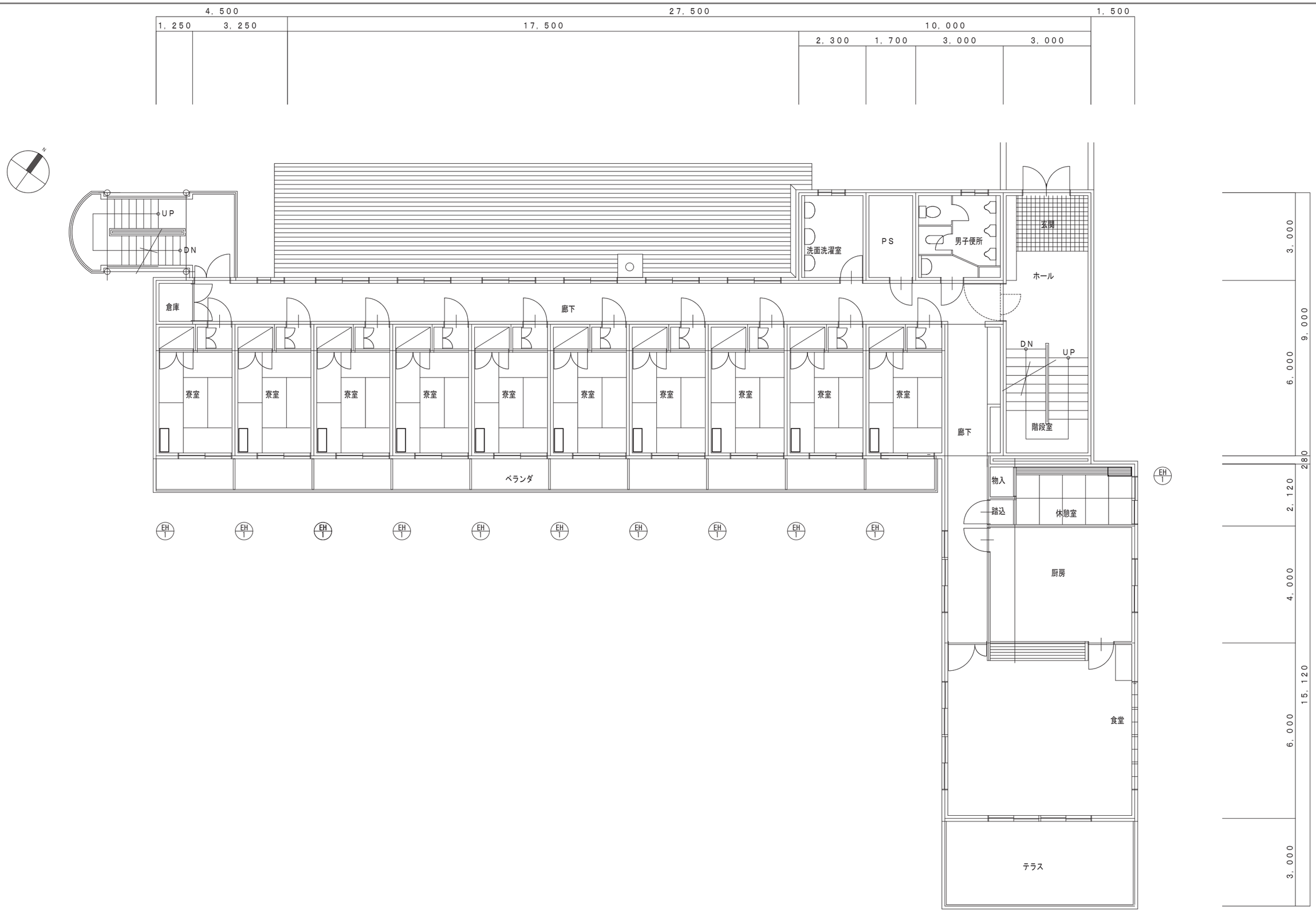
SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
1級建築士事務所登録（松本）B 第 81291 号
管理建築士 1級建築士登録 第265244号 須田 潔
〒390-0842 長野県松本市征矢野 2-8-10 TEL 0263(88)7348

承認	設計体制及び検査				設計完了日
	検査員	責任者	担当者	担当者	
野坂	佐藤	鳥井	本藤		2025.3

工事名：上松技術専門校空調設備改修工事

図面名：（寄宿舎）空調換気設備　1階平面図【改修前】

縮尺	JOB No.	図面番号
A1: 1/60 A3: 1/120	S25004D	M－09



※実太線は，撤去範囲を示す。

長野県上松技術専門校

特記	訂正
	1.
	2.
	3.
	4.
	5.
	6.
	7.

設計者氏名：1級建築士登録 第272762号 野坂 英史

設計者氏名：

設計者氏名：

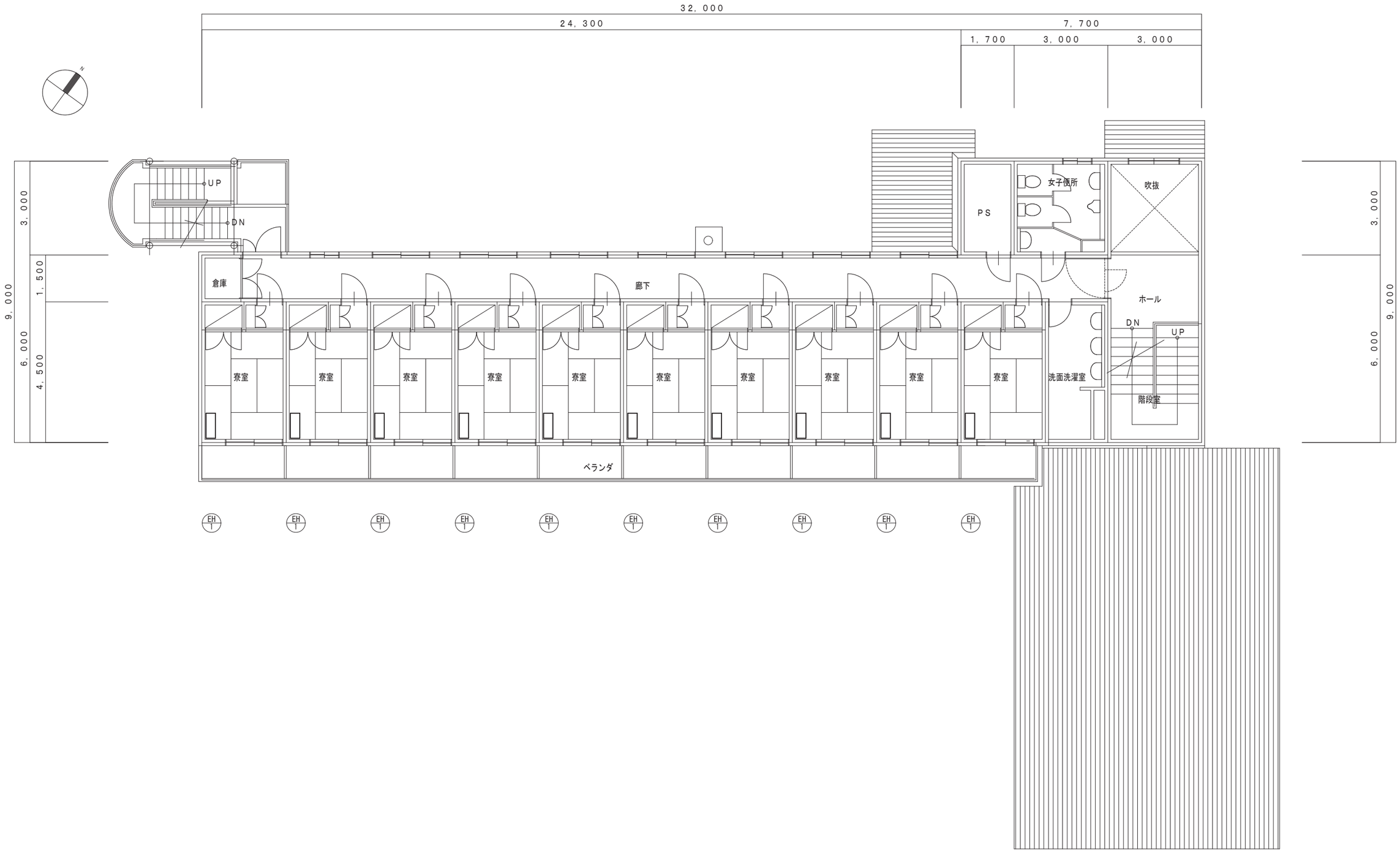
SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
1級建築士事務所登録（松本）B 第 81291 号
管理建築士 1級建築士登録 第265244号 須田 潔
〒390-0842 長野県松本市征矢野 2-8-10 TEL 0263(88)7348

承認	設計体制及び検査				設計完了日
	検査員	責任者	担当者	担当者	
野坂	佐藤	鳥井	本藤		2025.3

工事名：上松技術専門校空調設備改修工事

図面名：（寄宿舎）空調換気設備　２階平面図【改修前】

縮尺	JOB No.	図面番号
A1: 1/60 A3: 1/120	S25004D	M－１０



※実太線は，撤去範囲を示す。

長野県上松技術専門校

特記	訂正
	1.
	2.
	3.
	4.
	5.
	6.
	7.

設計者 氏名：1級建築士登録 第272762号 野坂 英史

設計者 氏名：

設計者 氏名：

SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
1級建築士事務所登録（松本）B 第 81291 号
管理建築士 1級建築士登録 第265244号 須田 潔
〒390-0842 長野県松本市征矢野 2-8-10 TEL 0263(88)7348

承認	設計体制及び検査				設計完了日
	検査員	責任者	担当者	担当者	
野坂	佐藤	鳥井	本藤		2025.3

工事名：上松技術専門校空調設備改修工事

図面名：（寄宿舎）空調換気設備　3階平面図【改修前】

縮尺	JOB No.	図面番号
A1：1/60 A3：1/120	S25004D	M－11

上松技術専門校空調設備改修工事（電気設備工事）

Ⅰ 工事概要

1 工事場所　長野県木曽郡上松町大字小川

2 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積（㎡）	消防法施行令別表第一の区分	備考
管理棟	RC	地上2階	984.97	（ 7 ）項	
寄宿舎	RC	地上3階	769.88	（ 5 ）項ロ	

3 工事種目　（○印のついたものを適用する。）

工事種目	項目	建物別及び屋外					
		管理棟	寄宿舎				
電灯設備		○一式	○一式				
動力設備	幹線、分岐	○一式	○一式				
電熱設備							
雷保護設備							
受変電設備		○一式					
電力貯蔵設備							
静止形電源設備	直流電源装置						
発電設備							
構内情報通信網設備	ＬＡＮ用配管						
構内交換設備	電話設備						
情報表示設備	時計設備						
映像・音響設備							
拡声設備							
誘導支援設備	インターホン・トイレ呼出し設備						
テレビ共同受信設備							
監視カメラ設備							
駐車場管制設備							
防犯・入退室管理設備	インターホン・トイレ呼出し設備						
自動火災報知設備							
自動閉鎖設備							
非常警報設備	非常放送装置						
ガス漏れ警報設備							
中央監視制御設備							
構内配電線路		○一式					
構内通信線路							
昇降機設備							
撤去一式		○一式	○一式				

Ⅱ 管理技術者等

設計事務所名	管理技術者
株式会社　三友ﾌｧｼﾘﾃｨｰｽﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ	野坂　英史

主任担当技術者	担当技術者		
意匠担当			
株式会社　三友ﾌｧｼﾘﾃｨｰｽﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ　夏目　博範			
構造担当			
積算担当			
電気設備担当			
株式会社　三友ﾌｧｼﾘﾃｨｰｽﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ　須田　潔	株式会社　三友ﾌｧｼﾘﾃｨｰｽﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ　波多腰　永寿		
機械設備担当			
株式会社　三友ﾌｧｼﾘﾃｨｰｽﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ　鳥井　清司	株式会社　三友ﾌｧｼﾘﾃｨｰｽﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ　本藤　利文		
	株式会社　三友ﾌｧｼﾘﾃｨｰｽﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ　亀原　衛		

Ⅲ 工事仕様

1 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様書に記載されてない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)」(以下、「標準仕様書」という。)、「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(令和4年版)」(以下、「標準図」という。)による。

(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

2 特記仕様

特記仕様は別紙「特記仕様書（共通事項）」によるほか次の各項目による。

（1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。

項目	特記事項
① 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。 ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
② 機材の品質・性能証明	下表に示す材料・機材等（○印のもの）の製造者等は次の1)から6)のすべての事項を満たすものとし、この証明となる資料または外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出し監督員の承諾を受ける。 材料・機材名 ／ 材料・機材名 ・ ／ ・ ・ ／ ・ ・ ／ ⊙ その他、監督員の指示によるもの ⊙ (社)公共建築協会による「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設備機材 1)　品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2)　生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 3)　安定的な供給が可能であること。 4)　法冷等が定める場合は、その許可・認可・認定または免許を取得していること。 5)　製造または施工の実績があり、その信頼性があること。 6)　販売、保守等の営業体制が整えられていること。
③ 化学物質を発散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の（1）から（5）を満たすものとする。 (1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (2)保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (3)接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (5)上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを放散しないものとは放散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとする。 ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。 また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。 ホルムアルデヒドの放散量 ／ 該当する建築材料 規制対象外：①JIS及びJASの F☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 第三種：①JIS及びJASの F☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第２０条の５第３項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのＥ○規格品 ④旧JASのＦ○○規格品
④ 施工条件明示項目	・公共建築工事積算基準の解説(設備工事編)の「執務並行改修」
⑤ 電気保安技術者	工事現場の電気工作物（電路、自動扉、自動シャッター、電動機等も含む）の保安業務を行うものとする。
⑥ 電気工事士	契約電力５００ｋＷ以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。
⑦ 実施工程表及び施工計画書	(1)実施工程表、総合施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。 (2)工程別の施工計画書は、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は監督職員の承諾を受けること。
⑧ 使用材料発注先調書	使用材料名、製造業者名、発注先等を記載した調書を作成し提出する。
⑨ 発生材の処理	(1)引渡しを要するもの　⊙無　・有（　　） (2)引渡しを要するもの以外　⊙構外搬出し、関係法令により適切に処理をする。 (3)特別管理産業廃棄物　⊙無　・有（PCB使用機器：関連法令により適切に処理し建物管理者に引き渡す。） (4)再利用又は再資源化を図るもの ・無　⊙有（・廃蛍光管　・コンクリート・木材・アスファルト⊙金属くず・ダンボール類　）
⑩ 監督員事務所	⊙設けない　・設ける（規模：　　） ・備品（　　）
⑪ 工事用仮設物	すべて請負者の負担とする。 構内に作ることが　⊙できる　・できない
⑫ 足場・さん橋類	⊙別契約の関係請負者が定置したものは、無償で使用できる。 ⊙本工事で設置する。 ・内部仮設足場等（・架台足場　・移動式足場　・移動式室内足場　・　　） ・外部足場 （ ・A種［施工箇所面に枠組足場を設ける。］　・B種［施工箇所面に単管本足場を設ける。］ ・C種［仮設ゴンドラを使用する。］　・D種［移動式足場を使用する。］　）
⑬ 工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は請負者の負担とする。
⑭ 工事写真	工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。
⑮ しゅん工時提出物	標準仕様書及び別表による。
16 再使用機器	取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。 ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。
⑰ 耐震施工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針２０１４年版　：整修（独）建築研究所」による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。 (1)設計用水平地震力 機器の重量［ｋｇｆ］に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次による。 設計用標準水平地震度 設置場所 ／ 機器種別 ／ 特定の施設 重要機器 ／ 特定の施設 一般機器 ／ ○ 一般の施設 重要機器 ／ ○ 一般の施設 一般機器 上層階、屋上及び塔屋：機器 2.0 1.5 1.5 1.0 上層階、屋上及び塔屋：防振支持の機器 2.0 2.0 2.0 1.5 上層階、屋上及び塔屋：水槽類（※１） 2.0 1.5 1.5 1.0 中間階：機器 1.5 1.0 1.0 0.6 中間階：防振支持の機器 1.5 1.5 1.5 1.0 中間階：水槽類（※１） 1.5 1.0 1.0 0.6 地下・１階：機器 1.0 0.6 0.6 0.4 地下・１階：防振支持の機器 1.0 1.0 1.0 0.6 地下・１階：水槽類（※１） 1.5 1.0 1.0 0.6 （※１）水槽類にはオイルタンク等を含む。 ◎重要機器の定義は次による。 ⊙受変電設備　・発電設備　・直流電源設備　・交流無停電電源装置　・交換機 ・自動火災報知受信機　・中央監視装置　・変圧器　・リアクトルコンデンサ ◎上層階の定義は次による。 ２～６階建の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、 １０～１２階建の場合は上層３階、１３階以上の場合は上層４階とする。 (2)設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の１／２とし、水平地震力と同時に働くものとする。
⑱ あと施工アンカー	公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）8章2節8.2.4及び12節による。 確認試験は、・性能確認試験（　本）・施工後確認試験（　本）を確認強度□kNにて行う。
19 防火区画等の貫通処理	電線等が、防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合の施工状況について、貫通個所の両面から写真撮影し、工事写真として提出する。
⑳ 電線・ケーブル	(1) EM-EEF は紫外線による劣化を抑止する性能を持たせ、「ﾀｲｼﾝｶﾞｲﾚﾝ EM-EEF」と表記されたものを使用する。 (2) EM-UTP は JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースにJIS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの。
21 予備配管	埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器４個以下の場合は(25)を１本５個以上の場合は(25)を２本、天井まで立上げる。
22 呼び線	長さ１ｍ以上の入線しない電線管には、１．２mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。
㉓ 金属製電線管の塗装	下記の露出配管は塗装を行う。 ⊙屋　外（溶融亜鉛メッキ仕上げは除く）　・屋　内
24 埋め戻し土	・A種［山砂の類：水締め、機器による締固め］ ・B種［根切り土の中の良質土：機器による締固め］ ・C種［他現場の建設発生土の中の良質土：機器による締固め］ ・D種［再生コンクリート砂：水締め、機器による締固め］ ・配管下部は50mm以上、上部は100mm以上砂を用いて締め固めること。
25 建設発生土の処理	・場外搬出処理　・構内の指定場所に敷き均し
26 ケーブル埋設票	(1)　地中線路には、ケーブル埋設票をもうける。　・鉄製　・コンクリート製 (2)　低圧地中配線にあっても地中線埋設標識シートを敷設する。 (3)　配管埋設幅が750mmを超える場合は、地中線埋設標識シートは２条以上敷設する。
㉗ プルボックス	(1)　露出するプルボックスの本体及びふたの仕上げは、メラミン焼付塗装とする。 (2)　露出するプルボックスのふたの止めねじは化粧ビスとする。
㉘ フラッシュプレート	図面に特記あるもの及び特殊なものを除き　⊙金属製　・樹脂製
29 プレートの用途表示	プルボックス、ジョイントボックス及び機器を実装しないプレートには、用途を明示した略標をつける。
㉚ 配線器具	タンブラスイッチは連用形とする。 壁付けコンセント(2P15A)は原則として連用形とする。ただし、２口の場合は複式を使用して良い。また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。
㉛ 機器への接続	本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。
32 照度測定	・　測定場所：　・　各室（測定箇所数　箇所）　・　廊下　・　階段 用　途：　・　非常用照明　・　一般照明 ・　学校施設における室内照度測定（測定教室：　個所、　測定黒板面：　個所） ※教室の照度は、１教室当たり机上面9ヵ所、黒板垂直面9ヵ所で測定する
㉝ 盤類	(1)　分電盤等の図面ホルダーに、単線結線図・絶縁抵抗測定表・接地抵抗測定表を収納する。 (2)　端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。
㉞ グリーン購入の推進	長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目 ＜資材＞　・照明制御システム　⊙変圧器　・（　　） ＜建設機器＞　・排出ガス対策型建設機器　・低騒音型建設機器
35 他工事又は他工種との取り合い	工事区分表（平成　年版）による。ただしこれにより難い場合は監督職員と協議する。
㊱ その他及び電子納品	保険等の各種措置及び電子納品については、別添「特記仕様書(共通事項)」による。 (長野県公式ホームページ(電子入札システム)に掲載される、当該入札公告の添付図書)
37 その他	・　施工制約条件

（別表）　しゅん工時提出物　（・に○印のついたものを提出する。）

個別提出物	一括提出物
1 完成図	⑤ 機器完成図
⊙ 原図（Ａ１版　ケース入り）	⑥ 工事写真
⊙ 隔画（Ａ１版　２つ折り製本　１部）	⑦ 完成写真
⊙ CADデータ(jww及びpdf形式)	⑧ 工事記録　（打合せ簿、工事日誌、協議書）
・	⑨ 機材の試験成績書
2 設計図	⑩ 施工の試験成績書
⊙ CADデータ	⑪ 社内試験成績書
	⑫ 発生材処理報告書
3 引渡書	（廃棄物処理実施書、運搬及び処理の委託契約書の写し、マニフェストの写し、フロー図）
4 納入品	
⊙ 予備品　⊙ 盤類の鍵	⑬ 納入品一覧表
・ ハンドホールフック、ジャッキ	⑭ 官公署手続、検査書（管理者用正本、写し）
	⑮ 保全に関する資料（取扱い説明書も含む）

3 ハンドホール

下表による。（桟子は各ハンドホールに設置する。蓋取外し用ジャッキを１組納入する。）

ブロックハンドホール　（寸法は内法を示す。底部とはハンドホール内側底部をいう。）

・コンクリート相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤により接着する。
・ブロックの仕様は国土交通省仕様に準ずるものとする。
・ハンドホールにノックアウト部分を設けてはならない。
・配管貫通部は、原則として根巻きｺﾝｸﾘｰﾄ（F=18N/mm以上）とし、差し筋D10タテヨコ#200で補強する。
・補強方法については、あらかじめ監督員にﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ製作図を提出して承諾を受けて施工する。

・	ハンドホール Ｎｏ．－	１，５００×１，５００×１，５００Ｄ 蓋 ＷＰＭ－６０Ａ　（Ｅマーク入）	底部 ＧＬ－１，７４０以上 （アルミ桟子付）
・	ハンドホール Ｎｏ．－	１，２００×１，２００×１，５００Ｄ 蓋 ＷＰＭ－６０Ａ　（Ｅマーク入）	底部 ＧＬ－１，７００以上 （アルミ桟子付）
・	ハンドホール Ｎｏ．１	１，０００×１，０００×１，４００Ｄ 蓋 ＷＰＭ－６０Ａ　（Ｅマーク入）	底部 ＧＬ－１，６００以上 （アルミ桟子付）
・	ハンドホール Ｎｏ．－	１，０００×１，０００×１，１００Ｄ 蓋 ＷＰＭ－６０Ａ　（Ｅマーク入）	底部 ＧＬ－１，３００以上 （アルミ桟子付）
・	ハンドホール Ｎｏ．－	１，０００×１，０００×　９００Ｄ 蓋 ＷＰＭ－６０Ａ　（Ｅマーク入）	底部 ＧＬ－１，０６０以上 （アルミ桟子付）
・	ハンドホール Ｎｏ．－	９００×　９００×１，１００Ｄ 蓋 ＷＰＭ－６０Ａ　（Ｅマーク入）	底部 ＧＬ－１，２６０以上 （アルミ桟子付）
・	ハンドホール Ｎｏ．－	９００×　９００×　９００Ｄ 蓋 ＷＰＭ－６０Ａ　（Ｅマーク入）	底部 ＧＬ－１，０６０以上 （既製足場付）
・	ハンドホール Ｎｏ．－	６００×　６００×　６８０Ｄ 蓋 ＷＰＭ－６０Ａ　（Ｅマーク入）	（既製足場付）
・	ハンドホール Ｎｏ．－	４５０×　４５０×　６８０Ｄ 蓋 ＷＰＭ－４５Ｂ　（Ｅマーク入）	※植栽帯等車両の通行の恐れがない場所、収容ケーブルが少ない場所に限る

4 接地極

下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による。

・	Ａ種接地	銅板１．５ｔ×９００×９００ リード端子付　堀削埋戻中心深さ　２ｍ	補助接地棒（連結式１０φ×１、５００） 埋設標（黄銅製又はステンレス製）
・	Ｂ種接地	銅板１．５ｔ×６００×６００ リード端子付　堀削埋戻中心深さ　２ｍ	補助接地棒（連結式１０φ×１、５００） 埋設標（黄銅製又はステンレス製）
・	Ｃ種接地	銅板１．５ｔ×３００×３００ リード端子付　堀削埋戻中心深さ１．５ｍ	補助接地棒（連結式１０φ×１、５００） 埋設標（黄銅製又はステンレス製）
・	Ｄ種接地	接地棒（１０φ×１、５００）	リード端子付　打ち込み式 埋設標（黄銅製又はステンレス製）

5 機器取付高

図面に特記なきものは下表を標準とする。但し下表によりがたい場合には監督員との協議による。

	名称	測点	取付高(mm)
共通	取引用計器	地上～上端	2,000
	引込開閉器	床上～上端	1,800
	警報盤	床上～中心	1,500
電灯	分電盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)
	タンブラスイッチ	〃	1,300
	〃（身障者用）	〃	1,100
	コンセント（一般）	〃	300
	〃　（和室）	〃	150
	〃　（便所等）	〃	500
	〃　（台上）	台上～中心	150
	ブラケット（一般）	床上～中心	2,100
	〃　（該場）	〃	2,500
	〃　（鏡上）	鏡端～中心	150
	避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上
	廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下
動力	壁掛形制御盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)
	手元開閉器	〃	1,500
	操作スイッチ・押ボタン	〃	1,300
電話	室内端子盤（廊下・室内）	床上～下端	300
	中間端子盤（EPS・電気室）	床上～中心	1,500
	集合保安器箱	〃	（天井高）×0.9
	壁付アウトレットボックス（一般）	〃	300
	〃　（和室）	〃	150

	名称	測点	取付高(mm)
時計・拡声	壁掛形親時計	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)
	子時計	〃	(天井高)×0.9
	壁掛形スピーカー	〃	(天井高)×0.9
	アッテネーター	〃	1,300
表示	表示盤	床上～中心	(天井高)×0.9
	壁付発信器	〃	1,300
	ベル	〃	(天井高)×0.9
	ブザー	〃	(天井高)×0.9
	押ボタン	〃	1,300
	〃（身障者用押釦）	〃	900
	身障者用表示灯	〃	2,000
	復帰ボタン		1,800
インターホン	壁付インターホン	床上～中心	1,500
	〃　（身障者用）	〃	1,100
	壁付位置ボックス（壁付インターホンを除く）		
	〃　（一般）	〃	300
	〃　（和室）	〃	150
テレビ共同受信	機器収容箱	床上～中心	(天井高)×0.9
	アウトレット		
	〃　（一般）	〃	300
	〃　（和室）	〃	150
火災報知	受信機	床上～操作部	800～1,500
	副受信機	〃	800～1,500
	機器収容箱	床上～中心	800～1,500
	発信器	〃	800～1,500
	ベル	〃	(天井高)×0.9
	消火栓表示灯	〃	(天井高)×0.8

6 定期報告

工事しゅん工後3ヵ月、12ヶ月に点検をして、その結果を書面で施設課長あて報告する。
（管理者からの聞き取り調査を含め、調査には必ず管理者の立会いを要する。）

長野県上松技術専門校

特記

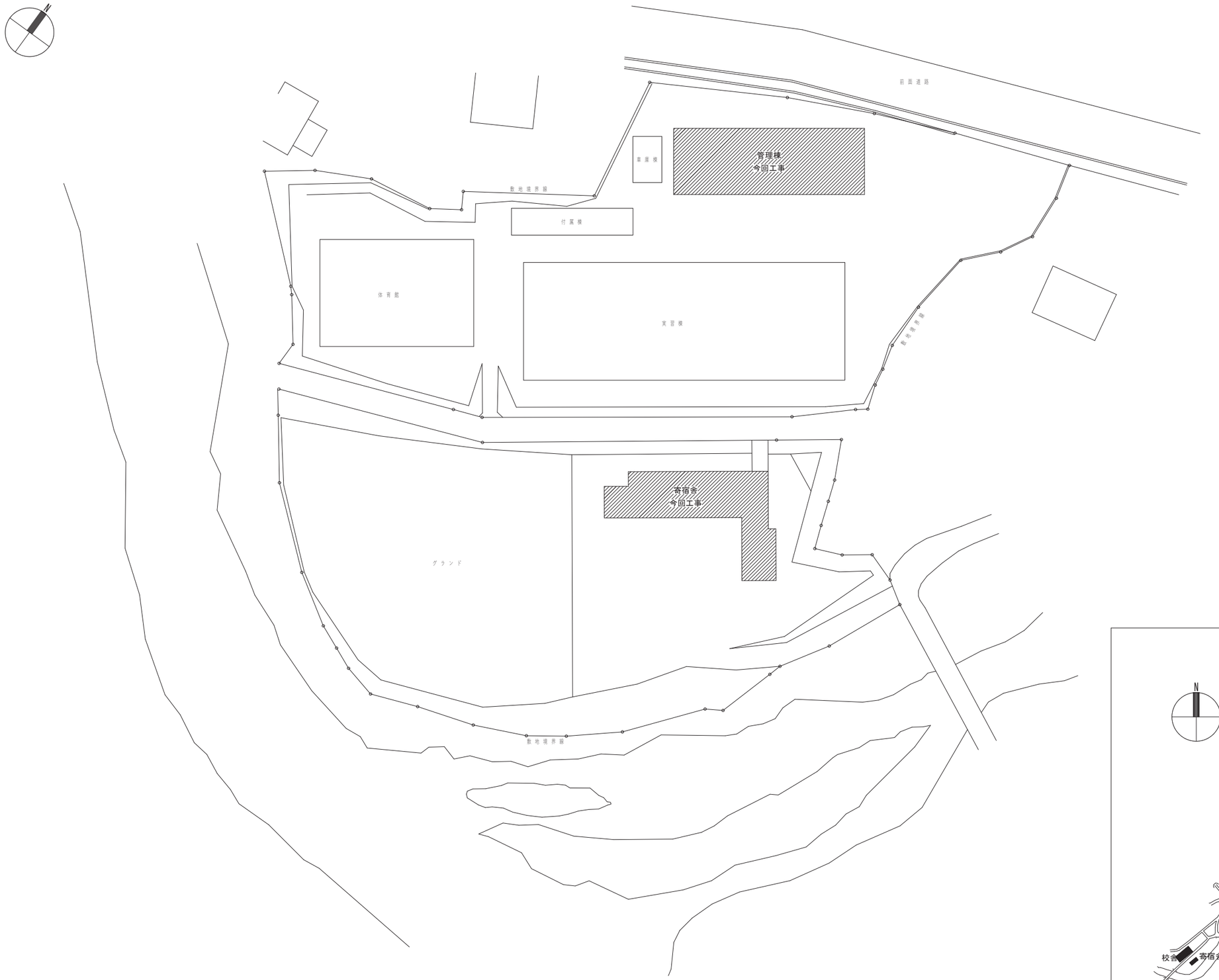
訂正 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.

設計者氏名	1級建築士登録 第272762号 野坂 英史
設計者氏名	
設計者氏名	

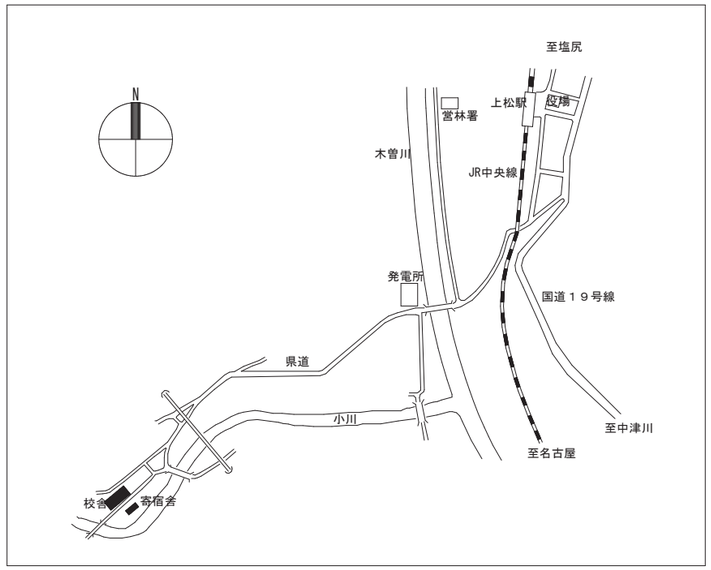
SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
1級建築士事務所登録（松本）B 第 81291 号
管理建築士 1級建築士登録 第265244号 須田 潔
〒390-0842 長野県松本市庄大野 2-8-10 TEL 0263(88)7348

承認	設計体制及び検査				設計完了日
野坂	佐藤	須田	波多腰		2025.3

工事名：上松技術専門校空調設備改修工事
図面名：電気設備　特記仕様書
縮尺：A1: N/S　A3: N/S
JOB No.：S25004D
図面番号：E-01



配置図　S=1/400



案内図

長野県上松技術専門校

特記		訂正 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.	設計者氏名	１級建築士登録 第272762号 野坂 英史	SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン １級建築士事務所登録（松本）Ｂ 第 81291 号 管理建築士 １級建築士登録 第265244号 須田 深 〒390-0842 長野県松本市征矢野 2-8-10 TEL 0263(88)7348	工事名	上松技術専門校空調設備改修工事
			設計者氏名			図面名	案内図、配置図
			設計者氏名		承認 野坂 / 検査員 佐藤 / 責任者 須田 / 担当者 波多腰 / 担当者 / 設計体制及び検査 / 設計完了日 2025.3	縮尺 A1: 1/400 A3: 1/800	JOB No. S25004D / 図面番号 E-02

<寄宿舎>【改修前】 P-411

屋内自立型
鋼板製

CVT60°
ED8°
ED(ELB)8°

MCCB 3P
225AF/150AT

AC 3Φ 3W200V

【ﾀｲﾏｰ・ﾏｸﾞﾈｯﾄ撤去】

負荷合計
30.00 kW

【検定付ﾒｰﾀｰ撤去】
1Φ2W 200V 30A

回路番号	電圧(V)	分岐開閉器 MCCB ELCB	P	AF/AT	負荷名称	容量(VA) 電灯	コンセント	空調換気等	操作・制御記号 備考
					【撤去】	【負荷名称変更】			
1	200	ELCB	2	50/15	蓄熱ヒーター(L4-1)	-	-	3.0kW	
2	200	ELCB	2	50/15	蓄熱ヒーター(L4-2)	-	-	3.0kW	
3	200	ELCB	2	50/15	蓄熱ヒーター(L4-3)	-	-	3.0kW	
4	200	ELCB	2	50/15	蓄熱ヒーター(L4-4)	-	-	3.0kW	
5	200	ELCB	2	50/15	蓄熱ヒーター(L4-5)	-	-	3.0kW	
6	200	ELCB	2	50/15	蓄熱ヒーター(L4-6)	-	-	3.0kW	
7	200	ELCB	2	50/15	蓄熱ヒーター(L4-7)	-	-	3.0kW	
8	200	ELCB	2	50/15	蓄熱ヒーター(L4-8)	-	-	3.0kW	
9	200	ELCB	2	50/15	蓄熱ヒーター(L4-9)	-	-	3.0kW	
10	200	ELCB	2	50/15	蓄熱ヒーター(L4-10)	-	-	3.0kW	

<寄宿舎>【改修後】 P-411

屋内自立型
鋼板製

CVT60°
ED8°
ED(ELB)8°

MCCB 3P
225AF/150AT

AC 3Φ 3W200V

負荷合計
30.00 kW

【検定付ﾒｰﾀｰ新設】
1Φ2W 200V 30A

回路番号	電圧(V)	分岐開閉器 MCCB ELCB	P	AF/AT	負荷名称	容量(VA) 電灯	コンセント	空調換気等	操作・制御記号 備考
					【新設】	【負荷名称変更】			
1	200	ELCB	2	50/20	ACR-1-1(L4-1)	-	-	3.0kW	
2	200	ELCB	2	50/20	ACR-1-1(L4-2)	-	-	3.0kW	
3	200	ELCB	2	50/20	ACR-1-1(L4-3)	-	-	3.0kW	
4	200	ELCB	2	50/20	ACR-1-1(L4-4)	-	-	3.0kW	
5	200	ELCB	2	50/20	ACR-1-1(L4-5)	-	-	3.0kW	
6	200	ELCB	2	50/20	ACR-1-1(L4-6)	-	-	3.0kW	
7	200	ELCB	2	50/20	ACR-1-1(L4-7)	-	-	3.0kW	
8	200	ELCB	2	50/20	ACR-1-1(L4-8)	-	-	3.0kW	
9	200	ELCB	2	50/20	ACR-1-1(L4-9)	-	-	3.0kW	
10	200	ELCB	2	50/20	ACR-1-1(L4-10)	-	-	3.0kW	

<寄宿舎>【新設】 手元開閉器盤

屋外壁掛型
鋼板製　防水型

EM-CET60°
ED8°
ED(ELB)8°

MCCB 3P
225AF/125AT

AC 3Φ3W200V

負荷合計
14.20 kW

回路番号	電圧(V)	分岐開閉器 MCCB ELCB	P	AF/AT	負荷名称	容量(VA) 電灯	コンセント	空調換気等	操作・制御記号 備考
1	200	ELCB	3	50/40	ACP-2-4屋外機	-	-	8.0kW	
2	200	ELCB	3	50/30	ACP-2-5屋外機	-	-	6.2kW	

【改修前】 P-421

屋内自立型
鋼板製

CVT60°
ED14°
ED(ELB)14°

MCCB 3P
225AF/175AT

AC 3Φ 3W200V

【ﾀｲﾏｰ・ﾏｸﾞﾈｯﾄ撤去】

負荷合計
33.00 kW

【検定付ﾒｰﾀｰ撤去】
1Φ2W 200V 30A

回路番号	電圧(V)	分岐開閉器 MCCB ELCB	P	AF/AT	負荷名称	容量(VA) 電灯	コンセント	空調換気等	操作・制御記号 備考
					【撤去】	【負荷名称変更】			
1	200	ELCB	2	50/15	蓄熱ヒーター(L4-11)	-	-	3.0kW	
2	200	ELCB	2	50/15	蓄熱ヒーター(L4-12)	-	-	3.0kW	
3	200	ELCB	2	50/15	蓄熱ヒーター(L4-13)	-	-	3.0kW	
4	200	ELCB	2	50/15	蓄熱ヒーター(L4-14)	-	-	3.0kW	
5	200	ELCB	2	50/15	蓄熱ヒーター(L4-15)	-	-	3.0kW	
6	200	ELCB	2	50/15	蓄熱ヒーター(L4-16)	-	-	3.0kW	
7	200	ELCB	2	50/15	蓄熱ヒーター(L4-17)	-	-	3.0kW	
8	200	ELCB	2	50/15	蓄熱ヒーター(L4-18)	-	-	3.0kW	
9	200	ELCB	2	50/15	蓄熱ヒーター(L4-19)	-	-	3.0kW	
10	200	ELCB	2	50/15	蓄熱ヒーター(L4-20)	-	-	3.0kW	
11	200	ELCB	2	50/15	P-421-1	-	-	3.0kW	

【改修後】 P-421

屋内自立型
鋼板製

CVT60°
ED14°
ED(ELB)14°

MCCB 3P
225AF/175AT

AC 3Φ 3W200V

負荷合計
33.00 kW

【検定付ﾒｰﾀｰ新設】
1Φ2W 200V 30A

回路番号	電圧(V)	分岐開閉器 MCCB ELCB	P	AF/AT	負荷名称	容量(VA) 電灯	コンセント	空調換気等	操作・制御記号 備考
					【新設】	【負荷名称変更】			
1	200	ELCB	2	50/20	ACR-1-1(L4-11)	-	-	3.0kW	
2	200	ELCB	2	50/20	ACR-1-1(L4-12)	-	-	3.0kW	
3	200	ELCB	2	50/20	ACR-1-1(L4-13)	-	-	3.0kW	
4	200	ELCB	2	50/20	ACR-1-1(L4-14)	-	-	3.0kW	
5	200	ELCB	2	50/20	ACR-1-1(L4-15)	-	-	3.0kW	
6	200	ELCB	2	50/20	ACR-1-1(L4-16)	-	-	3.0kW	
7	200	ELCB	2	50/20	ACR-1-1(L4-17)	-	-	3.0kW	
8	200	ELCB	2	50/20	ACR-1-1(L4-18)	-	-	3.0kW	
9	200	ELCB	2	50/20	ACR-1-1(L4-19)	-	-	3.0kW	
10	200	ELCB	2	50/20	ACR-1-1(L4-20)	-	-	3.0kW	
11	200	ELCB	2	50/20	P-421-1	-	-	3.0kW	

<管理棟>【新設】 P-101

屋外壁掛型
鋼板製　防水型

EM-CET150°
ED14°
ED(ELB)14°

MCCB 3P
225AF/200AT

AC 3Φ3W200V

負荷合計
25.70 kW

回路番号	電圧(V)	分岐開閉器 MCCB ELCB	P	AF/AT	負荷名称	容量(VA) 電灯	コンセント	空調換気等	操作・制御記号 備考
1	200	ELCB	3	50/20	ACP-1-2	-	-	3.1kW	
2	200	ELCB	3	50/20	ACP-1-2	-	-	3.1kW	
3	200	ELCB	3	50/20	ACP-1-2	-	-	3.1kW	
4	200	ELCB	3	50/—	予備スペース	-	-	-	
5	200	ELCB	3	50/20	ACP-1-1	-	-	3.1kW	
6	200	ELCB	3	50/—	予備スペース	-	-	-	
7	200	ELCB	3	50/30	ACP-2-1	-	-	6.6kW	
8	200	ELCB	3	50/—	予備スペース	-	-	-	
9	200	ELCB	3	50/30	ACP-2-1	-	-	6.7kW	
10	200	ELCB	3	50/—	予備スペース	-	-	-	

【改修前】 P-431

屋内自立型
鋼板製

CVT60°
ED8°
ED(ELB)8°

MCCB 3P
225AF/150AT

AC 3Φ 3W200V

【ﾀｲﾏｰ・ﾏｸﾞﾈｯﾄ撤去】

負荷合計
30.00 kW

【検定付ﾒｰﾀｰ撤去】
1Φ2W 200V 30A

回路番号	電圧(V)	分岐開閉器 MCCB ELCB	P	AF/AT	負荷名称	容量(VA) 電灯	コンセント	空調換気等	操作・制御記号 備考
					【撤去】	【負荷名称変更】			
1	200	ELCB	2	50/15	蓄熱ヒーター(L4-21)	-	-	3.0kW	
2	200	ELCB	2	50/15	蓄熱ヒーター(L4-22)	-	-	3.0kW	
3	200	ELCB	2	50/15	蓄熱ヒーター(L4-23)	-	-	3.0kW	
4	200	ELCB	2	50/15	蓄熱ヒーター(L4-24)	-	-	3.0kW	
5	200	ELCB	2	50/15	蓄熱ヒーター(L4-25)	-	-	3.0kW	
6	200	ELCB	2	50/15	蓄熱ヒーター(L4-26)	-	-	3.0kW	
7	200	ELCB	2	50/15	蓄熱ヒーター(L4-27)	-	-	3.0kW	
8	200	ELCB	2	50/15	蓄熱ヒーター(L4-28)	-	-	3.0kW	
9	200	ELCB	2	50/15	蓄熱ヒーター(L4-29)	-	-	3.0kW	
10	200	ELCB	2	50/15	蓄熱ヒーター(L4-30)	-	-	3.0kW	

【改修後】 P-431

屋内自立型
鋼板製

CVT60°
ED8°
ED(ELB)8°

MCCB 3P
225AF/150AT

AC 3Φ 3W200V

負荷合計
30.00 kW

【検定付ﾒｰﾀｰ新設】
1Φ2W 200V 30A

回路番号	電圧(V)	分岐開閉器 MCCB ELCB	P	AF/AT	負荷名称	容量(VA) 電灯	コンセント	空調換気等	操作・制御記号 備考
					【新設】	【負荷名称変更】			
1	200	ELCB	2	50/20	ACR-1-1(L4-21)	-	-	3.0kW	
2	200	ELCB	2	50/20	ACR-1-1(L4-22)	-	-	3.0kW	
3	200	ELCB	2	50/20	ACR-1-1(L4-23)	-	-	3.0kW	
4	200	ELCB	2	50/20	ACR-1-1(L4-24)	-	-	3.0kW	
5	200	ELCB	2	50/20	ACR-1-1(L4-25)	-	-	3.0kW	
6	200	ELCB	2	50/20	ACR-1-1(L4-26)	-	-	3.0kW	
7	200	ELCB	2	50/20	ACR-1-1(L4-27)	-	-	3.0kW	
8	200	ELCB	2	50/20	ACR-1-1(L4-28)	-	-	3.0kW	
9	200	ELCB	2	50/20	ACR-1-1(L4-29)	-	-	3.0kW	
10	200	ELCB	2	50/20	ACR-1-1(L4-30)	-	-	3.0kW	

【改修前】 P-421-1

屋内壁掛型
鋼板製

CV5.5°-2C
ED2.0

AC 3Φ 3W200V

【ﾀｲﾏｰ・ﾏｸﾞﾈｯﾄ撤去】

負荷合計
- kW

回路番号	電圧(V)	分岐開閉器 MCCB ELCB	P	AF/AT	負荷名称	容量(VA) 電灯	コンセント	空調換気等	操作・制御記号 備考
					【撤去】	【負荷名称変更】			
1	200	ELCB	2	30/20	蓄熱ヒーター(L4-21)	-	-	3.0kW	

【改修後】 P-421-1

屋内壁掛型
鋼板製

CV5.5°-2C
ED2.0

AC 3Φ 3W200V

負荷合計
- kW

回路番号	電圧(V)	分岐開閉器 MCCB ELCB	P	AF/AT	負荷名称	容量(VA) 電灯	コンセント	空調換気等	操作・制御記号 備考
					【新設】	【負荷名称変更】			
1	200	ELCB	2	30/20	ACR-1-1(厨房休憩室)	-	-	3.0kW	

注記

- ・各分電盤には端子台を２個（ＥＤ、ＥＤ（ＥＬＢ）：絶縁端子台付）を設けること。
- ・分電盤・端子盤は国土交通省仕様とする。
- ・塗装色は製造者標準色とする。
- ・分岐に用いるブレーカーは協約形とする

長野県上松技術専門校

特記

訂正
1.
2.
3.
4.
5.
6.
7.

設計者 氏名　１級建築士登録 第272762号　野坂　英史
設計者 氏名
設計者 氏名

SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
１級建築士事務所登録（松本）Ｂ第 81291 号
管理建築士　１級建築士登録　第265244号　須田　潔
〒390-0842　長野県松本市征矢野 2-8-10　TEL 0263(88)7348

承認	設計体制及び検査 検査員	責任者	担当者	担当者	設計完了日
野坂	佐藤	須田	波多腰		2025.3

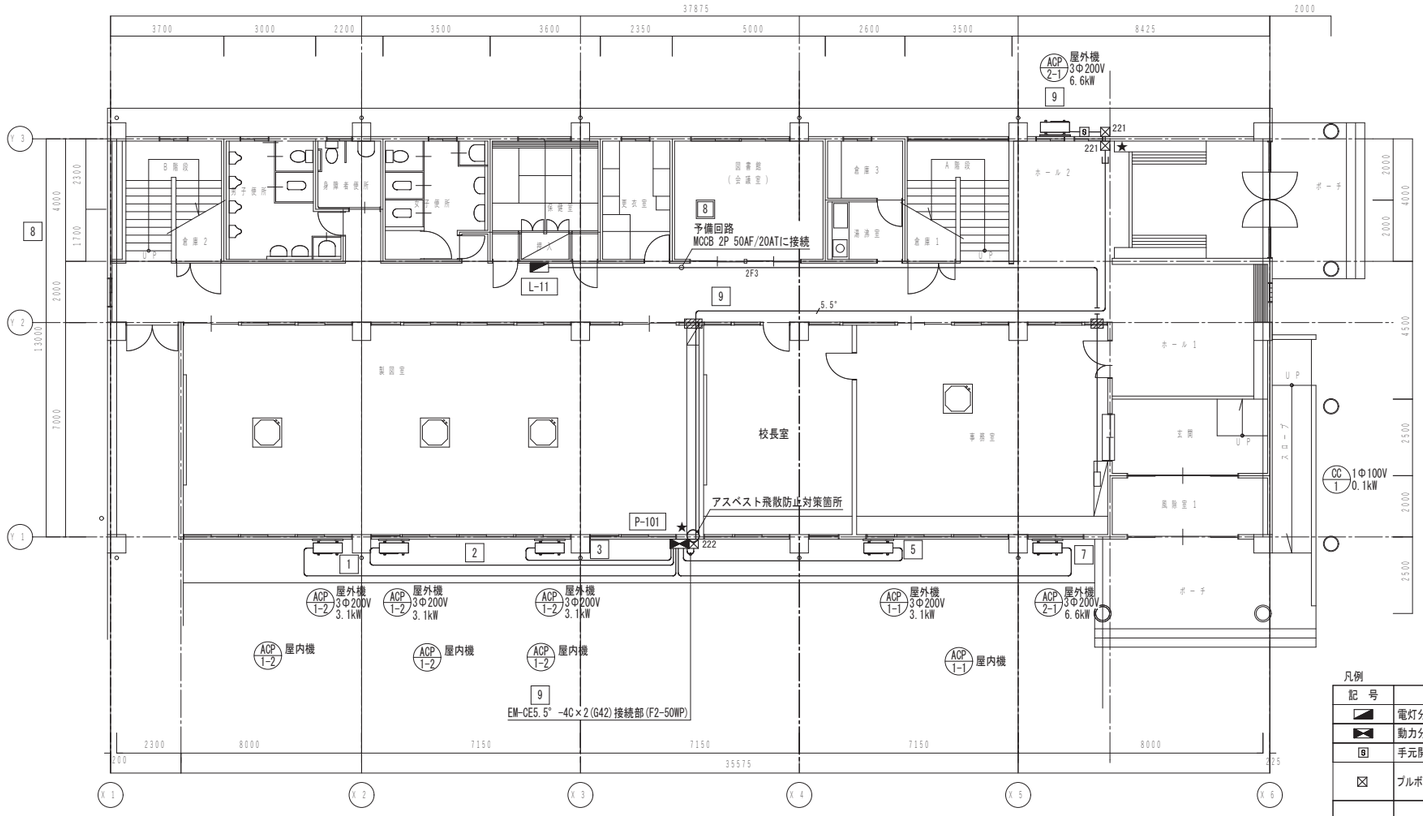
工事名　上松技術専門校空調設備改修工事

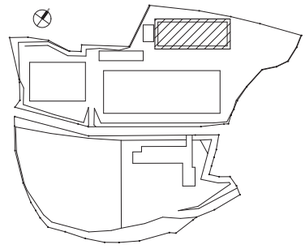
図面名　分電盤結線図【改修前・改修後】

縮尺　A1: N/S　A3: N/S

JOB No.　S25004D

図面番号　E-03





凡例

記号	名称	摘要	備考
	電灯分電盤		
	動力分電盤		
9	手元開閉器	ELCB 3P 30AT/30AF	
⊠	プルボックス		標記例 151515: SS150×150×150 屋外設置は SUS WPとする。
▭	集中コントローラー		機械設備工事
	空冷式パッケージエアコン屋内機		機械設備工事
	空冷式パッケージエアコン屋外機		機械設備工事
★	はつり補修	壁：φ50×L200	
▨	防火区画貫通処理	φ50	
———	天井転がし配線		
———	露出配管配線		
		隠ぺい部保護管　屋内露出部保護管	
2F3	EM-EEF2.0-3C	(PF22)	
3.5°	EM-CE3.5°-4C (1アース)		
5.5°	EM-CE5.5°-4C (1アース)	(E31)	配管指定色塗装

【注記】
・細線は既存のままを示す
・太線は新設を示す
・G管は溶融亜鉛めっき仕上げとする。
・指定色の決定は現場打合せによる。

※アスベスト除去：1箇所(腰壁仕上鋼材貫通Φ50程度)

P-101　2次側配線表

回路番号	配線径	配管径 露出部 G管	配管径 接続部 F2-WP
1	EM-CE3.5°-4C (1アース)	(28)	(30)
2	EM-CE3.5°-4C (1アース)	(28)	(30)
3	EM-CE3.5°-4C (1アース)	(28)	(30)
4			
5	EM-CE3.5°-4C (1アース)	(28)	(30)
6			
7	EM-CE5.5°-4C (1アース)	(28)	(30)
8			
9	EM-CE5.5°-4C (1アース)	(28)	(30)

※配管は外壁に支持する

長野県上松技術専門校

特記

訂正
1.
2.
3.
4.
5.
6.
7.

設計者 氏名　1級建築士登録 第272762号　野坂　英史
設計者 氏名
設計者 氏名

SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
1級建築士事務所登録（松本）5 第 81291 号
管理建築士　1級建築士登録　第265244号　須田　潔
〒390-0842　長野県松本市征矢野 2-8-10　TEL 0263(88)7348

承認	設計体制及び検査				設計完了日
	検査員	責任者	担当者	担当者	
野坂	佐藤	須田	波多腰		2025.3

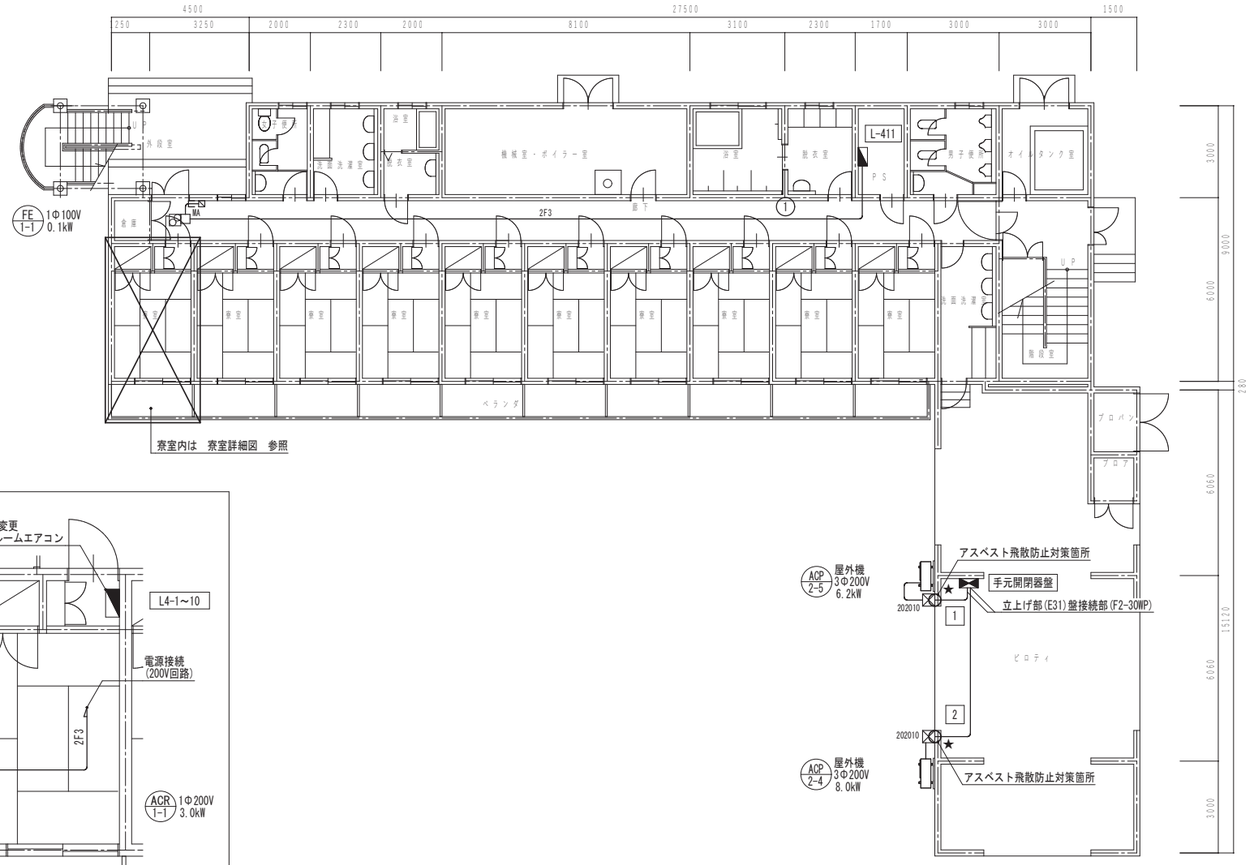
工事名　上松技術専門校空調設備改修工事

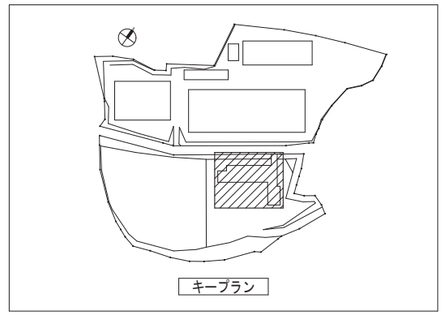
図面名　(管理棟)電灯・動力設備 1階配線図【改修後】

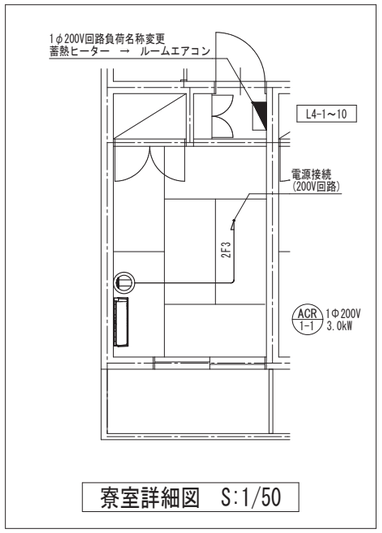
縮尺　A1：1/100　A3：1/200

JOB No.　S25004D

図面番号　E-04







寮室詳細図　S:1/50

凡例

記　号	名　称	摘　要	備　考
	電灯分電盤		
	動力分電盤		
	埋込コンセント	250V　2P15/20A　ET付	
	支給品スイッチ取付		機械設備支給品
	アウトレットボックス		
	プルボックス		標記例 151515: SS150×150×150 屋外設置は SUS WPとする。
★	はつり補修	壁：φ50×L200	
	換気扇		機械設備工事
	ルームエアコン		機械設備工事
	空冷式パッケージエアコン屋内機		機械設備工事
	空冷式パッケージエアコン屋外機		機械設備工事
	天井転がし配線		
	露出配管配線		
MA	露出配管配線(1種金属線びA型)	コーナーボックス・露出ボックス共	
	EM-EEF1.6-3C		
2F3	EM-EEF2.0-3C		

【注記】
・細線は既存のままを示す
・太線は新設を示す
・G管は溶融亜鉛めっき仕上げとする
※アスベスト除去：6箇所(外壁コア抜き部φ50程度2箇所、盤・プルボックス等取付部φ30程度4箇所)

手元開閉器盤 2次側配線表

回路番号	配線径	配管径	
		露出部 G管	接続部 F2-WP
1	EM-CE5.5°-4C (1アース)	(28)	(30)
2	EM-CE5.5°-4C (1アース)	(28)	(30)

長野県上松技術専門校

特記

訂正
1.
2.
3.
4.
5.
6.
7.

設計者 氏名　1級建築士登録 第272762号　野坂　英史
設計者 氏名
設計者 氏名

SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
1級建築士事務所登録（松本）B 第 81291 号
管理建築士　1級建築士登録　第265244号　須田　潔
〒390-0842　長野県松本市征矢野 2-8-10　TEL. 0263(88)7348

承認	設計体制及び検査				設計完了日
	検査員	責任者	担当者	担当者	
野坂	佐藤	須田	波多腰		2025.3

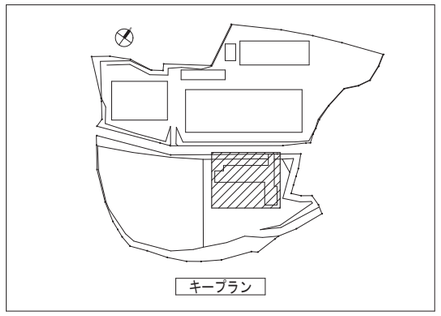
工事名　上松技術専門校空調設備改修工事

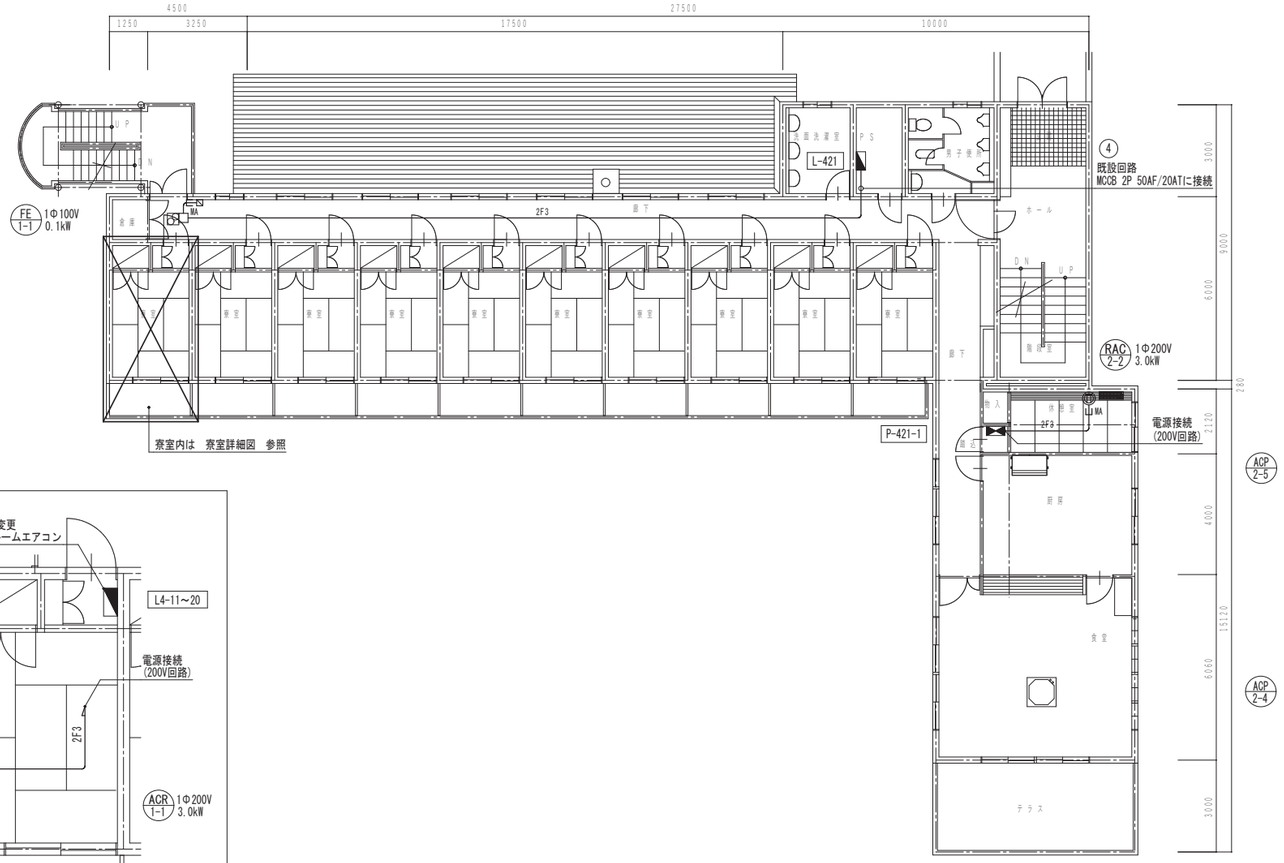
図面名　(寄宿舎)電灯・動力設備 1階配線図【改修後】

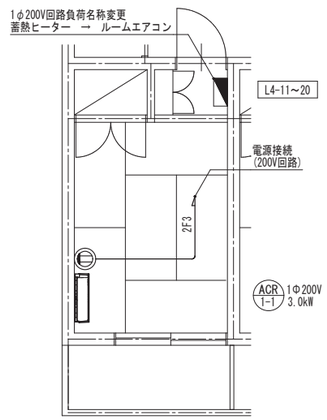
縮尺　A1: 1/100　A3: 1/200

JOB No.　S25004D

図面番号　E-05







寮室詳細図 S:1/50

長野県上松技術専門校

特記		訂正 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.	設計者氏名 1級建築士登録 第272762号 野坂 英史
			設計者氏名
			設計者氏名

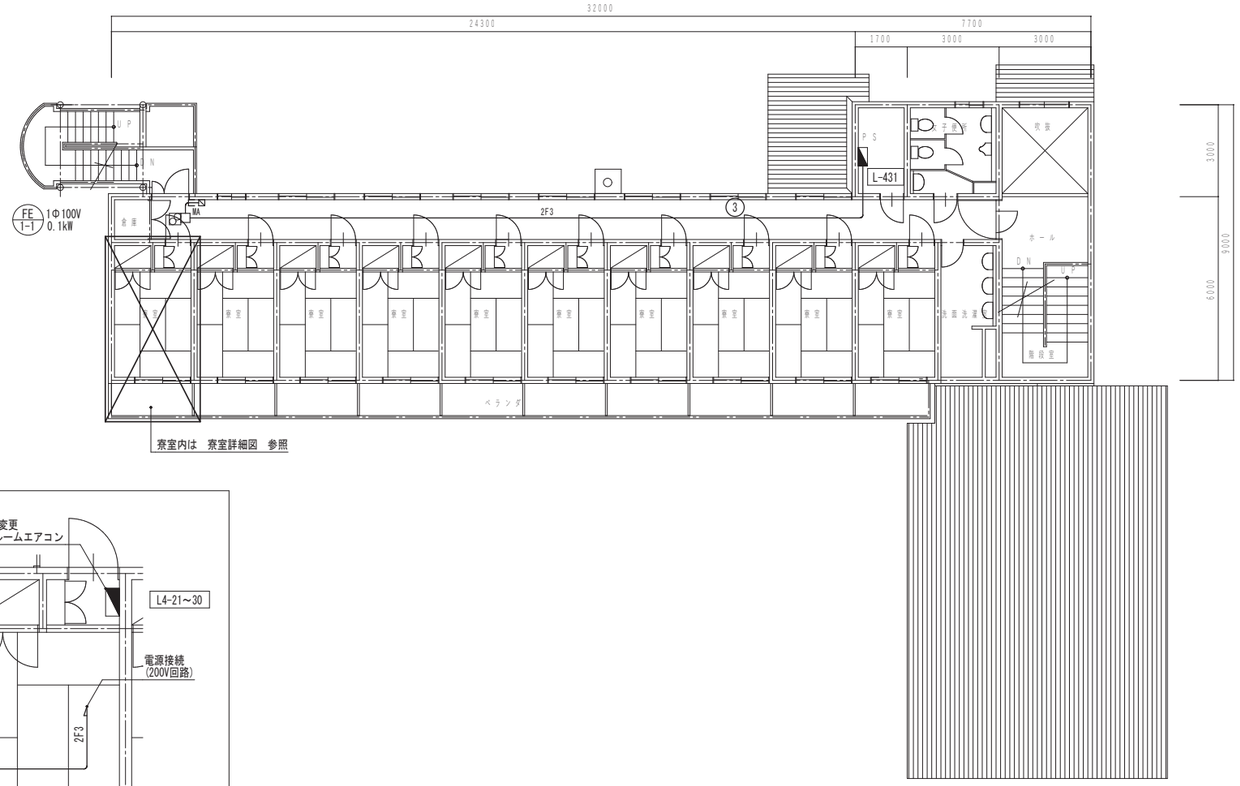
SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
1級建築士事務所登録（松本）B 第 81291 号
管理建築士 1級建築士登録 第265244号 須田 潔
〒390-0842 長野県松本市征矢野 2-8-10 TEL 0263(88)7348

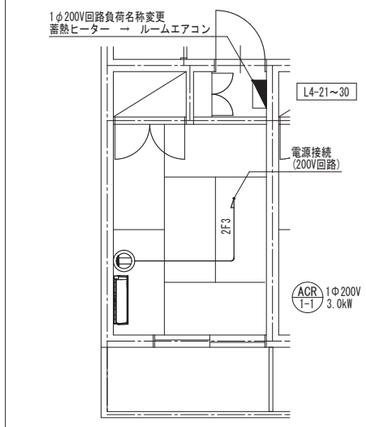
承認	設計体制及び検査				設計完了日
	検査員	責任者	担当者	担当者	
野坂	佐藤	須田	波多腰		2025.3

工事名 上松技術専門校空調設備改修工事

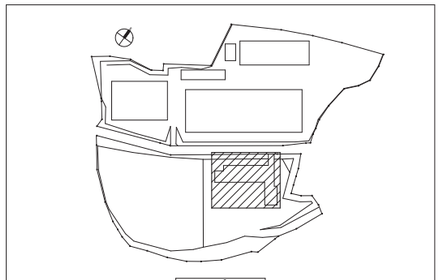
図面名 (寄宿舎)電灯設備 2階配線図【改修後】

縮尺	JOB No.	図面番号
A1: 1/100 A3: 1/200	S25004D	E-06





寮室詳細図　S:1/50



長野県上松技術専門校

特記	
訂正	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.
設計者氏名	1級建築士登録 第272762号　野坂　英史
設計者氏名	
設計者氏名	

SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
1級建築士事務所登録（松本）B 第 81291 号
管理建築士　1級建築士登録　第265244号　須田　潔
〒390-0842　長野県松本市征矢野 2-8-10　TEL. 0263(88)7348

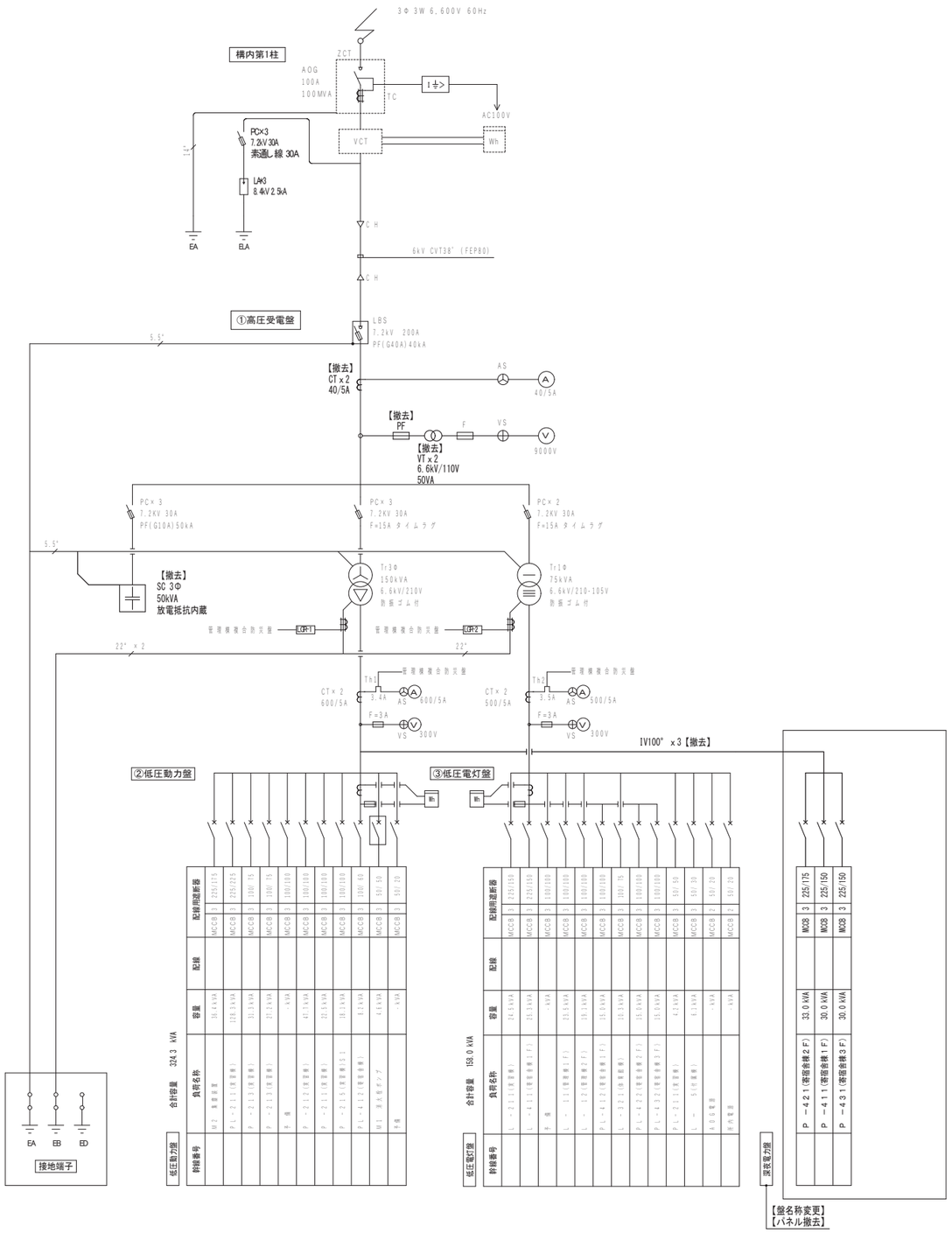
承認	設計体制及び検査				設計完了日
	検査員	責任者	担当者	担当者	
野坂	佐藤	須田	波多腰		2025.3

工事名　上松技術専門校空調設備改修工事

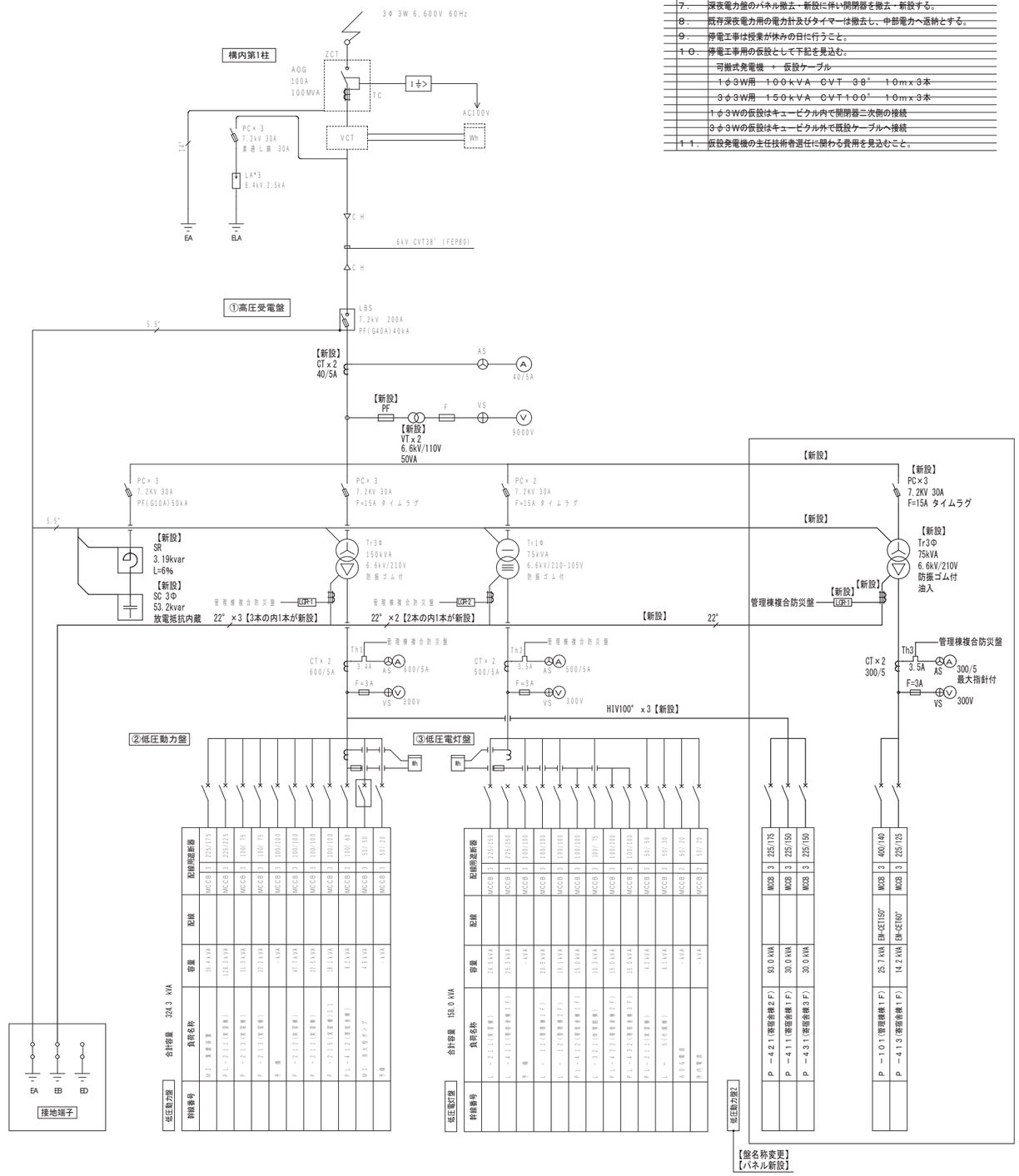
図面名　(寄宿舎)電灯設備 3階配線図【改修後】

縮尺	JOB No.	図面番号
A1: 1/100 A3: 1/200	S25004D	E-07

改修前



改修後



【屋内型変電設備改修概要】

1. 動力負荷（空調機）新設に伴いトランスを新設する。
2. トランス新設に伴い電流計・電圧計等を新設する。
3. 動力負荷（空調機）用の開閉器を新設する。
4. 高調波対策及びコンデンサへの突入電流抑制の為に直列リアクトルを新設する。
5. 深夜電力盤の盤名称を低圧動力盤2に変更する。
6. 深夜電力盤（変更後は低圧動力盤2）への配線を撤去・新設する。
7. 深夜電力盤のパネル撤去・新設に伴い開閉器を撤去・新設する。
8. 既存深夜電力用の電力計及びタイマーは撤去し、中部電力へ返納とする。
9. 停電工事は授業が休みの日に行うこと。
10. 停電工事用の仮設として下記を見込む。
    - 可搬式発電機 ＋ 仮設ケーブル
    - 1φ3W用 100kVA CVT 38° 10m×3本
    - 3φ3W用 150kVA CVT100° 10m×3本
    - 1φ3Wの仮設はキュービクル内で開閉器二次側の接続
    - 3φ3Wの仮設はキュービクル外で既設ケーブルへ接続
11. 仮設発電機の主任技術者選任に関わる費用を見込むこと。

長野県上松技術専門校

特記	
訂正	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.
設計者氏名	1級建築士登録 第272762号 野坂 英史
設計者氏名	
設計者氏名	

SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
1級建築士事務所登録（松本）8 第 81291 号
管理建築士 1級建築士登録 第265244号 須田 潔
〒390-0842 長野県松本市征矢野 2-8-10 TEL 0263(88)7348

承認	設計体制及び検査				設計完了日
	検査員	責任者	担当者	担当者	
野坂	佐藤	須田	波多腰		2025.3

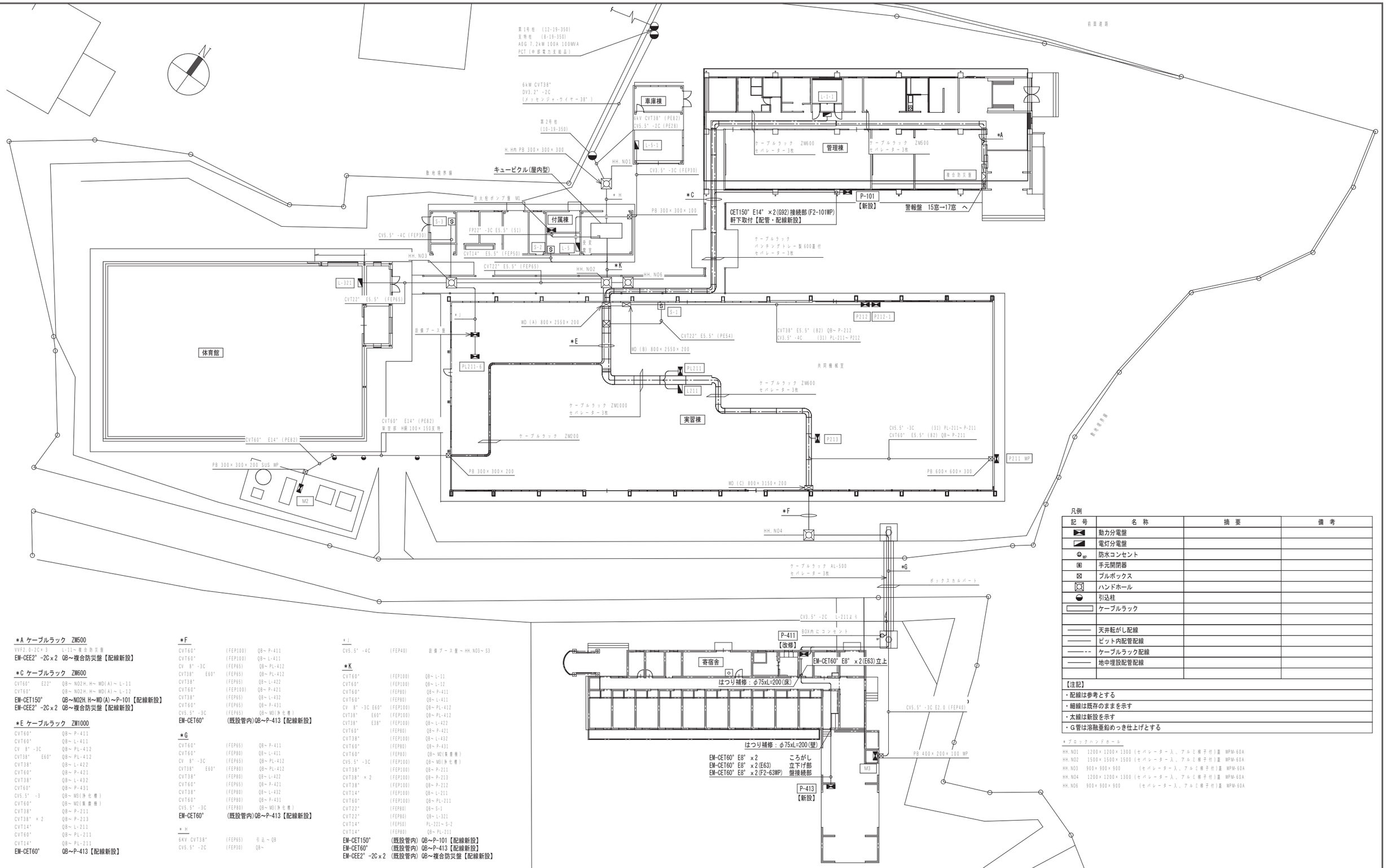
工事名：上松技術専門校空調設備改修工事

図面名：受変電設備 単線結線図【改修前・改修後】

縮尺：A1: N/S　A3: N/S

JOB No.：S25004D

図面番号：E-08



凡例

記号	名称	摘要	備考
	動力分電盤		
	電灯分電盤		
WP	防水コンセント		
	手元開閉器		
	プルボックス		
	ハンドホール		
	引込柱		
	ケーブルラック		
	天井転がし配線		
	ピット内配管配線		
	ケーブルラック配線		
	地中埋設配管配線		

【注記】
・配線は参考とする
・細線は既存のままを示す
・太線は新設を示す
・G管は溶融亜鉛めっき仕上げとする

＊ブロックハンドホール

HH.NO1 1200×1200×1300 (セパレーター入、アルミ格子付)蓋 WPM-60A
HH.NO2 1500×1500×1500 (セパレーター入、アルミ格子付)蓋 WPM-60A
HH.NO3 900×900×900 (セパレーター入、アルミ格子付)蓋 WPM-60A
HH.NO4 1200×1200×1300 (セパレーター入、アルミ格子付)蓋 WPM-60A
HH.NO6 900×900×900 (セパレーター入、アルミ格子付)蓋 WPM-60A

＊A ケーブルラック ZM500

VVF2.0-2C×3 L-11~複合防災盤
EM-CEE2°-2C×2 QB~複合防災盤【配線新設】

＊C ケーブルラック ZM600

CVT60° E22° QB~NO2H.H~WD(A)~L-11
CVT60° QB~NO2H.H~WD(A)~L-12
EM-CET150° QB~NO2H.H~WD(A)~P-101【配線新設】
EM-CEE2°-2C×2 QB~複合防災盤【配線新設】

＊E ケーブルラック ZM1000

CVT60° QB~P-411
CVT60° QB~L-411
CV 8°-3C QB~PL-412
CVT38° E60° QB~PL-412
CVT38° QB~L-422
CVT60° QB~P-421
CVT38° QB~L-432
CVT60° QB~P-431
CV5.5°-3 QB~M3(浄化槽)
CVT60° QB~M2(集塵機)
CVT38° QB~P-211
CVT38°×2 QB~P-213
CVT14° QB~L-211
CVT60° QB~PL-211
CVT14° QB~PL-211
EM-CET60° QB~P-413【配線新設】

＊F

CVT60° (FEP100) QB~P-411
CVT60° (FEP100) QB~L-411
CV 8°-3C (FEP65) QB~PL-412
CVT38° E60° (FEP65) QB~PL-412
CVT38° (FEP65) QB~L-422
CVT60° (FEP100) QB~P-421
CVT38° (FEP65) QB~L-432
CVT60° (FEP65) QB~P-431
CV5.5°-3C (FEP65) QB~M3(浄化槽)
EM-CET60° (既設管内)QB~P-413【配線新設】

＊G

CVT60° (FEP65) QB~P-411
CVT60° (FEP80) QB~L-411
CV 8°-3C (FEP65) QB~PL-412
CVT38° E60° (FEP80) QB~PL-412
CVT38° (FEP80) QB~L-422
CVT60° (FEP65) QB~P-421
CVT38° (FEP80) QB~L-432
CVT60° (FEP80) QB~P-431
CV5.5°-3C (FEP80) QB~M3(浄化槽)
EM-CET60° (既設管内)QB~P-413【配線新設】

＊H

6KV CVT38° (FEP65) 引込~QB
CV5.5°-2C (FEP30) QB~

＊J

CV5.5°-4C (FEP40) 設備ブース盤~HH.NO3~S3

＊K

CVT60° (FEP100) QB~L-11
CVT60° (FEP100) QB~L-12
CVT60° (FEP80) QB~P-411
CVT60° (FEP80) QB~L-411
CV 8°-3C E60° (FEP100) QB~PL-412
CVT38° E60° (FEP100) QB~PL-412
CVT38° E38° (FEP100) QB~L-422
CVT60° (FEP80) QB~P-421
CVT38° (FEP100) QB~L-432
CVT60° (FEP80) QB~P-431
CVT60° (FEP80) QB~M2(集塵機)
CV5.5°-3C (FEP100) QB~M3(浄化槽)
CVT38° (FEP100) QB~P-211
CVT38°×2 (FEP100) QB~P-213
CVT38° (FEP100) QB~P-212
CVT14° (FEP100) QB~L-211
CVT60° (FEP100) QB~PL-211
CVT22° (FEP80) QB~S-1
CVT22° (FEP80) QB~L-321
CVT14° (FEP50) PL-221~S-2
CVT14° (FEP80) QB~PL-211
EM-CET150° (既設管内) QB~P-101【配線新設】
EM-CET60° (既設管内) QB~P-413【配線新設】
EM-CEE2°-2C×2 (既設管内) QB~複合防災盤【配線新設】

長野県上松技術専門校

特記

訂正
1.
2.
3.
4.
5.
6.
7.

設計者氏名 1級建築士登録 第272762号 野坂 英史

設計者氏名

設計者氏名

SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
1級建築士事務所登録（松本）B 第 81291 号
管理建築士 1級建築士登録 第265244号 須田 潔
〒390-0842 長野県松本市征矢野 2-8-10 TEL 0263(88)7348

承認	設計体制及び検査				設計完了日
	検査員	責任者	担当者	担当者	
野坂	佐藤	須田	波多腰		2025.3

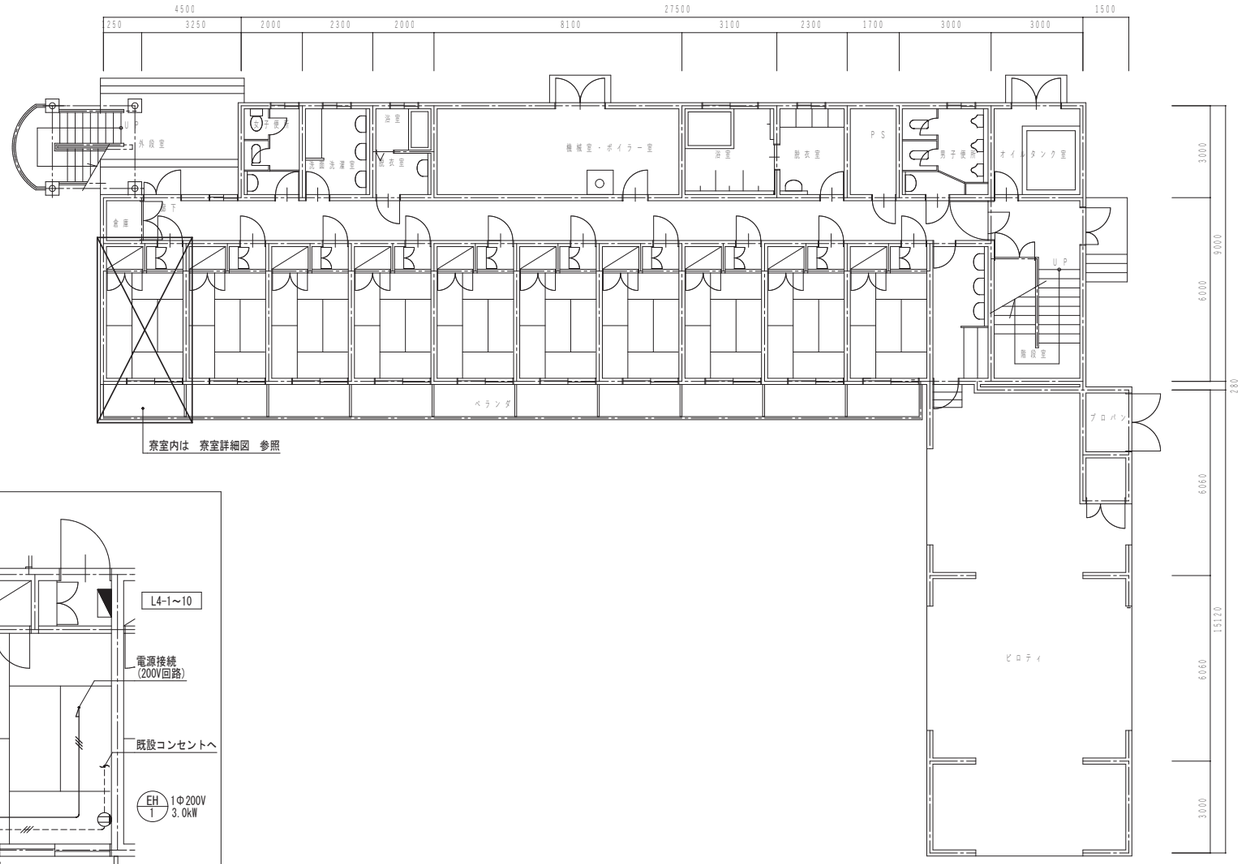
工事名 上松技術専門校空調設備改修工事

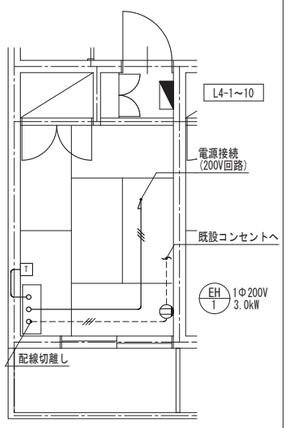
図面名 構内配電線路図【改修前・改修後】

縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400

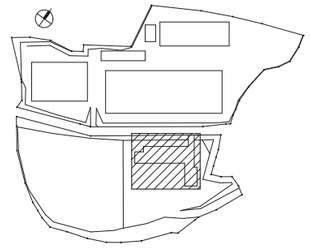
JOB No. S25004D

図面番号 E-09





寮室詳細図　S:1/50



キープラン

凡例

記号	名称	摘要	備考
	電灯分電盤		
	埋込コンセント		
T	サーモスイッチ		
	蓄熱ヒーター		機械設備工事
――――	天井隠ぺい配管配線		
- - - - -	床隠ぺい配管配線		
――――	IV1.6x2(PF16)		
―//―	IV2.0x3(PF16)		

【注記】
・配線は参考とする。
・細線は既存のままを示す。
・太線は撤去を示す。
・躯体打ち込み配管は残置とする。
・サーモスイッチ撤去後はブランクプレート取付。

長野県上松技術専門校

特記

訂正
1.
2.
3.
4.
5.
6.
7.

設計者氏名　1級建築士登録 第272762号　野坂　英史
設計者氏名
設計者氏名

SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
1級建築士事務所登録（松本）B 第 81291 号
管理建築士　1級建築士登録　第265244号　須田　潔
〒390-0842　長野県松本市征矢野 2-8-10　TEL. 0263(88)7348

承認	設計体制及び検査				設計完了日
	検査員	責任者	担当者	担当者	
野坂	佐藤	須田	波多腰		2025.3

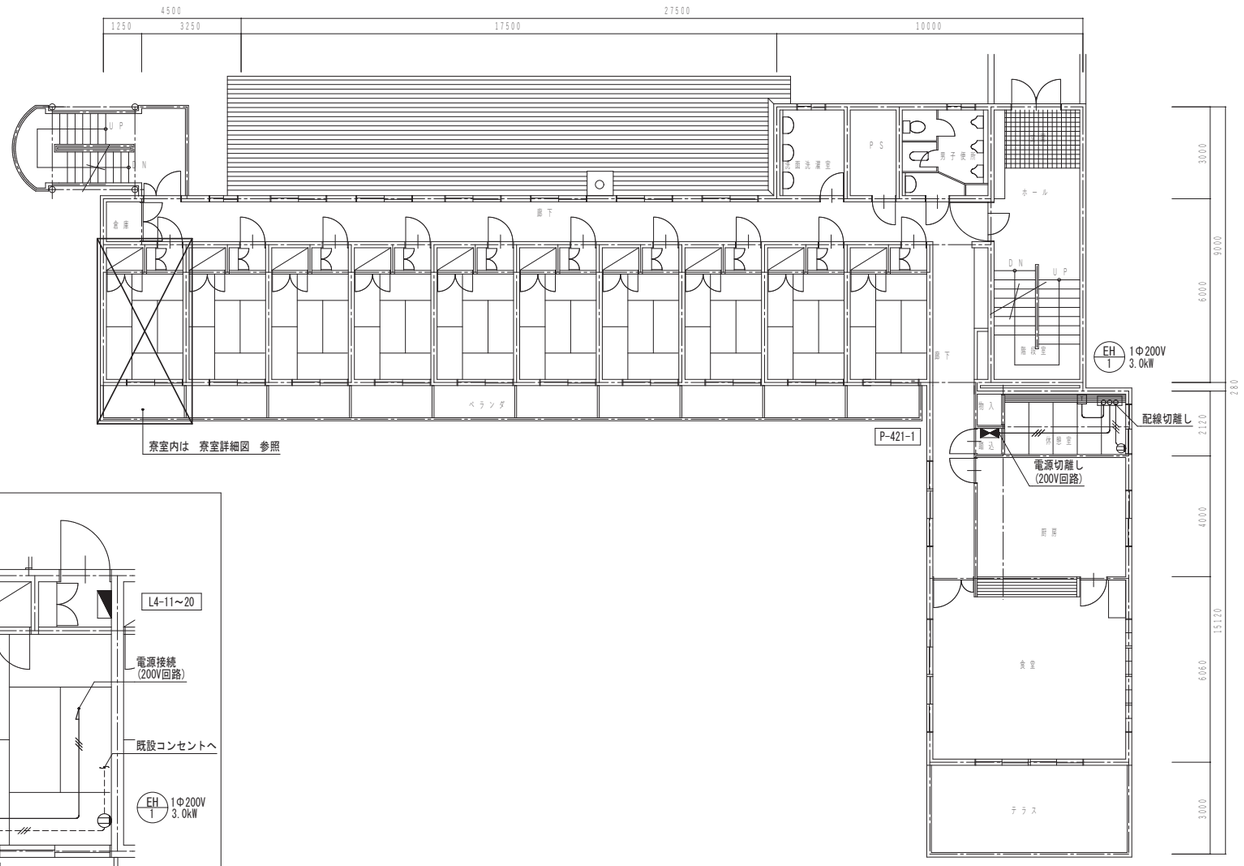
工事名　上松技術専門校空調設備改修工事

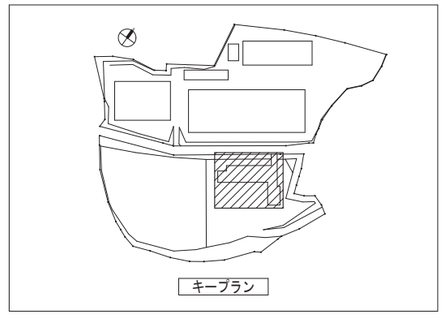
図面名　(寄宿舎)電灯設備 1階配線図【改修前】

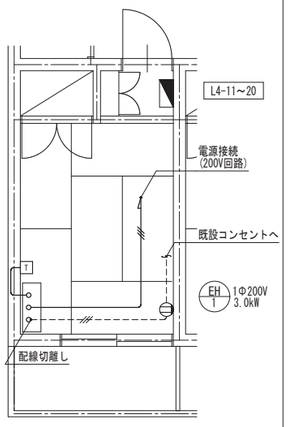
縮尺　A1: 1/100　A3: 1/200

JOB No.　S25004D

図面番号　E-10







寮室詳細図　S:1/50

長野県上松技術専門校

特記		訂正 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.	設計者 氏名	１級建築士登録 第272762号　野坂　英史			
			設計者 氏名				
			設計者 氏名				

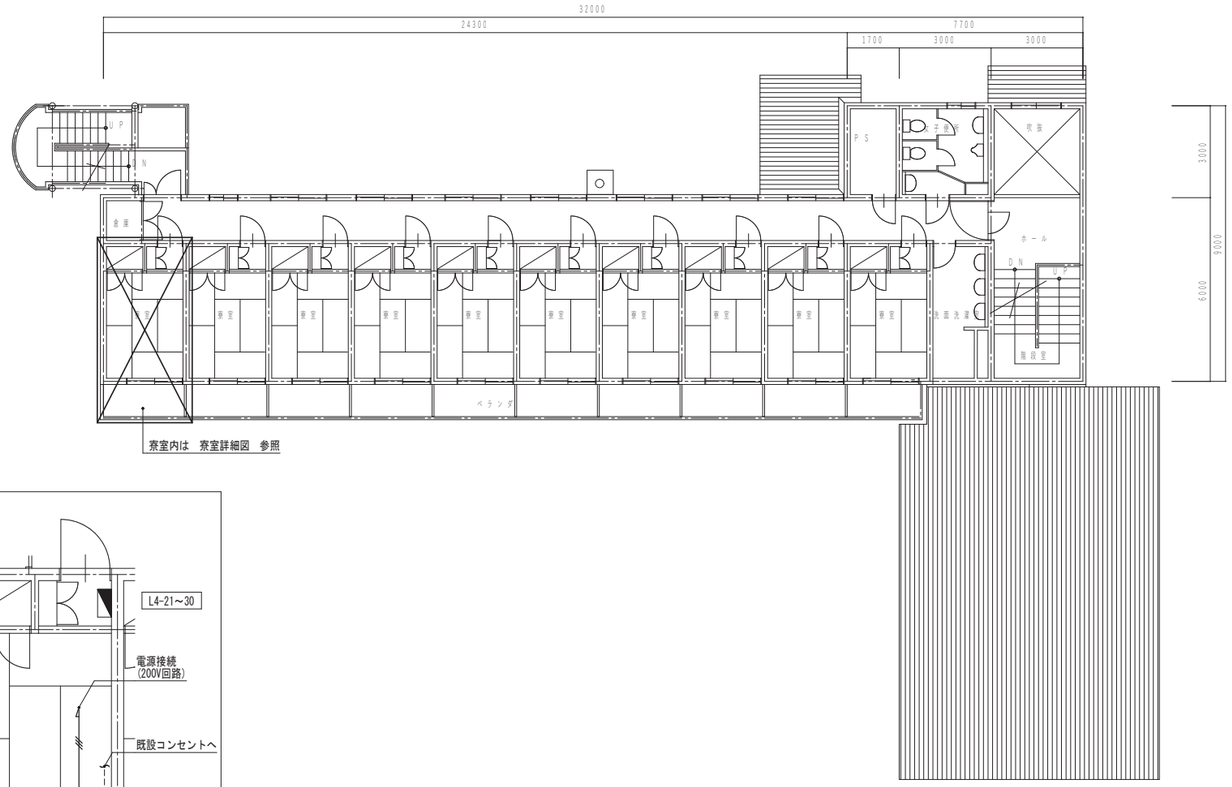
SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
１級建築士事務所登録（松本）８ 第 81291 号
管理建築士　１級建築士登録　第265244号　須田　深
〒390-0842　長野県松本市任矢野 2-8-10　TEL. 0263(88)7348

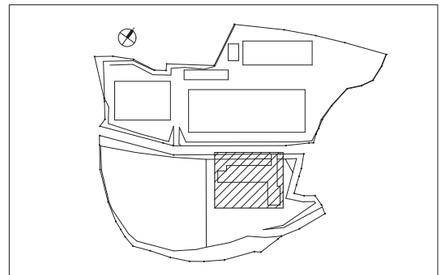
承認	設計体制及び検査				設計完了日
	検査員	責任者	担当者	担当者	
野坂	佐藤	須田	波多腰		2025.3

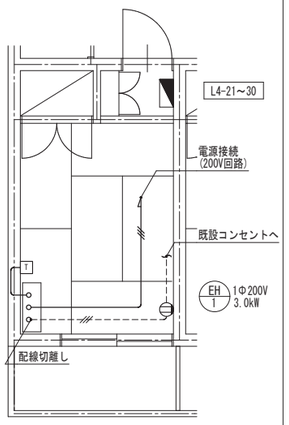
工事名　上松技術専門校空調設備改修工事

図面名　(寄宿舎)電灯設備 2階配線図【改修前】

縮尺	JOB No.	図面番号
A1: 1/100 A3: 1/200	S25004D	E-11







寮室詳細図　S:1/50

長野県上松技術専門校

特記	訂正 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.	設計者氏名	1級建築士登録 第272762号　野坂　英史
		設計者氏名	
		設計者氏名	

SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
1級建築士事務所登録（松本）B 第 81291 号
管理建築士　1級建築士登録　第265244号　須田　潔
〒390-0842　長野県松本市征矢野 2-8-10　TEL. 0263(88)7348

承認	設計体制及び検査				設計完了日
	検査員	責任者	担当者	担当者	
野坂	佐藤	須田	波多腰		2025.3

工事名：上松技術専門校空調設備改修工事

図面名：(寄宿舎)電灯設備 3階配線図【改修前】

縮尺	JOB No.	図面番号
A1: 1/100 A3: 1/200	S25004D	E-12

上松技術専門校空調設備改修工事

特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事場所　木曽郡上松町大字小川

2．敷地面積（㎡）

3．工事種目

建物別	種別	構造	階数	梁間(m)	桁行(m)	建築面積(㎡)	延面積(㎡)
管理棟	改修	ＲＣ造	２Ｆ				９８４．９７
寄宿舎棟	改修	ＲＣ造	３Ｆ				７６９．８８

4．工事内容

空調改修工事における、既存天井の撤去・新設、天井点検口の新設、床の養生、作業終了時の清掃を行う。

5．工事範囲

※「3．工事種目」すべてを工事範囲とする。

・「3．工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目は全て、今回工事範囲とする。

工事項目 ＼ 工事種目	建築主体工事	電気設備工事（別紙による）	機械設備工事（別紙による）	
2　仮設工事	○	―	―	
3　防水改修工事	―	―	―	
4　外壁改修工事 コンクリート打ち放し仕上げ外壁	―	―	―	
外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁	―	―	―	
外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁	―	―	―	
外壁改修工事 塗り仕上げ外壁	―	―	―	
5　建具改修工事	―	―	―	
6　内装改修工事	○	―	―	
7　塗装改修工事	○	―	―	
8　耐震改修工事	―	―	―	
9　環境配慮改修工事	―	―	―	

Ⅱ．管理技術者等

設計事務所名	管理技術者
株式会社三友ファシリティーズデザイン	野坂　英史

主任担当技術者	担当技術者	
意匠担当		
株式会社三友ファシリティーズデザイン　夏目　博範		
構造担当		
―		
積算担当		
―		
電気設備担当		
株式会社三友ファシリティーズデザイン　須田　潔	株式会社三友ファシリティーズデザイン　波多腰　永寿	
機械設備担当		
株式会社三友ファシリティーズデザイン　鳥井　清司	株式会社三友ファシリティーズデザイン　本藤　利文	
	株式会社三友ファシリティーズデザイン　亀原　衛	

Ⅲ．建築改修工事仕様

(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、○をつけたものを適用する。

⊙公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）（以下「改修標準仕様書」という。）
⊙公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）（以下、「標準仕様書」という。）
⊙建築工事標準詳細図（最新版）（以下「標準詳細図」という。）
⊙建築物解体工事共通仕様書（最新版）
⊙敷地調査共通仕様書（最新版）
⊙建築構造設計基準（最新版）
⊙工事写真の撮り方　建築編（最新版）
⊙公共建築木造工事標準仕様書（最新版）
⊙建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）　国土交通省大臣官房技術調査課・土地・建設産業局建設業課
⊙公共建築木造工事標準仕様書（最新版）
⊙長野県建設リサイクル推進指針　長野県建設部

(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は（　／　）図、機械設備工事の特記仕様書は（　／　）図による。

(3) 本特記仕様書の表記

1) 項目は、⊙ 印の付いたものを適用する。
2) 特記事項は、⊙ 印の付いたものを適用する。
　⊙ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
　⊙ 印と ⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。
　・ 印のみの場合は適用しない。
3) 特記事項に記載の［　　］内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4) 特記事項に記載の（　　）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
5) G 印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和４年２月 25日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。

章	項目	特記事項

1 各章共通事項

1．適用区分

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
・ 風圧力
　風速（Vo=　　m/s）
　地表面粗度区分（・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ）
・ 積雪荷重
　平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域　別表（　　）

② 工事実績情報の登録　※　適用する　・　適用しない　[1.1.4]

③ 電気保安技術者　※　適用する　・　適用しない　[1.3.3]

④ 施工条件明示事項　⊙「現場説明事項・施工条件明示事項」による　[1.3.5]

⑤ 環境への配慮　(1.4.1)[1.4.1]

1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に次の①から④を満たすものとする。
　① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、 パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、
　・ 塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
　② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
　③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
　④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

⑥ 材料の品質等　(1.4.2)[1.4.2]

1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。
3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
4) 本工事に使用する材料のうち、5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。
　① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。
　② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
　③ 安定的な供給が可能であること。
　④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
　⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
　⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。
5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料
　床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、乾式保護材、
　既調合モルタル、既調合目地材、ルーフドレン、吸水調整材、錠前類、クローザ類、
　自動ドア機構、自閉式上吊り引戸機構、重量シャッター、軽量シャッター、
　オーバーヘッドドア、防水剤、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、可動間仕切、
　移動間仕切、トイレブース、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、
　トップライト、ポリマーセメントモルタル、錆鉄製ふた

7．石綿含有建材の調査　[1.5.1]

調査
※石綿含有建材の事前調査
　工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。
　貸与資料（　　）
・分析による石綿含有建材の調査
　分析対象
　　アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、
　　トレモライト
　分析方法

材料名	定性分析方法（JIS A 1481-1）または（JIS A 1481-2）	定量分析方法（JIS A 1481-3）、（JIS A 1481-4）または（JIS A 1481-5）
	・　（箇所）	・　（箇所）
	・　（箇所）	・　（箇所）
	・　（箇所）	・　（箇所）

サンプル数　1箇所あたり3サンプル
採取箇所
・図示による　・

8．施工数量調査
調査範囲及び調査方法　※　図示　・　[1.6.2]
既存部分の破壊を行った場合の補修方法　※　図示　・　[1.6.3]

⑨ 設備工事との取合い　設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

⑩ 技能士　※　適用する（一級技能士を採用している現場である旨の表示をすること。）　[1.7.2]
・　適用しない

適用工事種目	技能検定作業
防水改修工事	・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水工事作業 ・ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業　・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業 ・塩化ﾋﾞﾆﾙ系ｼｰﾄ防水工事作業　・ｾﾒﾝﾄ系防水工事作業 ・ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業　・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄｰﾁ工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業　・左官作業　・内外装板金作業
外壁改修工事	・左官作業　・ﾀｲﾙ張り作業　・建築塗装作業
建具改修工事	・ﾋﾞﾙ用ｻｯｼ工事作業　・ｶﾞﾗｽ工事作業　・自動ﾄﾞｱ施工作業
内装改修工事	・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上げ工事作業　・ｶｰﾍﾟｯﾄ系床仕上げ工事作業 ⊙ﾎﾞｰﾄﾞ仕上げ工事作業　⊙調製下地工事作業 ・壁装作業　・大工工事作業　・ﾀｲﾙ張り作業
塗装改修工事	⊙建築塗装作業
耐震改修工事	・鉄骨組立作業　・型枠施工作業　・とび作業
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ･ALCﾊﾟﾈﾙ工事	・ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事作業 ・ｴｰｴﾙｸﾚｰﾊﾟﾈﾙ工事作業
石工事	・石張り作業
植栽工事	・造園工事作業

⑪ 化学物質の濃度測定　(1.5.9)[1.7.9]

測定方法　※　パッシブ法（拡散法）　・　アクティブ法（吸引法）
　検査機関
　※　環境計量証明事業の知事登録がある者で、監督員が承諾した者
測定物質
　※　ホルムアルデヒド　※　トルエン　※　キシレン　※　エチルベンゼン
　※　パラジクロロベンゼン　※　スチレン

測定箇所（室）寮室

計　1　箇所

※　試料採取にあたっては、監督員又は監督員が指定する者が立会いの下に行う。

化学物質の室内汚染濃度指針値

ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	ﾄﾙｴﾝ	ｷｼﾚﾝ	ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ	ｽﾁﾚﾝ	備考
0.08ppm	0.07ppm	0.20ppm	0.88ppm	0.04ppm	0.05ppm	

12．埋設配管・配線および鉄筋調査

あと施工アンカー工事
　6章および8章による
コア抜き、はつり工事等
※既存資料調査
・探査機（電磁波レーダー法又は電磁波誘導法）による探査
　配管　・配線等の位置の墨出を行う
　範囲
　　※図示による　・
・ 放射線透過試験
　労働安全衛生法、「電離放射線障害防止規制」（昭和47年労働省令第41号）等に定めるところによるほか、次による。
　　1) 作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明するものとし、資格を証明する資料を監督職員に提出する。
　　2) 放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また、作業者以外の立入禁止措置を講ずる。
　　3) 露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。
　　4) 付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。
　　5) 躯体の墨出しは、表裏でズレがないように措置を講ずる。
　　撮影枚数　　枚
　　フィルムサイズ
　　コンクリート厚さ　　cm

⑬ 完成図等　(1.7.1～1.7.3)(表1.7.1)

※　作図する
　※　完成図（※　設計図書で示したもの全て　・　標仕表1.7.2による
　　・　監督員の指示による）
　作成方法　・　原図　用紙　（・　トレーシングペーパーA1　・　　）
　　作図方法（※　CADで作成し出力　・　　）
　　※　製本（原図の白焼き、見開きA１版（１部））
　　※　CADデータ（※　CD-R（２部）　・　　）
　※　保全に関する資料（２部）

14．完成写真　下記のものを監督職員へ提出する。原版は撮影業者の保管とする。

撮影部位及び箇所数	分類・規格	提出部数	画素数及び画質等	撮影者
外観正面 ：（　）箇所	・電子データ(JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度)	※　２部	4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの	建築完成写真の撮影実績がある者で、監督職員が承諾する撮影業者
上記と異なる外部：（　）箇所、内部：（　）箇所	・カラー印画紙キャビネ版 アルバム綴じ			
外部：（　）箇所、内部：（　）箇所程度	電子データ（CD-R）(JPEGフルカラー)	※　２部	1280×960ピクセル以上かつ、撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質	

アルバムは、黒表紙金文字入り、サイズはH320×D300程度とする。

2 仮設工事

1．騒音・粉じん等の対策　[2.1.3]

・防音パネル
・防音シート
防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲
・図示による　・

② 足場等　[2.2.1][表 2.2.1]

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
外部足場
⊙設置する
　（設置範囲　・工事に必要な範囲　⊙図示による　・　　）
・設置しない
防護シート
⊙設置する
　（設置範囲　⊙工事に必要な範囲　・図示による　・　　）
・設置しない

内部足場
⊙設置する
　（※脚立、足場板等　・　　）
・設置しない
材料、搬去材等の運搬方法
　種別（・A種　・B種　・C種　⊙D種　・E種）
　C種：利用可能なエレベーター　（・図示による　・　　）
　D種：利用可能な階段　（・図示による　・　　）

③ 既存部分の養生　養生方法等　[2.3.1]
⊙既存部分
　養生方法（※ビニルシート、合板等　・合板＋防炎シート　）
⊙既存家具、既存設備等
　養生方法（※ビニルシート等　・　　）
・既存ブラインド、カーテン等
　養生方法（・ビニルシート等　・　　）
　保管場所（・図示による　・　　）
⊙固定された備品、机、ロッカー等の移動
・図示による　※工事に支障となる範囲
既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

4．仮設間仕切り　仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所　[2.3.2][表 2.3.1]
・図示による　・既存防火扉利用　・
仮設間仕切りの種別と材質等

種別	仕上げ（厚さmm）	塗装	充填材
・A種	・せっこうボード 種類（・　　） 厚さ（・　mm　※9.5mm） ・合板 材種（・　　） 厚さ（・　mm　※9mm）	・無し ・片面 ・	グラスウール 32k ※厚さ 50mm以上 ・
・B種			
※C種	防炎シート		

仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材質	仕上げ	塗装	設置箇所	グラスウール貼り
※木製	※合板張り程度	・無し	・　か所	・有り
・	・	・片面	・図示による	・無し

グラスウール貼り　※グラスウール32k（厚50mm以上）

⑤ 監督員事務所　・　設ける　※　設けない　[2.4.1]
　規模　※　10㎡程度　・　20㎡程度　・（　）㎡程度

⑥ 工事用水　構内既存の施設　⊙ 利用できる（　※　有償　・　無償）　※　利用できない　[2.4.1]

⑦ 工事用電力　構内既存の施設　・　利用できる（　※　有償　・　無償）　※　利用できない　[2.4.1]

長野県上松技術専門校

特記

訂正 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.

設計者氏名	１級建築士登録 第272762号　野坂　英史
設計者氏名	
設計者氏名	

SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
１級建築士事務所登録（松本）さ第 81291 号
管理建築士　1級建築士登録　第265244号　須田　潔
〒390-0842　長野県松本市任矢野 2-8-10　TEL 0263(88)7348

承認	設計体制及び検査					設計完了日
	検査員	責任者	担当者	担当者		
野坂	佐藤	野坂	夏目			2025.3

工事名　上松技術専門校空調設備改修工事
図面名　建築工事　改修特記仕様書（１）
縮尺　A1：―　A3：―
JOB No.　S25004D
図面番号　A-01

6 内装改修工事

① 改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 [6.1.3]
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示による
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示による
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま
・図示による

④ 施工一般 [6.5.2]

材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(ｳ)(b)による
・

⑭ 軽量鉄骨天井下地 [6.6.2～4]

野縁等の種類
屋外
※25形　・19形
屋内
※19形　・25形
屋外の形式及び寸法
野縁受け、つりボルト及びインサートの間隔
・図示による　・既設に倣う
周辺部の端からの間隔
・図示による　・既設に倣う
野縁の間隔
・図示による　・既設に倣う
既存の埋込みインサート
(・)使用する　・使用しない
あと施工アンカーの施工後の確認試験
・行う　（屋外の試験荷重：　　）
試験箇所数　※屋内の場合、当該階において3箇所
・（　　）箇所
引張試験にて確認する強度
※つりボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の
単位面積あたりの質量が20kg/㎡以内の天井の場合は400N程度
・（　　）N
・行わない
・つりボルトの間隔が900mmを超える場合
（補強方法　※図示による　・　　）
・天井のふところが3.0mを超える場合
（補強方法　※図示による　・　　）
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
（補強箇所　※図示による　・　　）
（補強方法　※図示による　・　　）
・屋外の軒天井、ピロティ天井等
工法
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

㉕ せっこうボードその他のボード張り

吸音材料

種　類	厚さ(mm)、規格等
(・) ロックウール化粧吸音板(DR)	(・) フラットタイプ （・9（不燃）・12（不燃）・　　） ・ 凹凸タイプ （・12(不燃)・15(不燃)・　　）
・ ロックウール吸音ﾎﾞｰﾄﾞ1号	・ 25　・
・ グラスウール吸音ﾎﾞｰﾄﾞ32K	・ 25(ガラスクロス包)　・

せっこうボード製品

種　類	厚さ(mm)、規格等
・ せっこうボード(GB-R)	・ 12.5（不燃）・ 15（不燃）
・ 不燃積層せっこうボード(GB-NC)	9.5（不燃）　・ 化粧無（下地張り用） ・ 化粧有（トラバーチン模様）
・ シージングせっこうボード(GB-S)	12.5（※ 不燃　・ 準不燃）
・ 強化せっこうボード(GB-F)	・ 12.5（不燃）　・ 15（不燃）
・ せっこうラスボード(GB-L)	9.5
(・) 化粧せっこうボード(GB-D)	・木目12.5（不燃）幅 440mm 程度 模様（・ 柾目　・ 板目） 専用下地材有り (・)ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様　9.5（準不燃）

1 アスベスト含有建材の除去等

① アスベスト含有仕上塗材の処理

・アスベスト含有仕上塗材の除去を行う前に、定性分析調査を１箇所行うこと。
(・)アスベスト含有仕上塗材の除去
除去対象範囲　アスベスト含有仕上塗材の使用された外壁面で、壁貫通又はアンカー打設に必要な部分

除去工法　集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法
集じん装置併用手工具ケレン工法
剥離剤併用手工具ケレン工法
その他（工事場所を所管する労働基準監督署の指導する工法）
除去したアスベスト含有仕上塗材等の飛散防止
密封処理（使用した保護衣等含む）
除去したアスベスト含有仕上塗材等の処分
埋立処分（管理型最終処分場）

2 アスベスト含有建材の処理

・アスベスト含有成形板の除去（レベル３）
除去対象範囲　図示（配管フランジ、冷温水器内部、煙道）
作業場の隔離　行う
除去したアスベスト含有成形板の処分の飛散防止
・アスベスト含有せっこうボード
※埋立処分（管理型最終処分場）
・アスベスト含有成形板（アスベスト含有せっこうボードを除く）
・埋立処分（安定型最終処分場）　・中間処理（溶解施設）

長野県上松技術専門校

特記

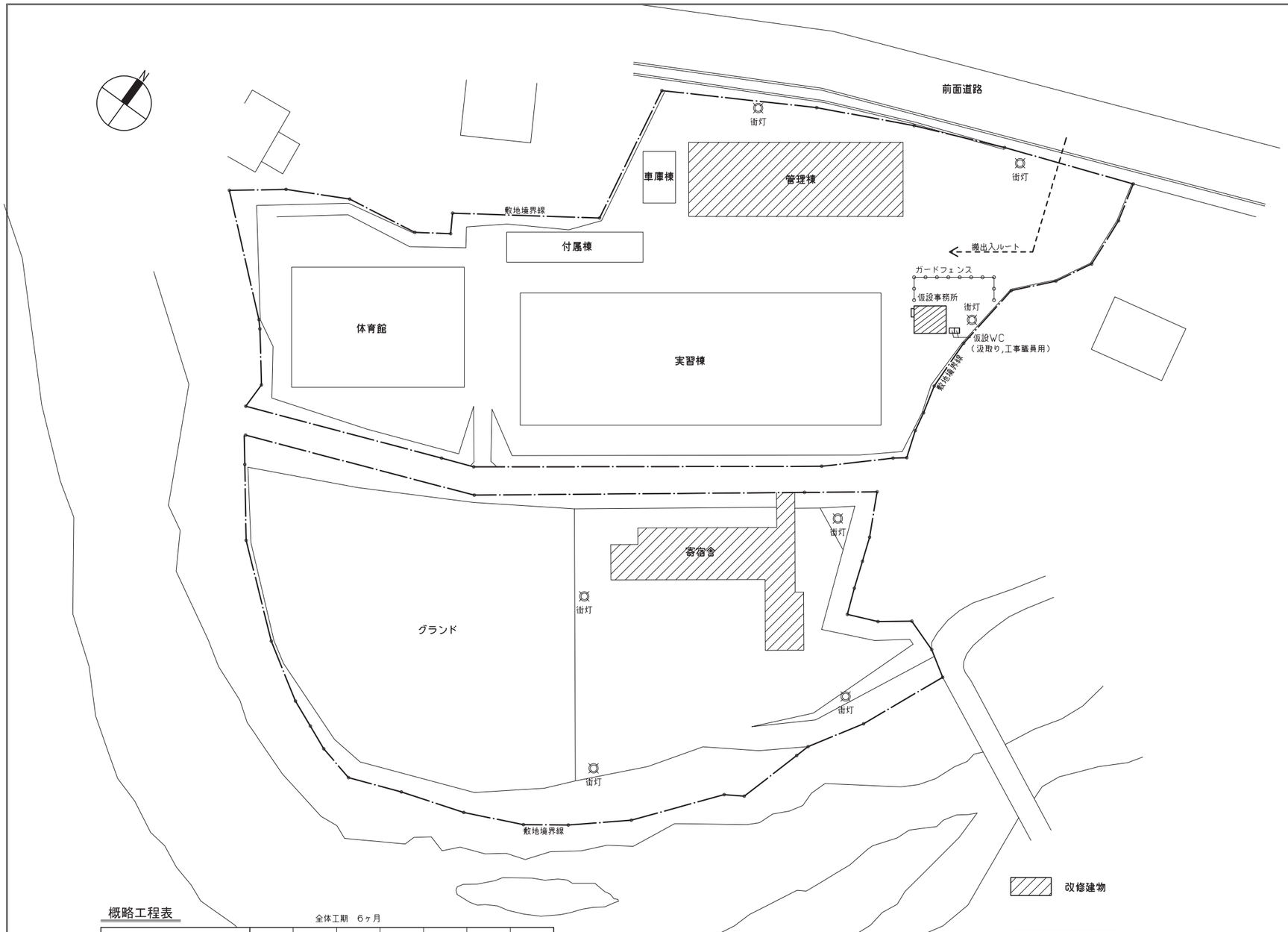
訂正 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.

設計者氏名　１級建築士登録 第272762号 野坂 英史
設計者氏名
設計者氏名

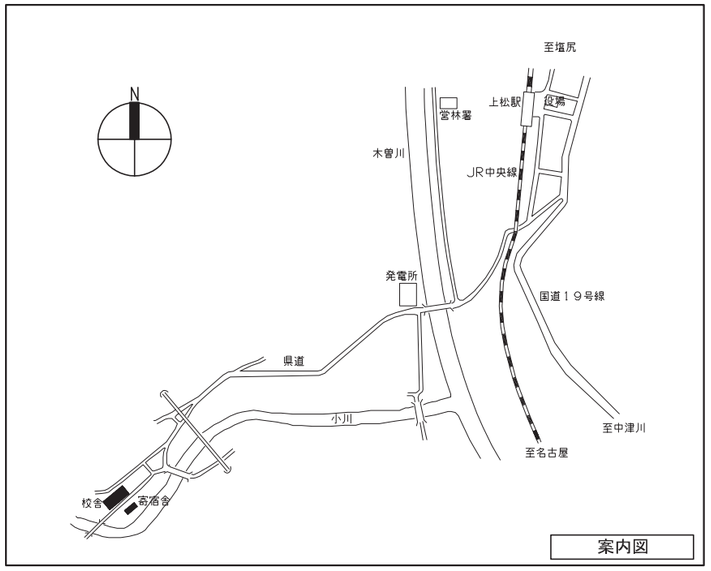
SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
１級建築士事務所登録（松本）８ 第 81291 号
管理建築士 １級建築士登録 第265244号 須田 深
〒390-0842 長野県松本市住吉矢野 2-8-10 TEL 0263(88)7348

承認	設計体制及び検査				設計完了日
	検査員	責任者	担当者	協力者	
野坂	佐藤	野坂	夏目		2025.3

工事名　上松技術専門校空調設備改修工事
図面名　建築工事　改修特記仕様書（２）
縮尺　A1: ― A3: ―　JOB No. S25004D　図面番号 A-02



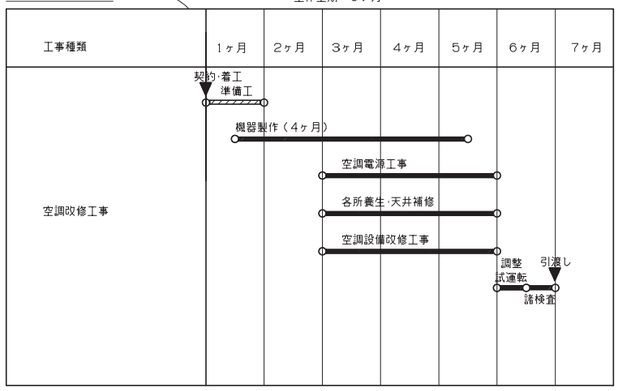
配置図



案内図

概略工程表

全体工期　6ヶ月



工　事　概　要	
工事場所	長野県上松技術専門校　（長野県木曽郡上松町大字小川） 管理棟、寄宿舎棟
工事概要	1、 本工事は、管理棟の事務室・製図室・視聴覚室及び、寄宿舎棟の寮室・食堂・厨房の空調換気設備の新設（改修）工事である。 2、 上記工事における、空調換気設備の新設。 3、 上記改修における、寄宿舎寮室の既存電気ヒーターの撤去・処分。 4、 上記改修における、新設機器への電源供給、受変電設備の改修。 5、 上記改修における、天井等の撤去・復旧。
施工条件 （施工時間）	・作業は、原則として休校日の午前8時30分から午後6時までとする。 ※ただし、騒音や振動が発生する撤去工事（はつり、カッター入）、あと施工アンカー工事等は、休校日（土日祝日を基本とする）の午前8時30分から午後6時までとし事前に施設管理者と協議を行う。 上記以外の作業において騒音や振動が想定される場合、事前に施設管理者と協議を行う。
（改修工事関係）	・本工事は、改修工事期間中の休校日も職員が執務をし、生徒が入居している「居ながらの改修工事」である。 ・作業員等は、原則として工事場所以外の建物内部に無断で立ち入らないこと。（通路部分を除く。） ・工事エリアは、仮囲い等により、生徒・職員の動線と明確に分離し、わかりやすい工事看板を表示して作業を実施する事。 ・管理棟内部への資材の搬出入、作業員の通行動線は、原則として西側出入り口とする。 ・寄宿舎棟内部への資材の搬出入、作業員の通行動線は、原則として西側非常階段からとする。 ・工事に支障となる備品等の移動は、監督職員及び施設管理者と協議のもと行うこととする。 ・防犯の観点から、閉鎖及び施錠方法について、監督職員及び施設管理者と協議を行うこと。 ・設備工事に伴い、断水・停電等を必要とする作業は、原則として休校日に行うこととする。また、影響内容・範囲・停止日・時間帯等の制限される内容を、事前に監督職員及び施設管理者と協議を行うこと。 ・工事施工にあたり、既存施設等に損傷を与えた場合、復旧その他の費用の負担は受注者の責任とする。 ・アスベスト含有が疑われる材（事前調査を行っていない材）の解体が生じる場合、監督職員と協議を行うこと。 ・アンカー、コア抜き、ハツリ等行う場合は、事前に探査チェック等を行い電線等の確認をすること。 ・電気関係への事故防止に努めること。 ・工事着手前に所轄消防署に工事概要を説明し工事中の消防計画について協議し届出を提出のこと。 ・その他、工事中に生じた施工条件については、監督職員との協議による。
（交通誘導警備員）	・資材の搬出入時に際しては、必要に応じ交通誘導員を適切に配置すること。
（現場事務所等）	・配置図の指定場所に設置することを見込んでいる。

長野県上松技術専門校

特記

訂正 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.

設計者 氏名	1級建築士登録 第272762号　野坂　英史
設計者 氏名	
設計者 氏名	

SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
1級建築士事務所登録（松本）き第 81291 号
管理建築士　1級建築士登録　第265244号　須田　潔
〒390-0842　長野県松本市征矢野 2-8-10　TEL 0263(88)7348

承認	設計体制及び検査				設計完了日
	検査員	責任者	担当者	協力者	
野坂	佐藤	野坂	夏目		2025.3

工事名　上松技術専門校空調設備改修工事

図面名　案内図、配置図

縮尺　A1：1/400　A3：1/800

JOB No.　S25004D

図面番号　A-03

外部仕上表（管理棟）

屋根	既存	フッ素樹脂鋼板定尺横葺屋根　ｔ＝０．４　アスファルトルーフィング　22ｋ品敷込　野地板；高圧木毛セメント板　ｔ２０
	改修内容	既存のまま
庇	既存	フッ素樹脂鋼板定尺横葺屋根　ｔ＝０．４　アスファルトルーフィング　22ｋ品敷込　野地板；高圧木毛セメント板　ｔ２０
	改修内容	既存のまま
軒天	既存	コンクリート打放　外装用薄塗材Ｅ
	改修内容	既存のまま
外壁	既存	磁器質タイル貼（小口タイル）
	改修内容	既存のまま
基礎	既存	コンクリート打放　はっ水材吹付（シリコン系）
	改修内容	既存のまま

外部仕上表（寄宿舎棟）

屋根	既存	フッ素樹脂鋼板定尺横葺屋根　ｔ＝０．４　アスファルトルーフィング　22ｋ品敷込　野地板；高圧木毛セメント板　ｔ２０
	改修内容	既存のまま
庇	既存	フッ素樹脂鋼板定尺横葺屋根　ｔ＝０．４　アスファルトルーフィング　22ｋ品敷込　野地板；高圧木毛セメント板　ｔ２０
	改修内容	既存のまま
軒天	既存	コンクリート打放　外装用薄塗材Ｅ
	改修内容	既存のまま
外壁	既存	合板型枠コンクリート打放　複層塗材Ｅ（アスベスト含有）
	改修内容	既存のまま
基礎	既存	コンクリート打放　はっ水材吹付（シリコン系）
	改修内容	既存のまま

内部仕上表（管理棟）

室　名	仕上区分	床　高	床	床下地	巾　木	腰　壁	壁	天　井	天井高	備　考
事務室	既存	±０	プナフローリングボード張り　ｔ１５＋ｔ３（クッション材）接着工法	モルタル	木製巾木	モルタル金ゴテＶＰ　一部木製パーテーション	モルタル金ゴテＡＥＰ　一部木製パーテーション 木製パーテーション側下り壁　桧小幅板	化粧せっこうボード　ｔ９．０	２，７００	
	改修内容		既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	**（一部）既存天井（仕上）撤去の上新設**		**天井点検口新設（３箇所）**
製図室	既存	±０	長尺塩ビシート張り	モルタル	ビニル製巾木	モルタル金ゴテＶＰ（アスベスト含有）　一部木製パーテーション	モルタル金ゴテＡＥＰ　一部木製パーテーション 木製パーテーション側下り壁　桧小幅板	化粧せっこうボード　ｔ９．０	３，１００	
	改修内容		既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	**（一部）既存天井（仕上）撤去の上新設**		**天井点検口新設（４箇所）**
ホール２	既存	±０	プナフローリングボード張り　ｔ１５＋ｔ３（クッション材）接着工法	モルタル	木製巾木	桧小幅板	桧小幅板	せっこうボード　ｔ９．０下張り　ロックウール化粧吸音板（カラー）　ｔ９．０ 一部　せっこうボード　ｔ９．０　ＡＥＰ（掘込天井）	２，７００	
	改修内容		既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		**天井点検口新設（１箇所）**
廊下（1F）	既存	±０	プナフローリングボード張り　ｔ１５＋ｔ３（クッション材）接着工法	モルタル	木製巾木	桧小幅板　一部木製パーテーション	石こうボードＡＥＰ、モルタル金ゴテＡＥＰ、一部木製パーテーション	化粧せっこうボード　ｔ９．０	２，５００	
	改修内容		既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		**天井点検口新設（２箇所）**
視聴覚室	既存	±０	タイルカーペット　ｔ６．５	モルタル	木製巾木	寒冷紗下張　有孔銘木練付合板	寒冷紗下張　有孔銘木練付合板	せっこうボード　ｔ９．０下張り　ロックウール化粧吸音板　ｔ９．０	３，２００	
	改修内容		既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		**天井点検口新設（６箇所）**

内部仕上表（寄宿舎棟）

室　名	仕上区分	床　高	床	床下地	巾　木	腰　壁	壁	天　井	天井高	備　考
寮室（1～3F）	既存	±０	化学タタミ、一部プナフローリングボード　ｔ15	木組下地	タタミ寄	石こうボード下張　ｔ12　ビニルクロス貼	石こうボード下張　ｔ12　ビニルクロス貼	化粧せっこうボード（木目）　ｔ９	２，３００	
	改修内容		**既存のまま、フローリングボード部分ＣＬ塗装**	既存のまま	既存のまま	既存のまま	**既存のまま、一部壁補修**	既存のまま		
廊下（1～3F）	既存	±０	長尺塩ビシート　ｔ２．５	モルタル	ビニル製巾木	モルタル金ゴテＶＰ（アスベスト未確認）　Ｈ＝１，１００	モルタル金ゴテＡＥＰ	化粧せっこうボード　ｔ９．０	２，３００	
	改修内容		既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	**（一部）既存天井（仕上）撤去の上新設**		
食堂	既存	±０	長尺塩ビシート　ｔ２．５	モルタル	木製巾木　ＣＬ	桧小幅板　ｔ１２　ＣＬ　Ｈ＝１，１００	モルタル金ゴテ　ビニルクロス貼	せっこうボード　ｔ９．０下張り　ロックウール化粧吸音板　ｔ９．０	２，４００	
	改修内容		既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	**（一部）既存天井（仕上・下張）撤去の上新設**		**天井点検口新設（１箇所）**
厨房	既存	±０	エポキシ樹脂塗床	モルタル	モルタル金ゴテ塗床	ＳＵＳ３０４　ｔ０．４張　Ｈ＝１，２００	モルタル金ゴテ　ＶＰ	ケイ酸カルシウム板（アスベスト非含有）　ｔ６．０　ＡＥＰ	２，４００	
	改修内容		既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	**（一部）既存天井（仕上）撤去の上新設**		
休憩室	既存	±０	化学タタミ、一部プナフローリングボード　ｔ15	木組下地	タタミ寄	石こうボード下張　ｔ12　ビニルクロス貼	石こうボード下張　ｔ12　ビニルクロス貼	化粧せっこうボード（木目）　ｔ９	２，３００	
	改修内容		**既存のまま、フローリングボード部分ＣＬ塗装**	既存のまま	既存のまま	既存のまま	**既存のまま、一部壁補修**	既存のまま		

長野県上松技術専門校

特記：＊工事予定エリアのアスベスト含有部分は、管理棟の腰壁（モルタル\VP）と寄宿舎の外壁（外装用薄塗材Ｅ）のみとなります。（その他は非含有）

訂正 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.

設計者 氏名　１級建築士登録 第272762号　野坂　美史
設計者 氏名
設計者 氏名

SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
１級建築士事務所登録（松本）８ 第 81291 号
管理建築士　１級建築士登録　第265244号　須田　深
〒390-0842　長野県松本市任矢野 2-8-10　TEL. 0263(88)7348

承認	設計体制及び検査				設計完了日
	検査員	責任者	担当者	協力者	
野坂	佐藤	野坂	夏目		2025.3

工事名：上松技術専門校空調設備改修工事

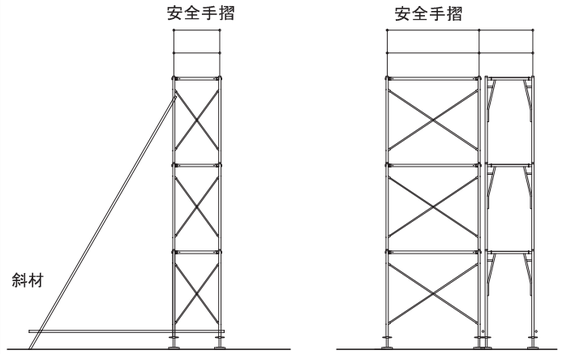
図面名：（管理棟・寄宿舎）仕上表

縮尺：A1: ― A3: ―　JOB No.：S25004D　図面番号：A-04

※仮設足場は空調の冷媒管・ドレン管の取付作業用。

※手摺先行工法とする。

※各足場は互いに緊結し、必要に応じ転倒防止のサポートを取ること。



仮設足場立面 参考図

凡例

- ☒ ：天井開口補強
- ⧄ ：天井点検口４５０×４５０
- ▨ ：天井仕上材解体復旧

長野県上松技術専門校

特記

訂正 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.

設計者 氏名 １級建築士登録 第272762号 野坂 英史

設計者 氏名

設計者 氏名

SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
１級建築士事務所登録（松本）８ 第 81291 号
管理建築士 １級建築士登録 第265244号 須田 譲
〒390-0842 長野県松本市荻夕野 2-8-10 TEL 0263(88)7348

承認	設計体制及び検査				設計完了日
	検査員	責任者	担当者	協力者	
野坂	佐藤	野坂	夏目		2025.3

工事名 上松技術専門校空調設備改修工事

図面名 （管理棟）建築工事 １階平面図

縮尺 A1: 1/60 A3: 1/120

JOB No. S25004D

図面番号 A-05

凡例

⊠ ：天井開口補強

⊠ ：天井点検口４５０×４５０

▨ ：天井仕上材解体復旧

長野県上松技術専門校

特記

訂正
1.
2.
3.
4.
5.
6.
7.

設計者 氏名	１級建築士登録 第272762号 野坂 英史
設計者 氏名	
設計者 氏名	

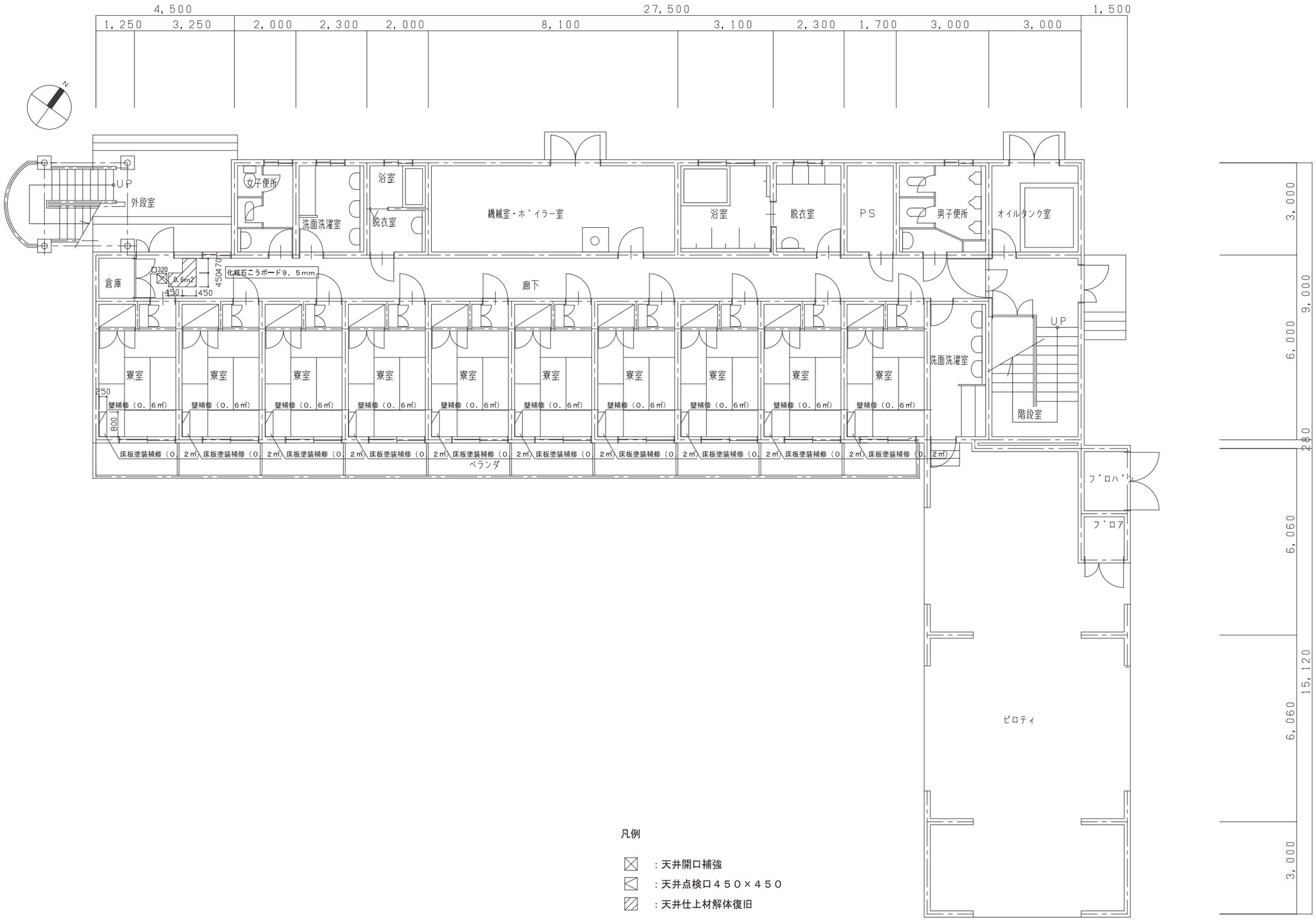
SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
１級建築士事務所登録（松本）Ｂ 第 81291 号
管理建築士 １級建築士登録 第265244号 須田 深
〒390-0842 長野県松本市任矢野 2-8-10 TEL 0263(88)7348

承認	設計体制及び検査				設計完了日
	検査員	責任者	担当者	担当者	
野坂	佐藤	野坂	夏目		2025.3

工事名 上松技術専門校空調設備改修工事

図面名 （管理棟）建築工事 ２階平面図

縮尺	JOB No.	図面番号
A1: 1/60 A3: 1/120	S25004D	A-06



凡例

☒ ：天井開口補強

◁ ：天井点検口４５０×４５０

▨ ：天井仕上材解体復旧

※寮室床板塗装補修はCLとし、壁補修はビニルクロス貼とする。

長野県上松技術専門校

特記

訂正
1.
2.
3.
4.
5.
6.
7.

設計者 氏名 １級建築士登録 第272762号 野坂 英史

設計者 氏名

設計者 氏名

SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
１級建築士事務所登録（松本）８ 第 81291 号
管理建築士 １級建築士登録 第265244号 須田 深
〒390-0842 長野県松本市征矢野 2-8-10 TEL 0263(88)7346

承認	設計体制及び検査				設計完了日
野坂	佐藤	野坂	夏目		2025.3

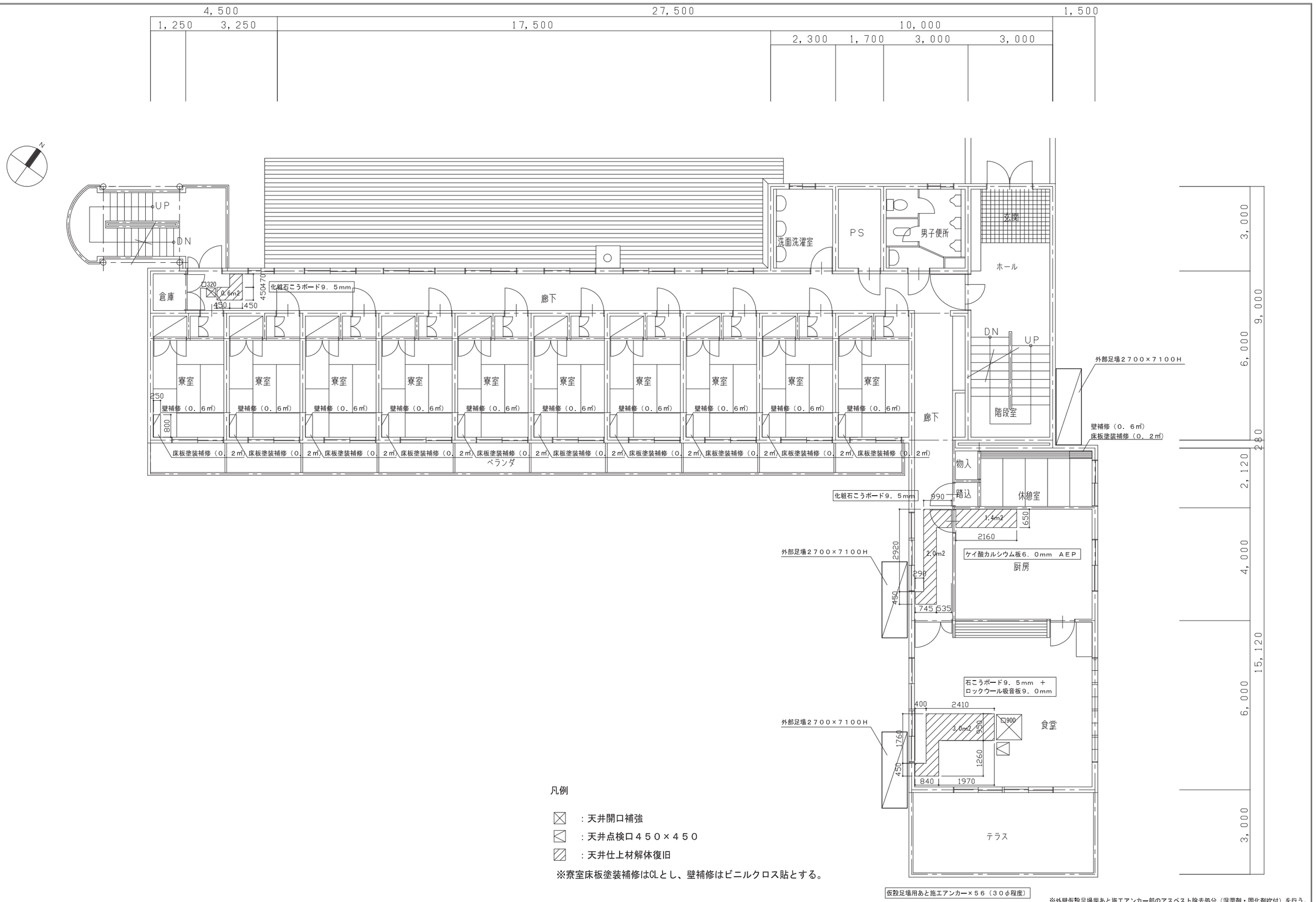
工事名 上松技術専門校空調設備改修工事

図面名 （寄宿舎）建築工事 １階平面図

縮尺 A1: 1/60 A3: 1/120

JOB No. S25004D

図面番号 A-07



凡例

☒ ：天井開口補強

⊠ ：天井点検口４５０×４５０

▨ ：天井仕上材解体復旧

※寮室床板塗装補修はCLとし、壁補修はビニルクロス貼とする。

仮設足場用あと施エアンカー×５６（３０φ程度）

※外壁仮設足場用あと施エアンカー部のアスベスト除去処分（湿潤剤・固化剤吹付）を行う。

長野県上松技術専門校	特記	訂正 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.	設計者氏名：１級建築士登録 第272762号 野坂 英史 設計者氏名 設計者氏名

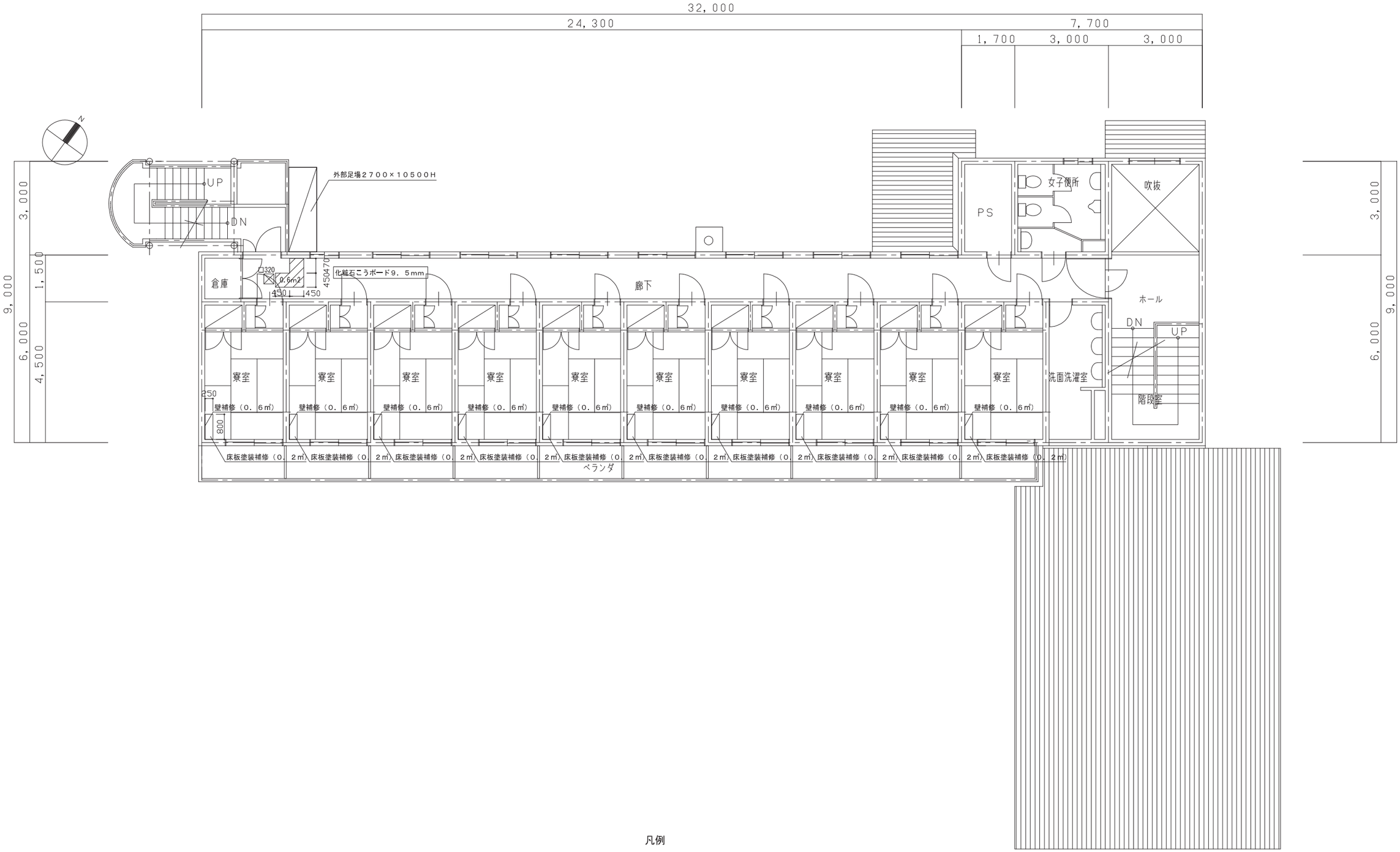
SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
１級建築士事務所登録（松本）８ 第 81291 号
管理建築士：１級建築士登録 第265244号 須田 潔
〒390-0842 長野県松本市荻夫野 2-8-10 TEL 0263(88)7348

承認	設計体制及び検査				設計完了日
野坂	検査員 佐藤	責任者 野坂	担当者 夏目	担当者	2025.3

工事名：上松技術専門校空調設備改修工事

図面名：（寄宿舎）建築工事　２階平面図

縮尺：A1: 1/60　A3: 1/120　JOB No. S25004D　図面番号 A-08



凡例

☒ ：天井開口補強

◁ ：天井点検口４５０×４５０

▨ ：天井仕上材解体復旧

※寮室床板塗装補修はCLとし、壁補修はビニルクロス貼とする。

※外壁仮設足場用あと施工アンカー部のアスベスト除去処分（湿潤剤・固化剤吹付）を行う。

長野県上松技術専門校

特記

訂正 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.

設計者 氏名 １級建築士登録 第272762号 野坂 美史

設計者 氏名

設計者 氏名

SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
１級建築士事務所登録（松本）８ 第 81291 号
管理建築士 １級建築士登録 第265244号 須田 深
〒390-0842 長野県松本市任矢野 2-8-10 TEL. 0263(88)7348

承認	設計体制及び検査				設計完了日
	検査員	責任者	監督者	協議者	
野坂	佐藤	野坂	夏目		2025.3

工事名 上松技術専門校空調設備改修工事

図面名 （寄宿舎）建築工事　３階平面図

縮尺 A1: 1/60 A3: 1/120

JOB No. S25004D

図面番号 A-09

凡例

▨ ：床養生（参考）範囲（ビニールシート）

※整理清掃後片付けを行う事。

長野県上松技術専門校

特記

訂正 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.

設計者 氏名 1級建築士登録 第272762号 野坂 英史

設計者 氏名

設計者 氏名

SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
1級建築士事務所登録（松本）8 第 81291 号
管理建築士 1級建築士登録 第265244号 須田 潔
〒390-0842 長野県松本市笹賀 2-8-10 TEL 0263(88)7348

承認	設計体制及び検査				設計完了日
	検査員	責任者	担当者	協力者	
野坂	佐藤	野坂	夏目		2025.3

工事名 上松技術専門校空調設備改修工事

図面名 （管理棟） 1階床養生平面図

縮尺 A1: 1/60 A3: 1/120

JOB No. S25004D

図面番号 A-10

凡例

▨ ：床養生（参考）範囲（ビニールシート）

※整理清掃後片付けを行う事。

長野県上松技術専門校

特記	
訂正	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.
設計者 氏名	1級建築士登録 第272762号 野坂 英史
設計者 氏名	
設計者 氏名	

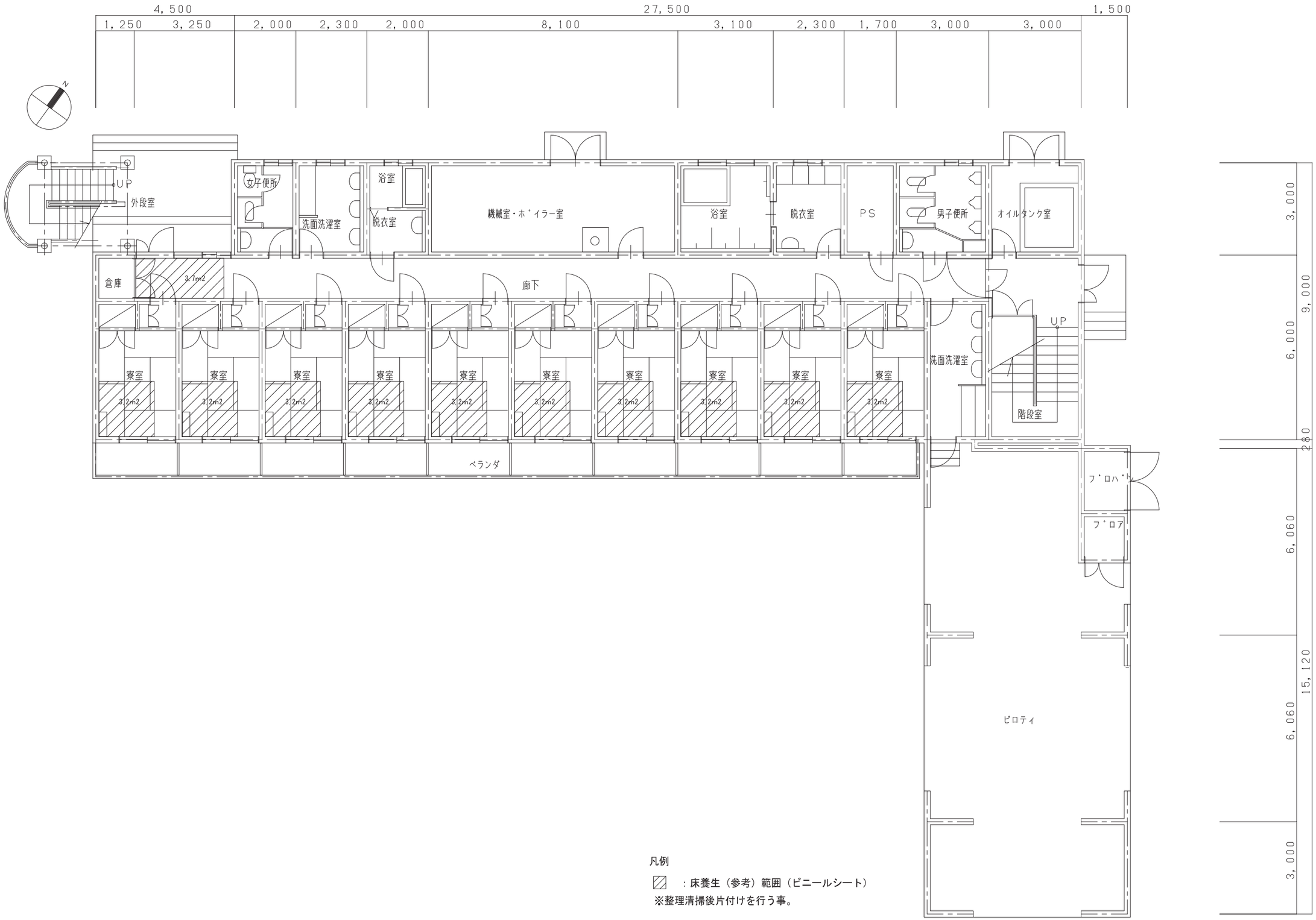
SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
1級建築士事務所登録（松本）8 第 81291 号
管理建築士 1級建築士登録 第265244号 須田 深
〒390-0842 長野県松本市任矢野 2-9-10 TEL 0263(88)7348

承認	設計体制及び検査				設計完了日
	検査員	責任者	担当者	協力者	
野坂	佐藤	野坂	夏目		2025.3

工事名 上松技術専門校空調設備改修工事

図面名 （管理棟）２階床養生平面図

縮尺	JOB No.	図面番号
A1: 1/60 A3: 1/120	S25004D	A-11



凡例

▨ ：床養生（参考）範囲（ビニールシート）

※整理清掃後片付けを行う事。

長野県上松技術専門校

特記		訂正 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.	設計者氏名：1級建築士登録 第272762号 野坂 英史 設計者氏名： 設計者氏名：

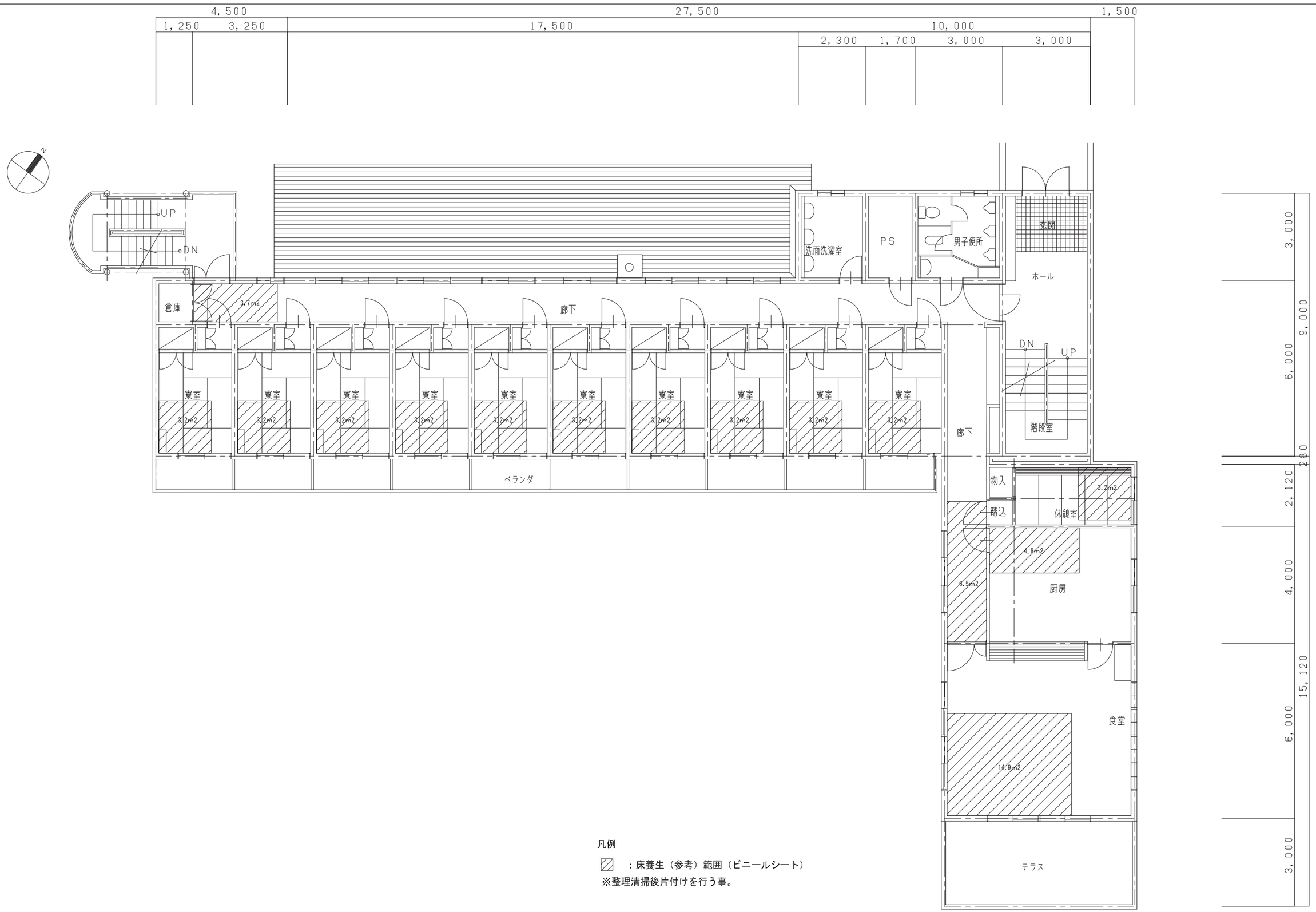
SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
1級建築士事務所登録（松本）8 第 81291 号
管理建築士 1級建築士登録 第265244号 須田 潔
〒390-0842 長野県松本市征矢野 2-8-10 TEL 0263(88)7348

承認	設計体制及び検査				設計完了日
野坂	検査員 佐藤	責任者 野坂	担当者 夏目	担当者	2025.3

工事名：上松技術専門校空調設備改修工事

図面名：（寄宿舎）１階床養生平面図

縮尺	JOB No.	図面番号
A1: 1/60 A3: 1/120	S25004D	A-12



凡例

▨ ：床養生（参考）範囲（ビニールシート）

※整理清掃後片付けを行う事。

長野県上松技術専門校

特記	訂正
	1.
	2.
	3.
	4.
	5.
	6.
	7.

設計者 氏名：1級建築士登録 第272762号 野坂 英史

設計者 氏名：

設計者 氏名：

SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
1級建築士事務所登録（松本）8 第 81291 号
管理建築士 1級建築士登録 第265244号 須田 潔
〒390-0842 長野県松本市笹賀 2-9-10 TEL 0263(88)7348

承認	設計体制及び検査				設計完了日
	検査員	責任者	担当者	協力者	
野坂	佐藤	野坂	夏目		2025.3

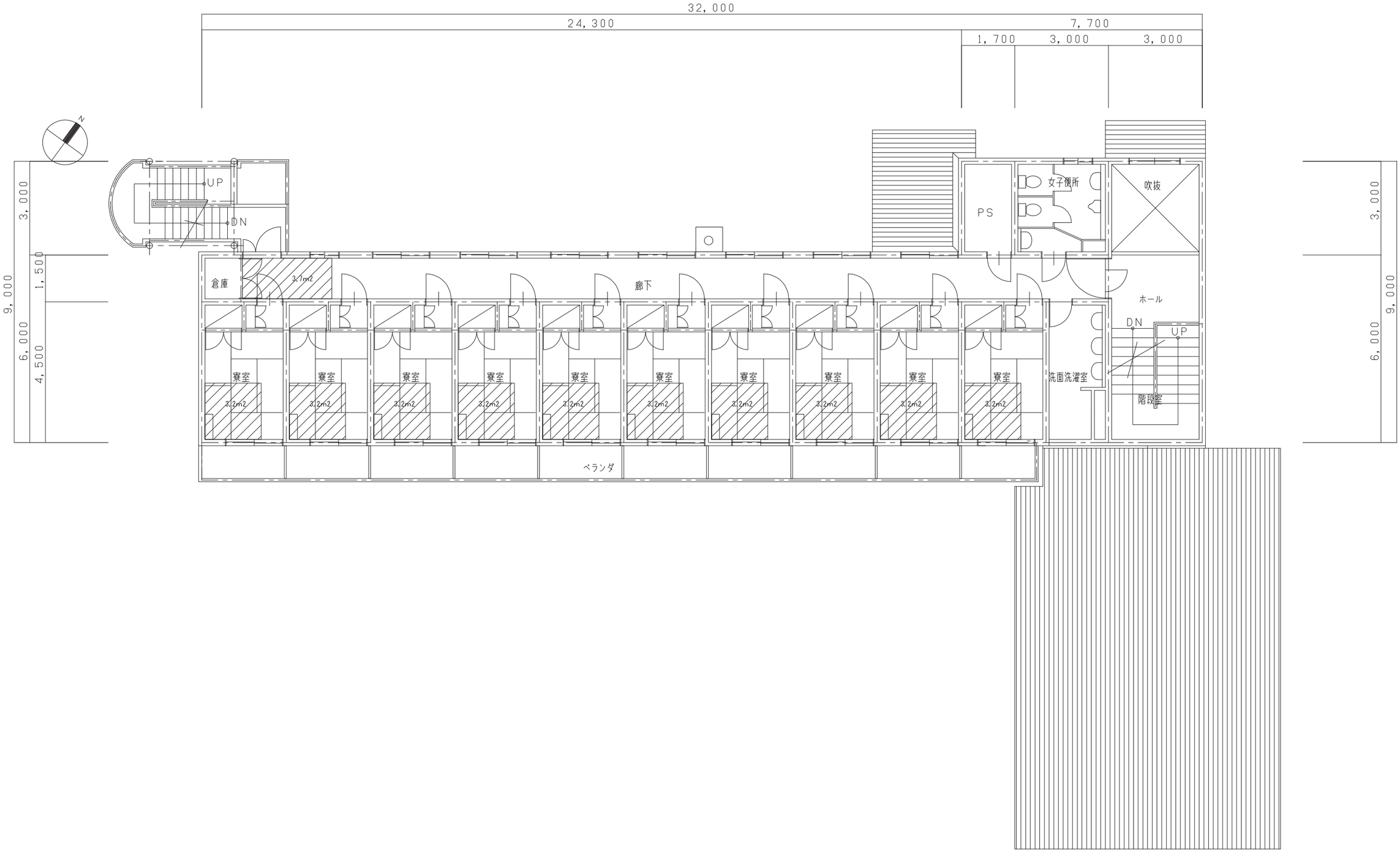
工事名：上松技術専門校空調設備改修工事

図面名：（寄宿舎）２階床養生平面図

縮尺：A1: 1/60 A3: 1/120

JOB No.：S25004D

図面番号：A-13



凡例

▨ ：床養生（参考）範囲（ビニールシート）

※整理清掃後片付けを行う事。

長野県上松技術専門校

特記		訂正 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.	
設計者 氏名	１級建築士登録 第272762号 野坂 英史		
設計者 氏名			
設計者 氏名			

SFD 株式会社三友ファシリティーズデザイン
１級建築士事務所登録（松本）８ 第 81291 号
管理建築士 １級建築士登録 第265244号 須田 深
〒390-0842 長野県松本市任矢野 2-8-10 TEL 0263(88)7348

系図	設計体制及び検査				設計完了日
	検査員	責任者	担当者	協力者	
野坂	佐藤	野坂	夏目		2025.3

工事名 上松技術専門校空調設備改修工事

図面名 （寄宿舎）３階床養生平面図

縮尺	JOB No.	図面番号
A1: 1/60 A3: 1/120	S25004D	A-14